
第3期只見町
子ども・子育て支援事業計画策定のための
子育て支援ニーズ調査
結果報告書

令和6年3月

只見町

目 次

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 報告書のみかた	2
就学前(小学校入学前)児童のいる世帯の調査結果	4
1. 子どもとご家族の状況について	4
(1) 回答者とお子さんの関係	4
(2) 回答者の配偶関係	4
(3) お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方	5
(4) 居住地区	5
2. 定期的な教育・保育事業について	6
(5) お子さんの年齢	6
(6) 平日の「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無	7
(7) 年間を通じて定期的に利用している事業	9
(8) 現在通っている保育所に対する満足度	17
(8-1) 保育所に不満を感じている理由	17
(9) 定期的に利用したいと考える事業	18
(9-1) 幼稚園の利用意向	19
(9-2) 「ゼロ歳児保育」の実施希望	19
3. 育児休業について	20
(10) 育児休業の取得	20
(10-1) 育児休業終了後の職場復帰の状況	21
4. 保護者の就労状況について	22
(11) 保護者の就労状況	22
(11-1) 家を出る時間と帰宅時間	23
(11-2) 職場のある場所	25
(12) フルタイムへの転換希望	26
(13) 就労希望	26
(13-1) 希望する就労形態	27
5. 多様な保育事業について	28
(14) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望	28

(14-1) 土曜日、日曜・祝日に利用したい理由	30
(15) 認定こども園の利用希望	31
(15-1) 認定こども園を利用したい理由	31
(15-2) 認定こども園を利用したくない理由	32
6. 子どもの病気やケガの際の対応について	33
(16) 子どもが病気やケガで通常事業が利用（通園）できなかったことの有無	33
(16-1) 子どもが病気やケガで通常事業が利用（通園）できなかったときの対処方法	34
(16-2) 保育所の病児・病後児保育等の利用意向	37
(17) 子育て経験者に有料で子どもを預ける意向	38
7. 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時保育等の利用について	39
(18) 不定期に利用している事業の有無	39
(19) 宿泊を伴う一時保育等の事業の利用意向	41
(20) 泊りがけで家族以外にみてもらったこと	43
(21) 只見町の一時保育事業を利用したことの有無	45
(21-1) 利用した際の満足度	45
(21-2) 満足度が低い理由	46
8. 子育て全般について	47
(22) 子育てグループや自主的なグループ活動への参加の有無	47
(22-1) 現在参加していない理由、今後参加しない理由	48
(23) 町で行っている子育て支援事業	49
(24) 子育てについて感じていること	51
(24-1) 子育てについて有効と感じる支援・対策	51
(24-2) 子育ての辛さを解消するために必要なこと	52
(25) 子育てに関して、気軽に相談できる人や機関	53
(26) 子育てするを環境整備	54
9. 5歳以上の子どもの小学校就学後について	55
(27) 小学校低学年に放課後の時間過ごさせたい場所	55
(27-1) 小学校高学年に放課後の時間過ごさせたい場所	58
10. 地域の子育て支援事業の利用状況について	62
(28) 地域子育て支援拠点事業の利用の有無	62
(29) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向、利用日数の増加意向	63
11. 小学校の在り方について	65
(30) 小学校の統合	62
(30-1) 統合すべき理由	62
(30-2) 統合しなくてよい理由	62

小学生のいる世帯の調査結果 67

1. 子どもとご家族の状況について	67
(1) 回答者とお子さんの関係	67
(2) 回答者の配偶関係	67
(3) お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方	68
(4) 居住地区	68
2. 子どもの放課後の過ごし方について	69
(5) お子さんの学年	69
(6) 放課後子どもクラブを利用の有無	70
(6-1) 放課後子どもクラブの利用時間の希望の有無	71
(6-2) 利用希望時間	72
(6-3) 放課後子どもクラブを利用している理由	72
(6-4) 放課後子どもクラブを利用していない理由	73
(7) 小学校低学年に放課後の時間過ごさせたい場所	75
(8) 小学校高学年に放課後の時間過ごさせたい場所	78
(9) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望の有無	82
3. 保護者の就労状況について	83
(10) 両親の就労状況	83
(10-1) 家を出る時間と帰宅時間	84
(10-2) 職場の場所	86
(11) フルタイムへの転換希望	87
(12) 就労希望	87
(12-1) 希望する就労形態	88
4. 病気やケガの際の対応について	89
(13) 子どもが病気やケガで学校を休んだことの有無	89
(13-1) 子どもが病気やケガで学校を休んだときの対処方法	90
(13-2) 病児のための保育施設等の利用意向	93
5. 子どもの一時預かり等の利用について	94
(14) 家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無	94
(14-1) 親族・知人にみてもらう際の頼みやすさ（一時預かり）	96
(15) 泊りがけで家族以外の誰かに預けたこと	97
6. 地域とのかかわりについて	99
(16) 子ども会や自主的なグループ活動への参加の有無	99
(16-1) 参加していない理由、今後参加しない理由	99
(17) 子育てに関して、地域の人やボランティアに望むこと	100

7. 子育て全般について	101
(18) 子育てに関して、気軽に相談できる人	101
(19) 只見町の子育て環境についての満足度	102
8. 学校教育について	103
(20) 子どもが通う小学校の教育全体の満足度	103
(21) 子どもが通う小学校に特に期待すること	104
9. 子どもの安全安心について	105
(22) 子どもが外出する際、不安に感じること	105
(23) 子どもの日々の暮らしの中で、事故や犯罪に関して特に不安や心配に思うこと	106
10. 小学校の在り方について	107
(24) 小学校の統合	107
(24-1) 統合すべき理由	108
(24-2) 統合しなくてよい理由	108

中高生年齢対象の調査結果 109

1. ご家族の状況について	109
(1) 回答者自身	109
(2) 回答者の属性	109
(3) 同居する家族の状況	110
(4) 居住地区	110
2. ご家族の状況について	111
(5) 悩んでいること	111
(6) 悩みを相談できる人や機関	112
(7) 興味関心	113
(8) 体験活動の希望	114
(9) 携帯電話所有の有無	115
(10) インターネットの利用	116
(10-1) インターネットの使用目的	116
(11) ヤングケアラーの認知度	117
(11-1) ヤングケアラーの有無	117
3. 将来のことについて	118
(12) 将来の夢	118
(13) 仕事についての希望	118
(14) 只見町に住みたいか	119

(14-1) 住み続けたい理由	119
(14-2) 住み続けたくない理由	120
4. 小学校の在り方について	121
(15) 小学校の統合	121
(15-1) 統合すべき理由	122
(15-2) 統合しなくてよい理由	122

調査の概要

1. 調査の目的

来年度、「只見町子ども・子育て支援事業計画」が最終年度を迎えることから、計画の見直しに向けて、町民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望等を把握し、これからの子育て支援施策を検討するための基礎資料とするために調査を実施しました。

2. 調査の方法

■調査期間：令和5年12月15日～令和6年1月12日

■調査方法：郵送配布（保育所・学校配布含む）・郵送回収及びWEB回答

（1）就学前（小学校入学前）児童のいる世帯

○調査対象：町内在住の就学前児童がいる保護者 85人

○配布・回収：

配布数	郵送回答	WEB 回答	合計	回収率
85	26	21	47	55.3%

（2）小学生のいる世帯

○調査対象：町内在住の小学生児童がいる保護者 95人

○配布・回収：

配布数	郵送回答	WEB 回答	合計	回収率
95	33	28	61	64.2%

（3）中高生対象年齢の者

○調査対象：町内在住の中高生年齢者 194人

○配布・回収：

配布数	郵送回答	WEB 回答	合計	回収率
194	23	102	125	64.4%

3. 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。

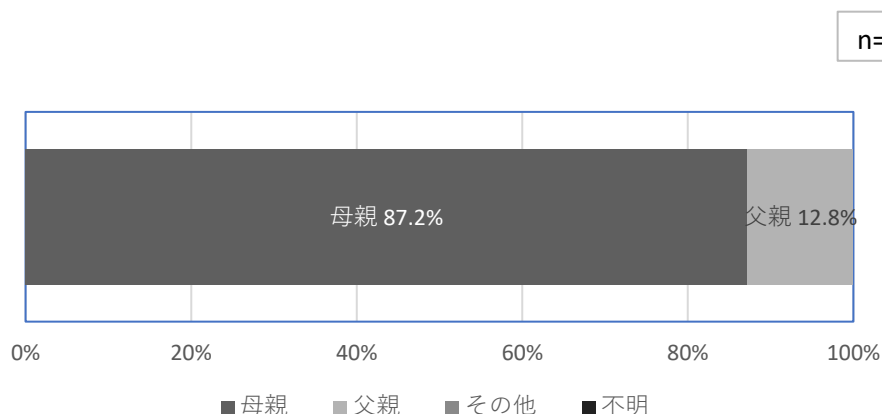
就学前（小学校入学前）児童のいる世帯の調査結果

1. 子どもとご家族の状況について

(1) 回答者とお子さんの関係

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（〇は1つ）

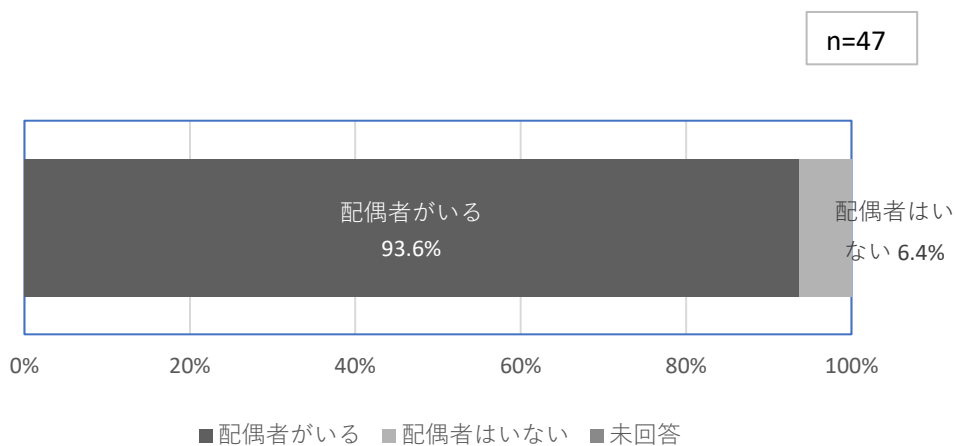
この調査票に回答した人は、「母親」が87.2%、「父親」が12.8%となっています。



(2) 回答者の配偶関係

問2 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（〇は1つ）

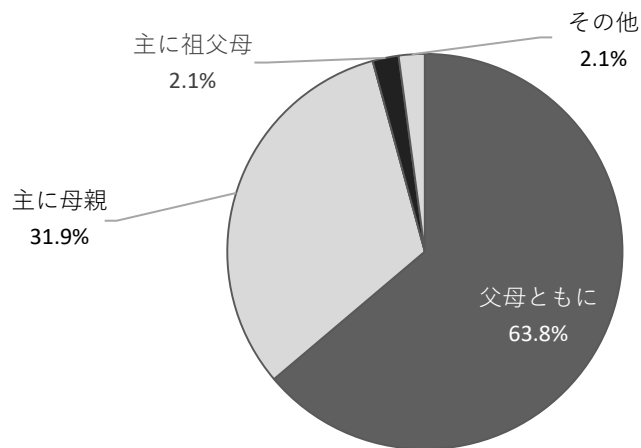
回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が93.6%、「配偶者はいない」が6.4%となっています。



(3) お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方

問3 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

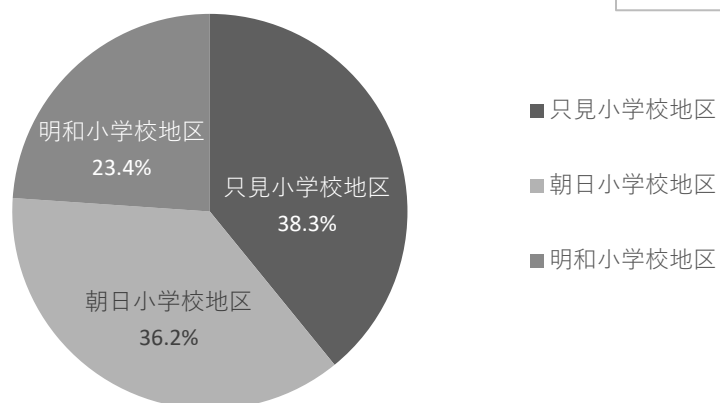
主に子育てを行っている人は、「父母ともに」が63.8%と最も高く、次いで「主に母親」が31.9%、「主に祖父母」が2.1%となっています。



(4) 居住地区

問4 お住まいの地区はどちらですか。（○は1つ）

回答者の居住地区は、「只見小学校区」が38.3%、「朝日小学校区」が36.2%、「明和小学校区」が23.4%となっています。



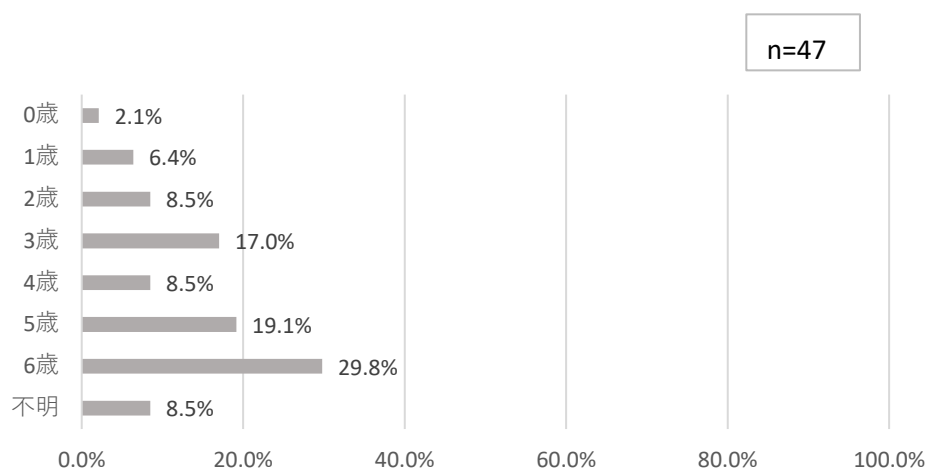
2. 定期的な教育・保育事業について

(5) お子さんの年齢

問5 就学前のお子さんの生年月と年齢を、上の方から順にご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

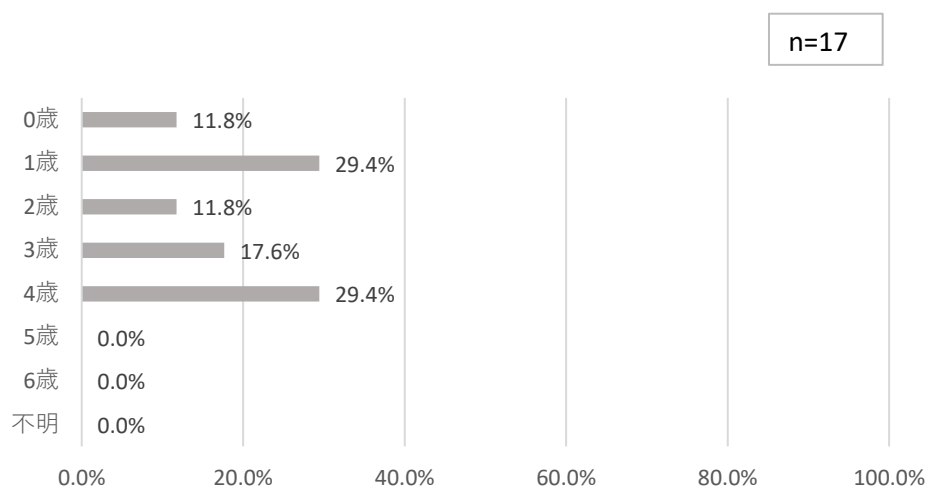
● 1人目

1人目のお子さんの年齢については、「6歳」が29.8%と最も高く、次いで「5歳」が19.1%、「3歳」が17.0%となっています。



● 2人目

2人目のお子さんの年齢については、「1歳」と「4歳」が29.4%と同率で最も高く、次いで「3歳」が17.6%となっています。



● 3人目

3人目についての回答はありませんでした。以下3人目については集計なし。

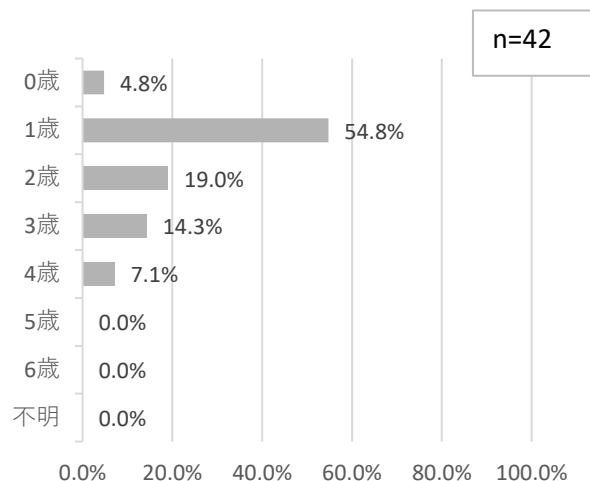
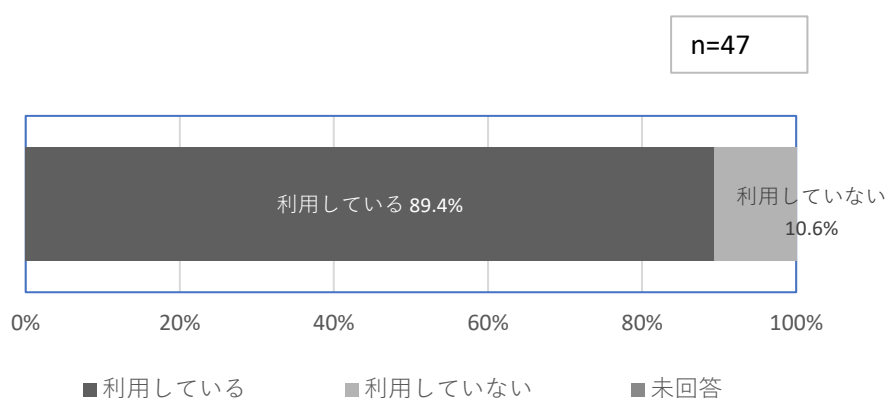
(6) 平日の「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無

問 6 お子さんは現在、保育所や幼稚園などの平日の「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(どちらか、あてはまる方に○)

● 1 人目

1 人目のお子さんが現在、保育所や幼稚園などの平日の「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかは、「利用している」が 89.4%、「利用していない」が 10.6%となっています。

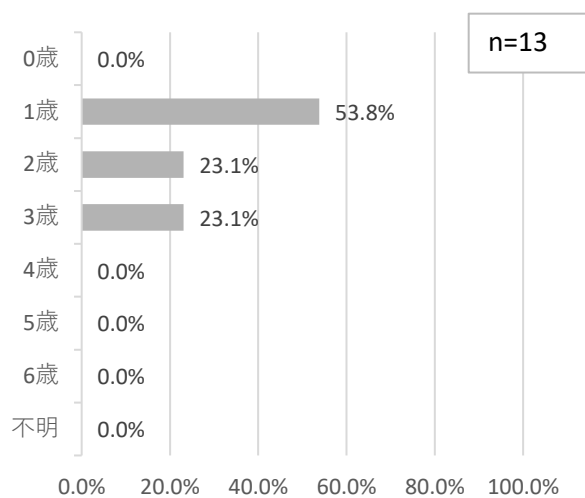
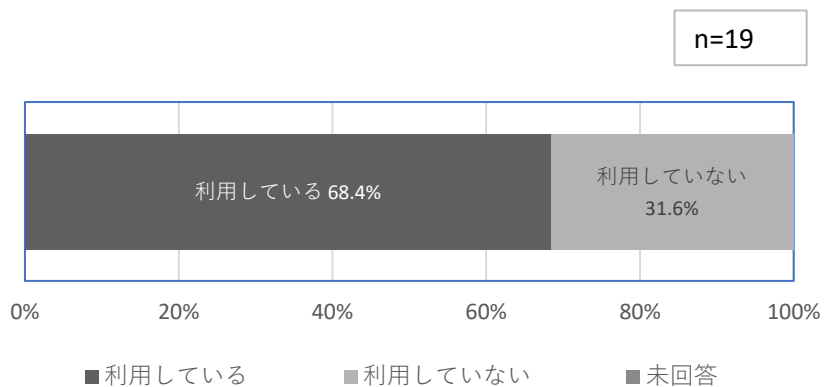
また、利用しているお子さんの利用開始年齢は、「1 歳」が 54.8%と最も高く、次いで「2 歳」が 19.0%、「3 歳」が 14.3%となっています。



● 2人目

2人目のお子さんが現在、保育所や幼稚園などの平日の「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかは、「利用している」が68.4%、「利用していない」が31.6%となっています。

また、利用しているお子さんの利用開始年齢は、「1歳」が53.8%と最も高く、次いで「2歳」と「3歳」が23.1%と同率となっています。



(7) 年間を通じて定期的に利用している事業

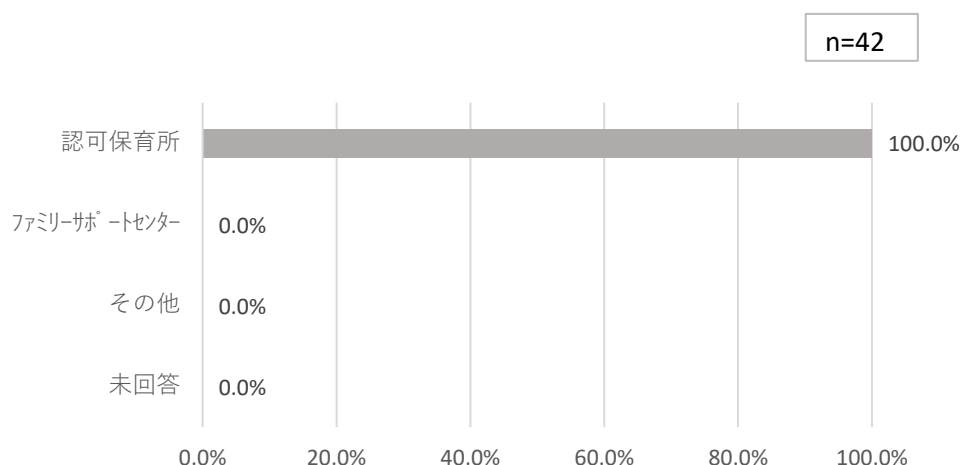
問7 問6で、いずれかに「1. 利用している」を選択した方

お子さんは平日、どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業を点線で囲んだ枠の中からお答えください。また、現在の利用状況と今後の利用意向をご記入ください。時間は必ず24時間制でお願いいたします。(数字は一枠に一字)

● 1人目

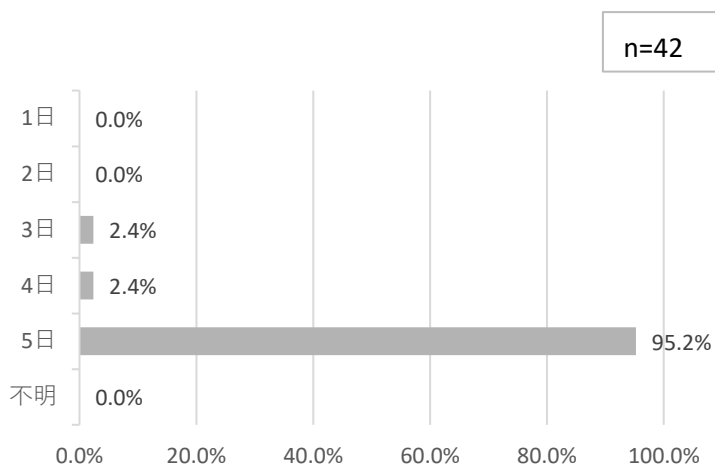
【年間を通じて定期的に利用している事業】

1人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」については、「認可保育所」が100.0%となっています。



【1週あたりの利用日数】

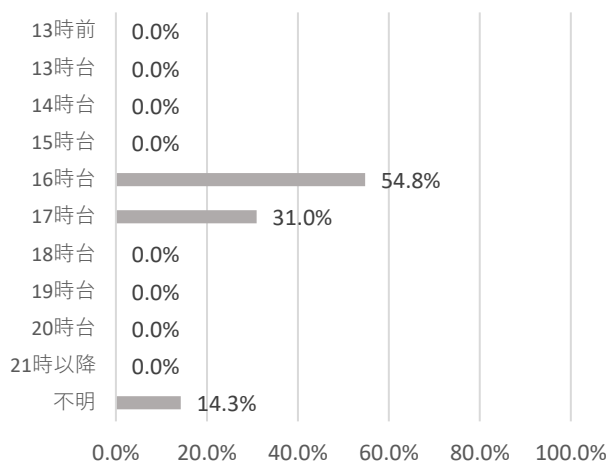
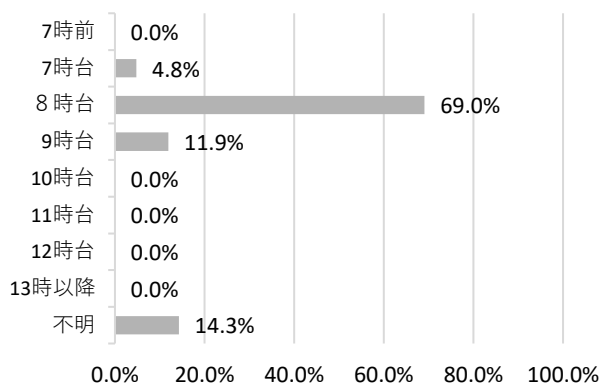
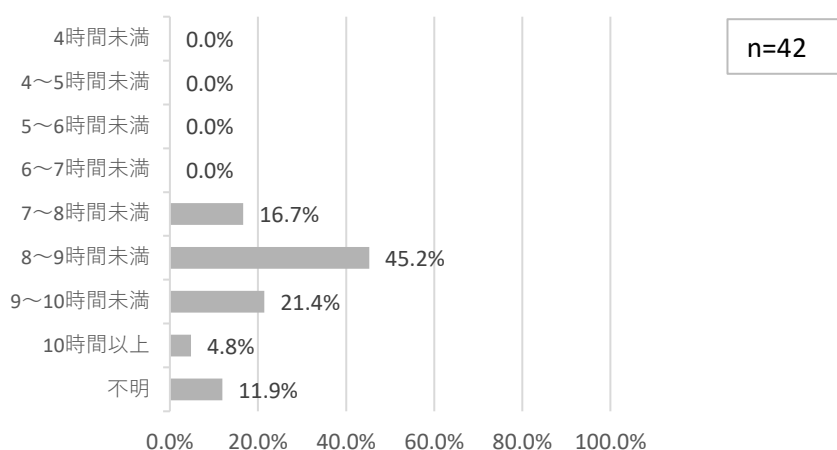
1人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の1週あたりの利用日数については、「5日」が95.2%と大多数を占め、次いで「4日」と「3日」が2.4%と同率となっています。



【1日あたりの利用時間】

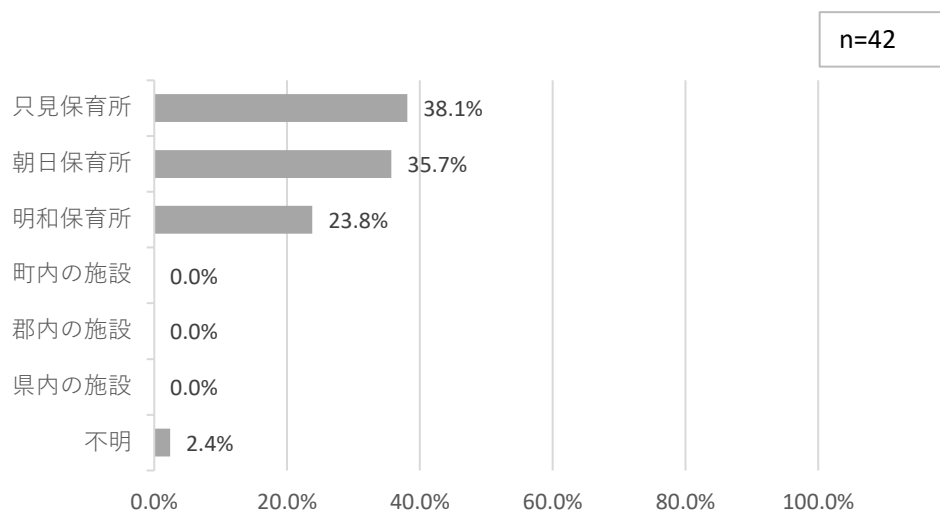
1人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の1日あたりの利用時間については、「8時間～9時間」が45.2%と最も高く、次いで「9時間～10時間」が21.4%、「7時間～8時間」が16.7%となっています。

また、開始時刻は、「8時台」が69.0%と最も高く、次いで「9時台」が11.9%となっており、終了時刻は、「16時台」が54.8%と最も高く、次いで「17時台」が31.0%となっています。



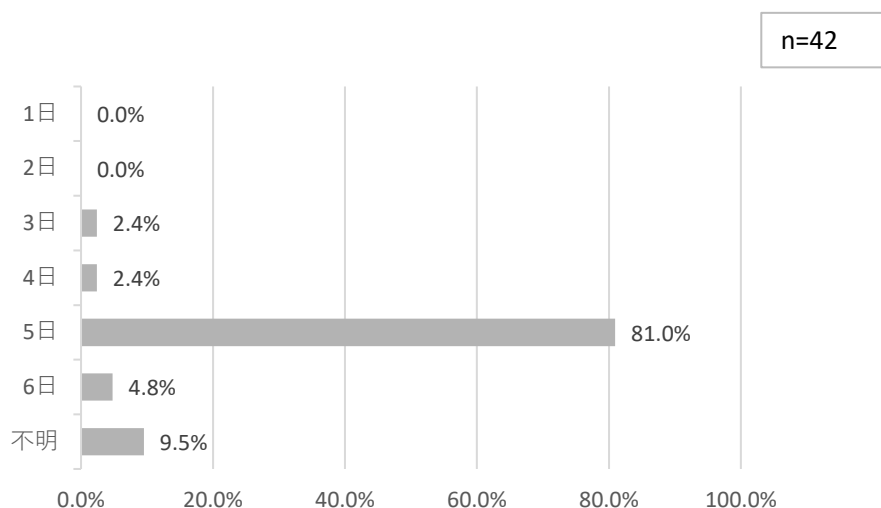
【実施場所】

1人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の実施場所については、「只見保育所」が38.1%と最も高く、次いで「朝日保育所」が35.7%、「明和保育所」が23.8%となっています。



【希望する1週あたりの利用日数】

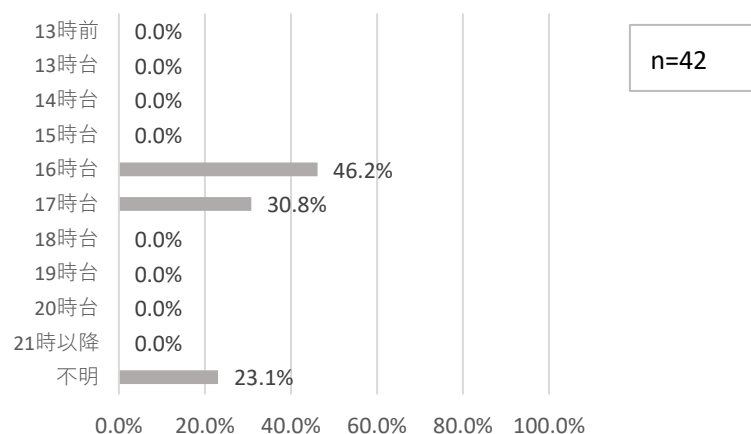
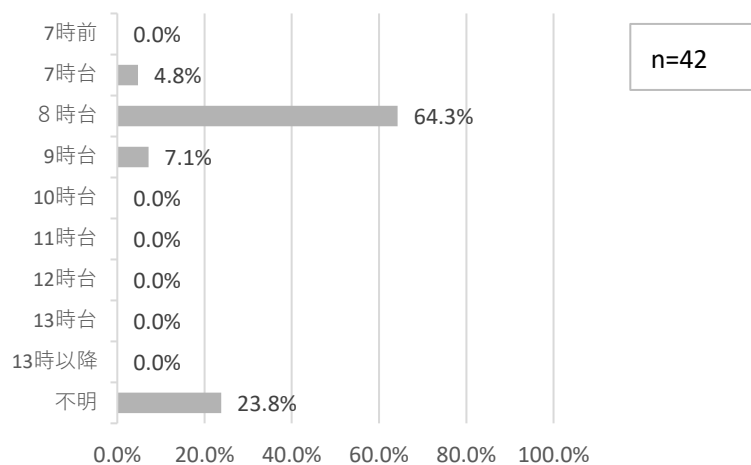
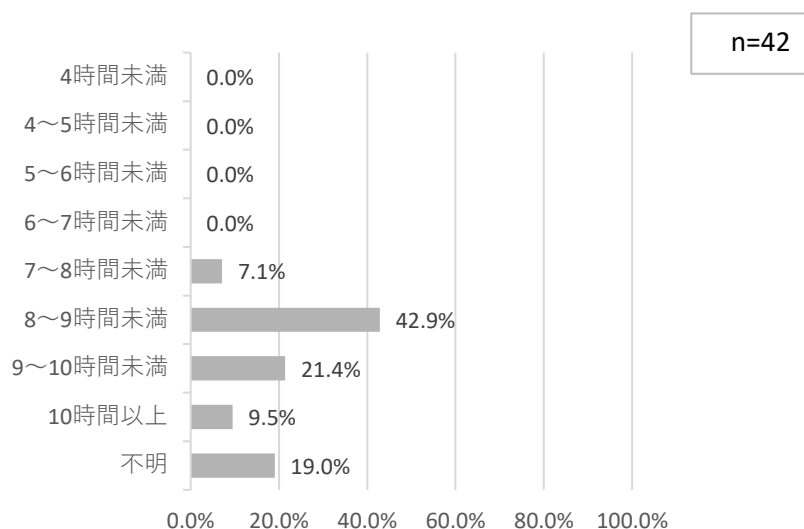
1人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の希望する1週あたりの利用日数については、「5日」が81.0%と大半を占めています。



【希望する１日あたりの利用時間】

１人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の希望する１日あたりの利用時間については、「８時間～９時間」が42.9%と最も高く、次いで「９時間～10時間」が21.4%、「10時間以上」が9.5%となっています。

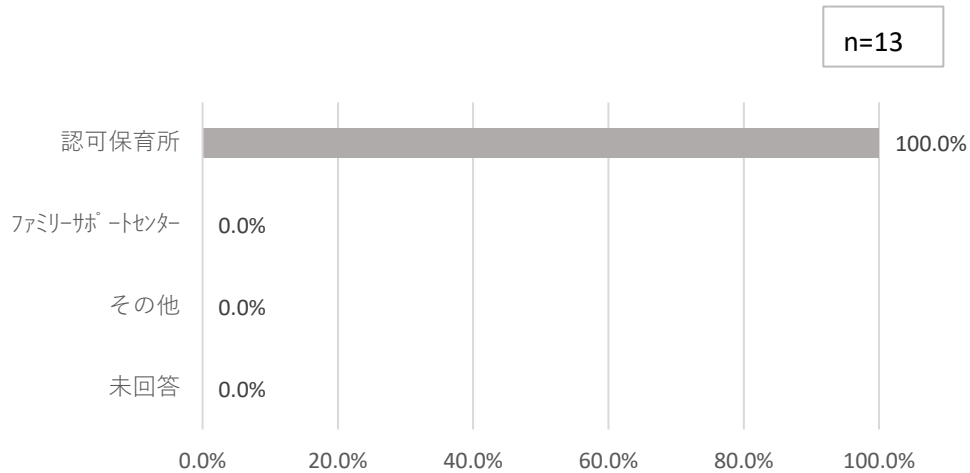
また、希望する開始時刻は、「８時台」が64.3%と最も高く、次いで「９時台」が7.1%となっており、希望する終了時刻は、「16時台」が46.2%と最も高く、次いで「17時台」が30.8%となっています。



● 2 人目

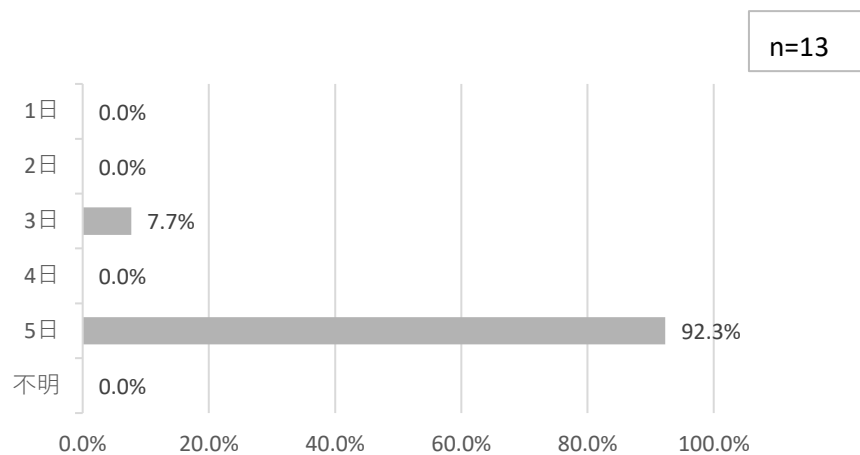
【年間を通じて定期的に利用している事業】

2 人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」については、「認可保育所」が 100.0%となっています。



【1 週あたりの利用日数】

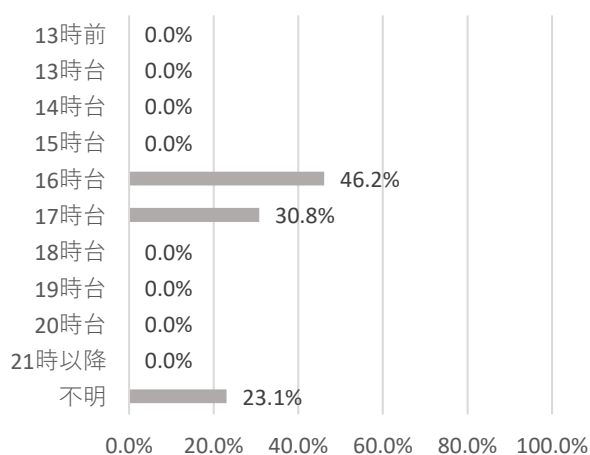
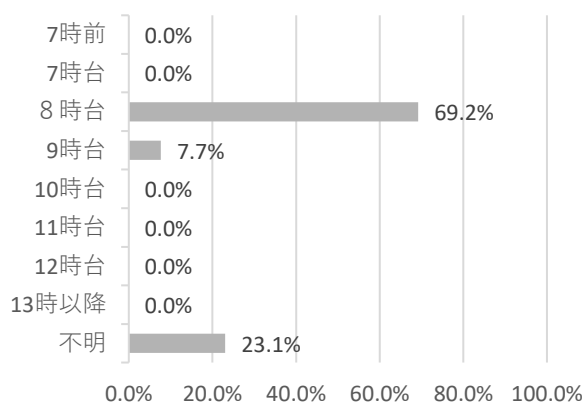
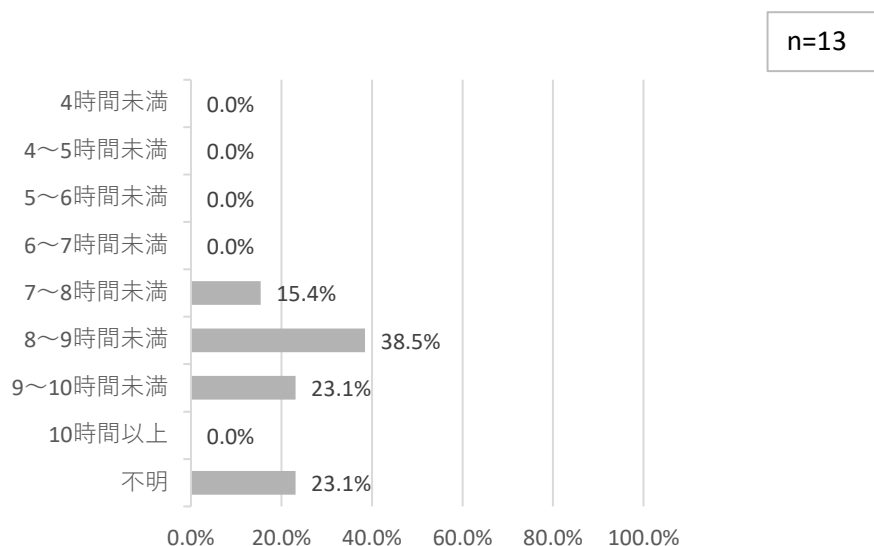
2 人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の 1 週あたりの利用日数については、「5 日」が 92.3%と大多数を占め、次いで「3 日」が 7.7%となっています。



【1日あたりの利用時間】

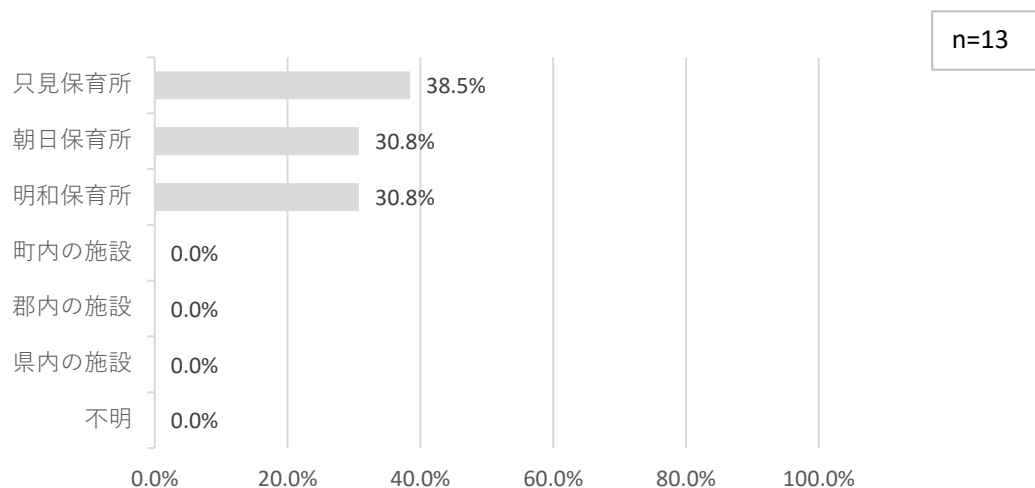
2人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の1日あたりの利用時間については、「8時間～9時間」が38.5%と最も高く、次いで「9時間～10時間」が23.1%、「7時間～8時間」が15.4%となっています。

また、開始時刻は、「8時台」が69.2%と最も高く、次いで「9時台」が7.7%となっており、終了時刻は、「16時台」が46.2%と最も高く、次いで「17時台」が30.8%となっています。



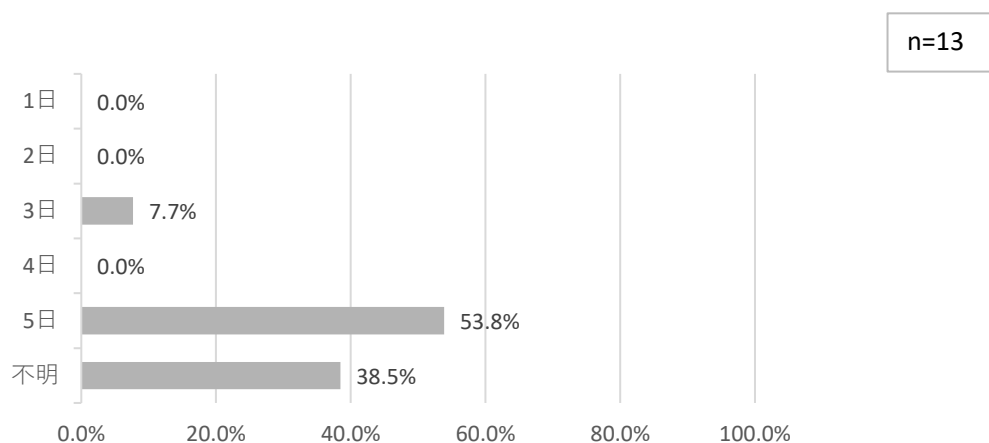
【実施場所】

2人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の実施場所については、「只見保育所」が38.5%と最も高く、次いで「朝日保育所」と「明和保育所」が30.8%と同率となっています。



【希望する1週あたりの利用日数】

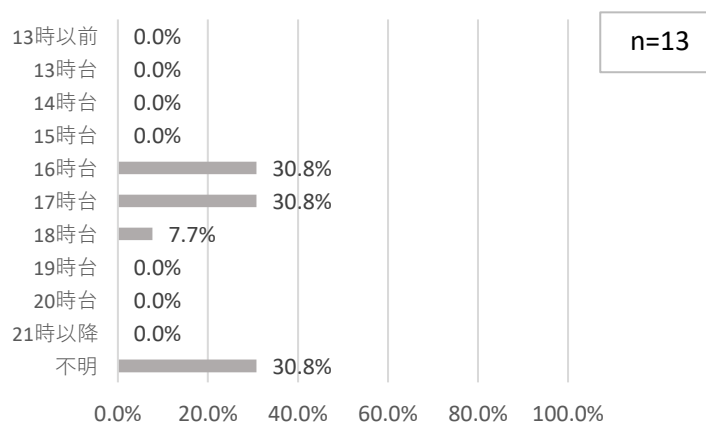
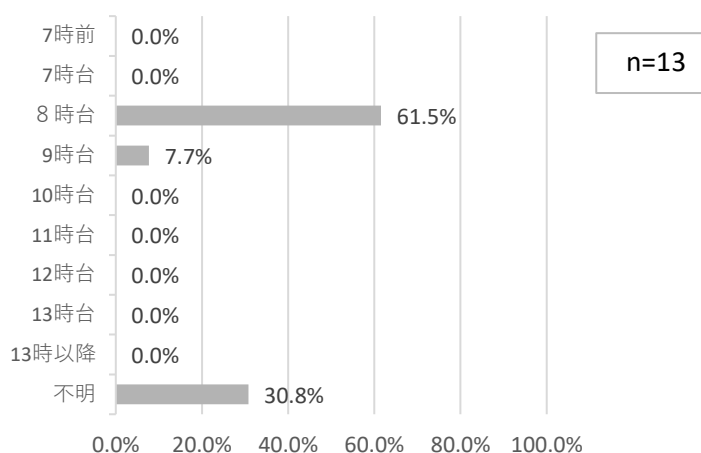
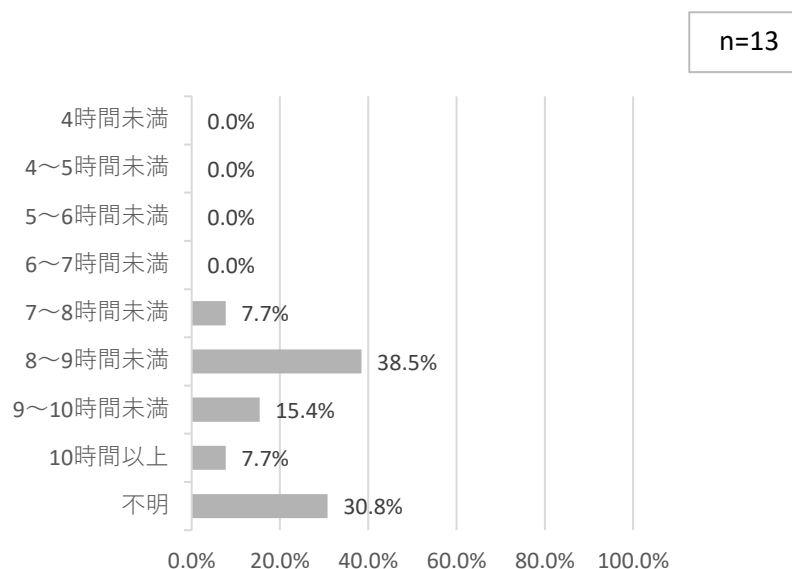
2人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の希望する1週あたりの利用日数については、「5日」が53.8%、ついで「3日」が8.3%となっています。



【希望する1日あたりの利用時間】

2人目のお子さんが平日に利用している「定期的な教育・保育の事業」の希望する1日あたりの利用時間については、「8時間～9時間」が38.5%と最も高く、次いで「9時間～10時間」が15.4%、「7～8時間」と「10時間以上」が7.7%と同率となっています。

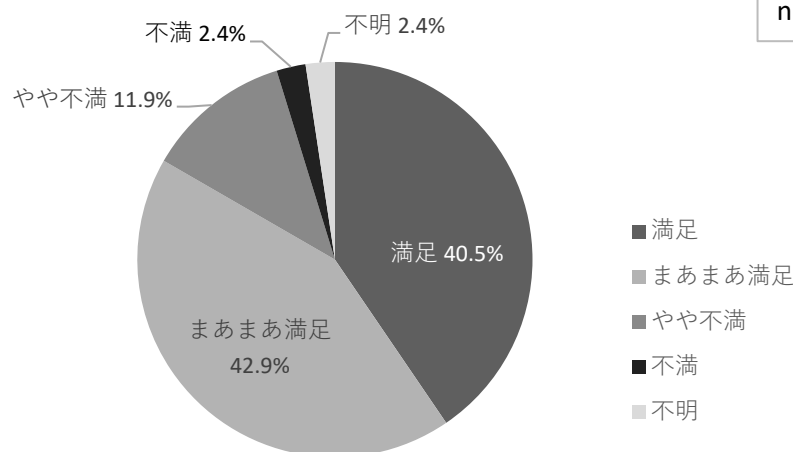
また、希望する開始時刻は、「8時台」が61.5%と最も高く、次いで「9時台」が7.7%となっており、希望する終了時刻は、「16時台」と「17時台」が30.8%と同率で最も高くなっています。



(8) 現在通っている保育所に対する満足度

問 8 問 7 で、「3. 認可保育所」を選択した方
現在通っている保育所に満足されていますか。(○は1つ)

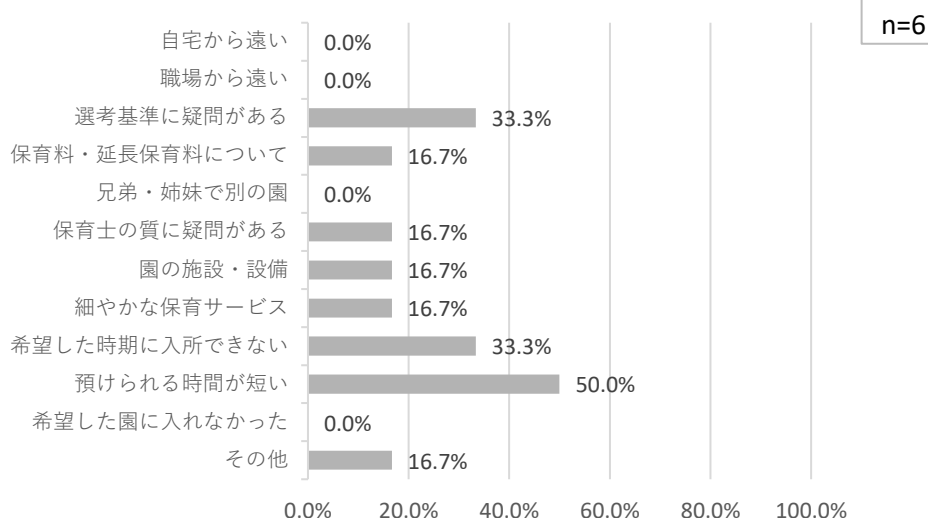
現在通っている保育所に満足しているかどうかについては、「まあまあ満足」が42.9%最も高く、次いで、「満足」が40.5%、「やや不満」が11.9%となっています。



(8-1) 保育所に不満を感じている理由

問 8-1 問 8 で、「3」または「4」を選択した方
保育所に不満を感じている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

保育所に不満を感じている理由については「預けられる時間が短い」が50.0%と最も高く、次いで「選考基準に疑問がある」「希望した時期に入所できない」が33.3%と同率となっています。



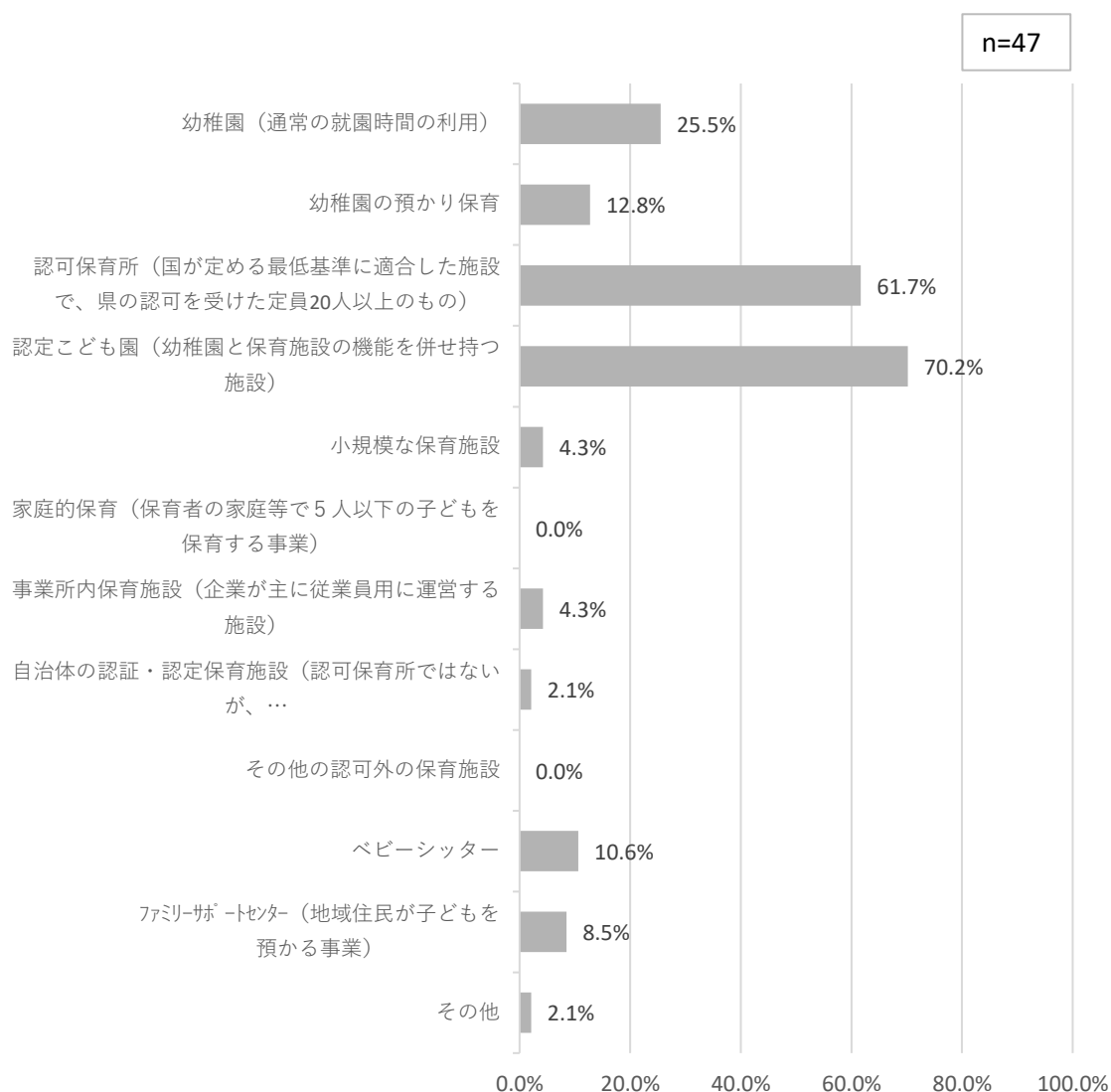
●その他

冬期間の国道からの出入り

(9) 定期的に利用したいと考える事業

問9 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的」に利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

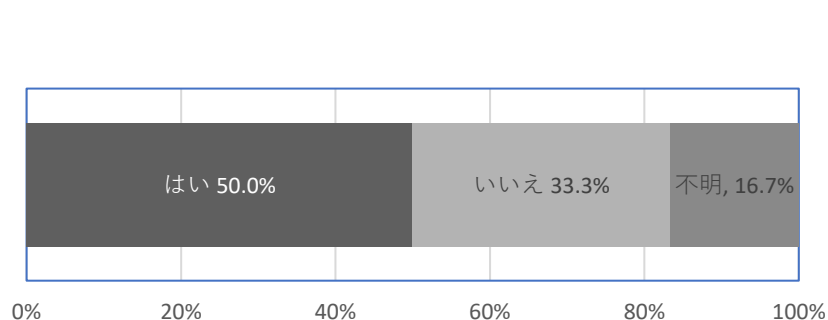
定期的にご利用したいと考える事業については、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が70.2%と最も高く、次いで認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で、県の認可を受けた定員20人以上のもの）61.7%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が25.5%となっています。



(9-1) 幼稚園の利用意向

問 9-1 問 9 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3～12」にも○をつけた方
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

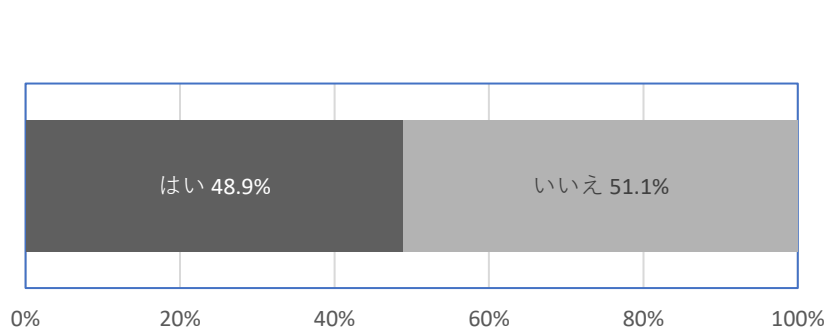
平日の教育・保育の事業として、特に幼稚園の利用を強く希望するかについて、「はい」が 50.0%、「いいえ」が 33.3%となっています。



(9-2) 「ゼロ歳児保育」の実施希望

問 9-2 現在、只見町では、保育所の募集対象を「満1歳以上の児童」としていますが、0歳児も対象とした「ゼロ歳児保育」について、実施してほしいという希望はありますか。もしくは、すでにお子様が満1歳以上であるが実施してほしいという希望はありましたか。（○は1つ）

「ゼロ歳児保育」を実施してほしい、もしくは実施してほしいかについては、「はい」が 48.9%、「いいえ」が 51.1%となっています。



3. 育児休業について

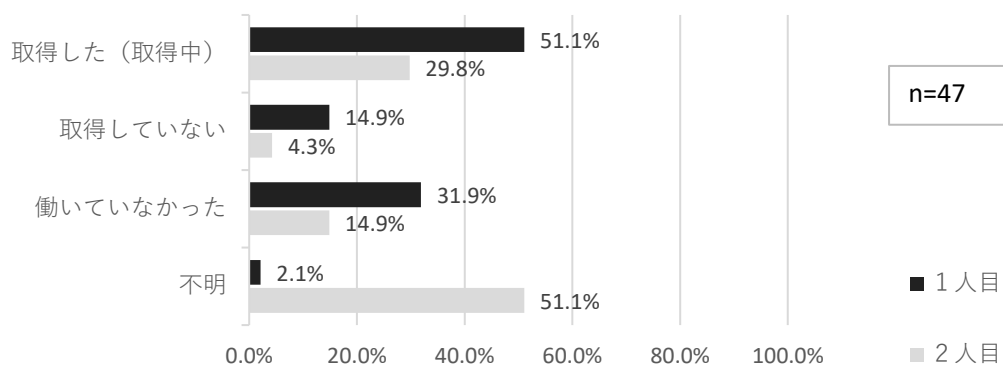
(10) 育児休業の取得

問 10 お子さんが生まれた時、父母それぞれが育児休業を取得しましたか。(〇はそれぞれ1つ)

(1) 母親

1人目の子どもが生まれた時に母親が育児休業を取得したかについては、「取得した（取得中）」が51.1%と最も高く、次いで「働いていなかった」が31.9%、「取得していない」が14.9%となっています。

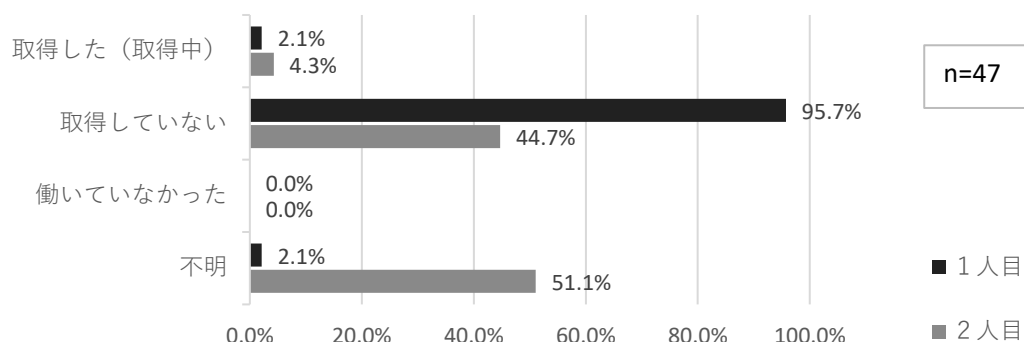
2人目の子どもが生まれた時に母親が育児休業を取得したかについても、「取得した（取得中）」が29.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」が14.9%、「取得していない」が4.3%となっています。



(1) 父親

1人目の子どもが生まれた時に父親が育児休業を取得したかについては、「取得していない」が95.7%と最も高く、次いで「取得した（取得中）」が2.1%となっています。

2人目の子どもが生まれた時に父親が育児休業を取得したかについても、「取得していない」が44.7%と最も高く、次いで「取得した（取得中）」が4.3%となっています。「働いていなかった」はどちらも0.0%となっています。



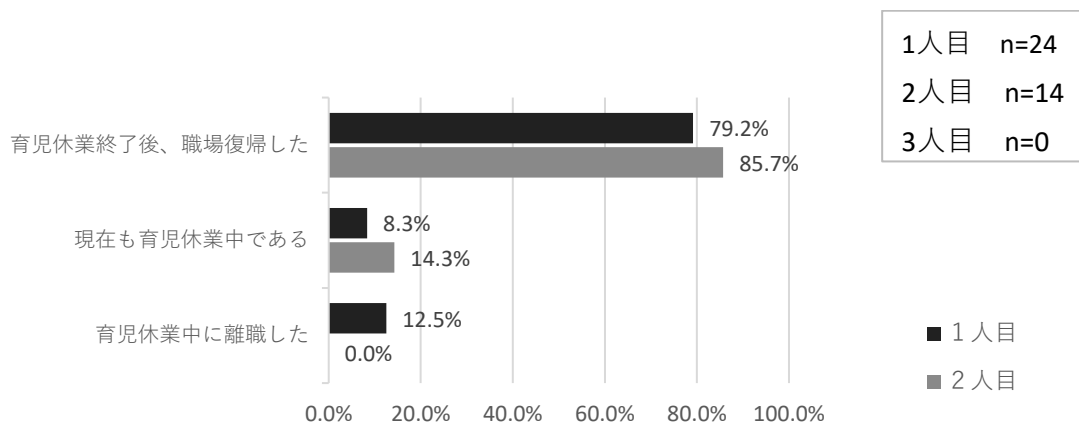
(10-1) 育児休業終了後の職場復帰の状況

問 10-1 問 5 で母親または父親のいずれかで育児休業を「1. 取得した(取得中)」を選択した方
 育児休業終了後、職場に復帰しましたか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 母親

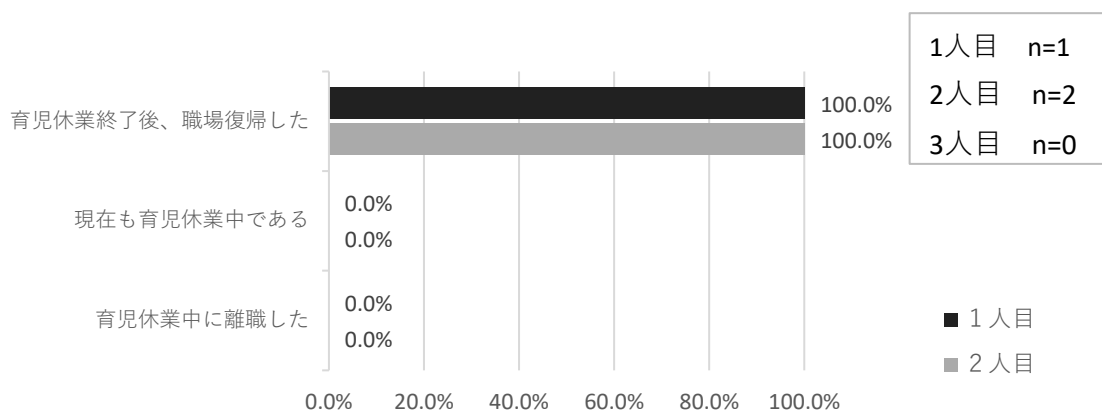
1 人目の子どもが生まれた時に育児休業を取得した母親が職場復帰したかについては、「育児休業終了後、職場復帰した」が 79.2%と最も高く、次いで「育児休業中に離職した」が 12.5%、「現在も育児休業中である」が 8.3%となっています。

2 人目の子どもが生まれた時に育児休業を取得した母親が職場復帰したかについては、「育児休業終了後、職場復帰した」が 85.7%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 14.3%となっています。



(1) 父親

1 人目の子どもが生まれた時、2 人目の子どもが生まれた時共に、「育児休業を取得した父親が職場復帰したかについては、「育児休業終了後、職場復帰した」が 100.0%となっています。



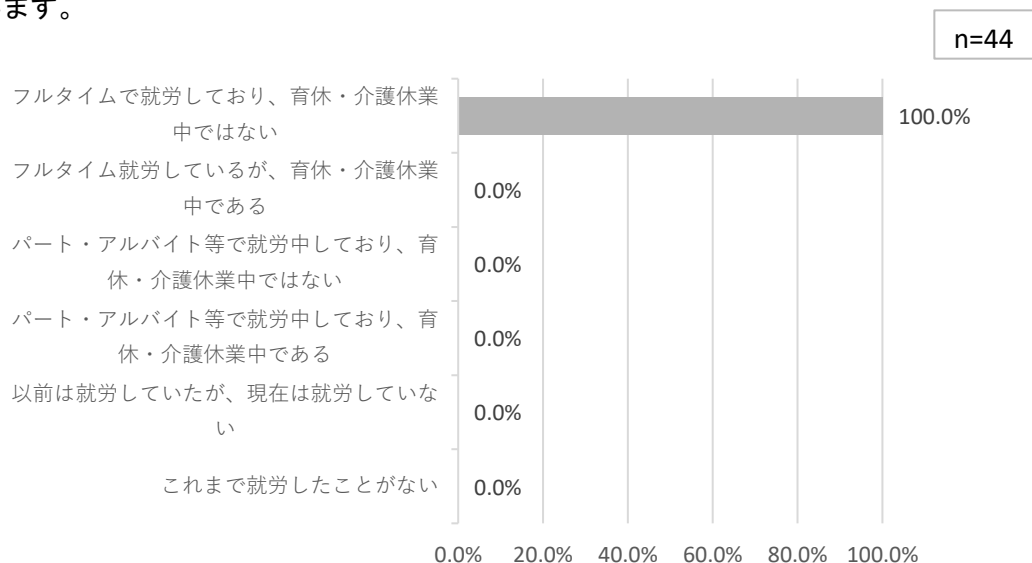
4. 保護者の就労状況について

(11) 保護者の就労状況

問 11 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

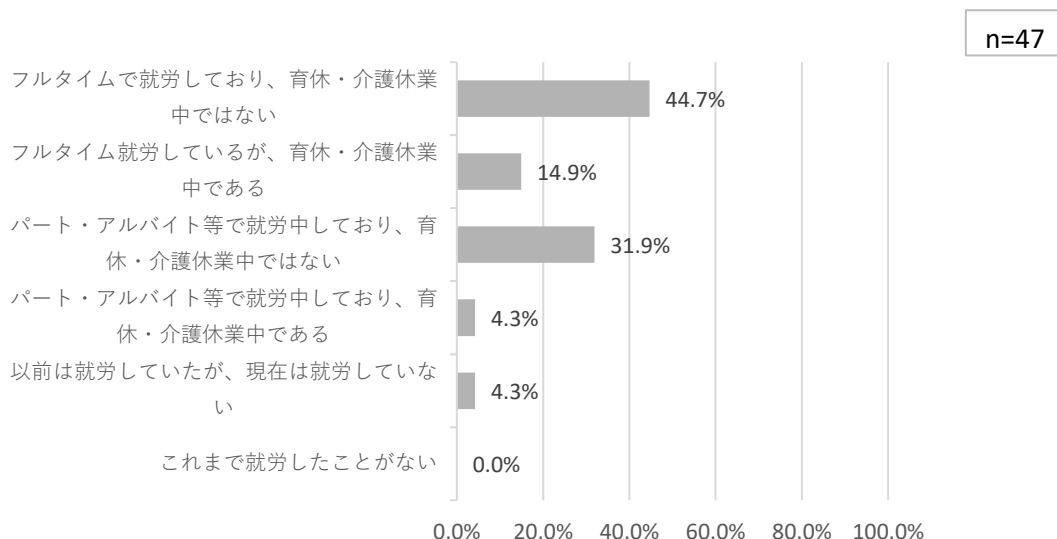
(1) 父親

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 100.0%となっています。



(2) 母親

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 44.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 31.9%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 14.9%となっています。



(11-1) 家を出る時間と帰宅時間

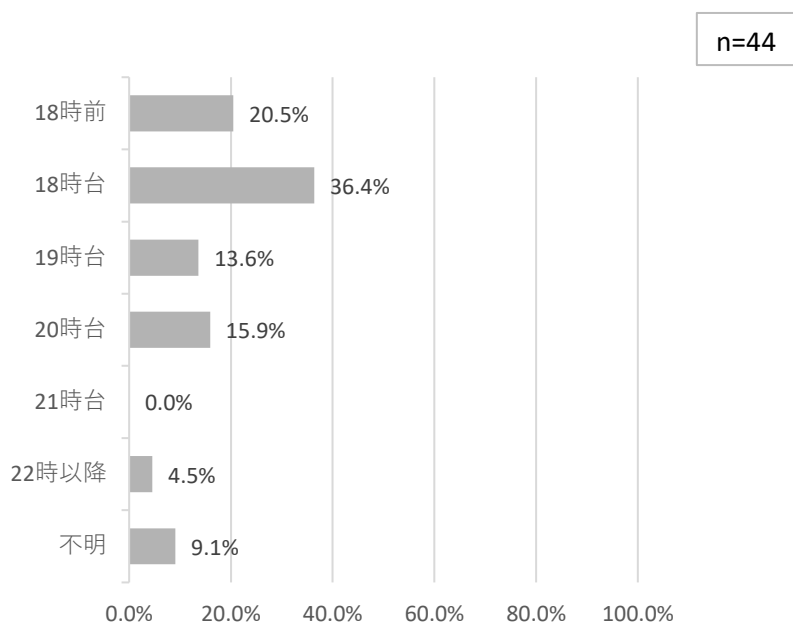
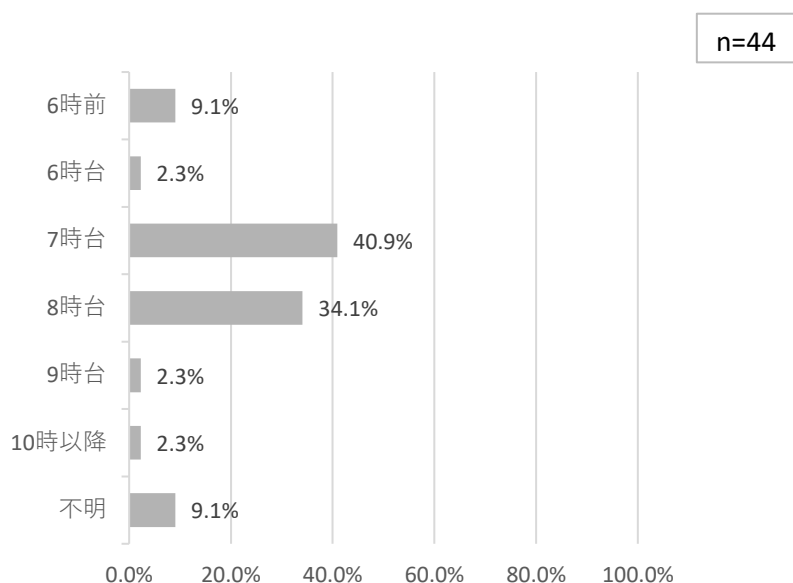
問 11-1 問 11 で「1」から「4」に○をつけた方

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。必ず、時間は 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 父親

父親の家を出る時間は、「7 時台」が 40.9%と最も高く、次いで、「8 時台」が 34.1%、「6 時前」が 9.1%となっています。

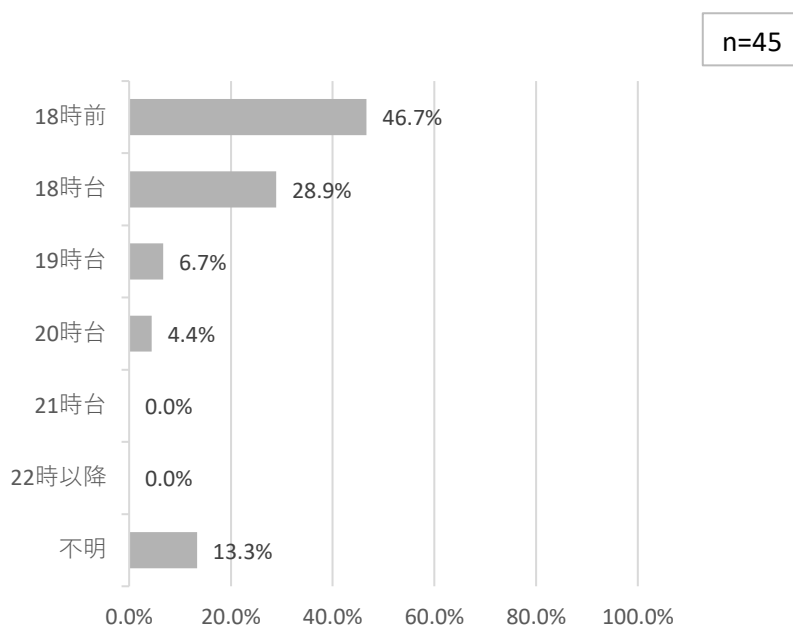
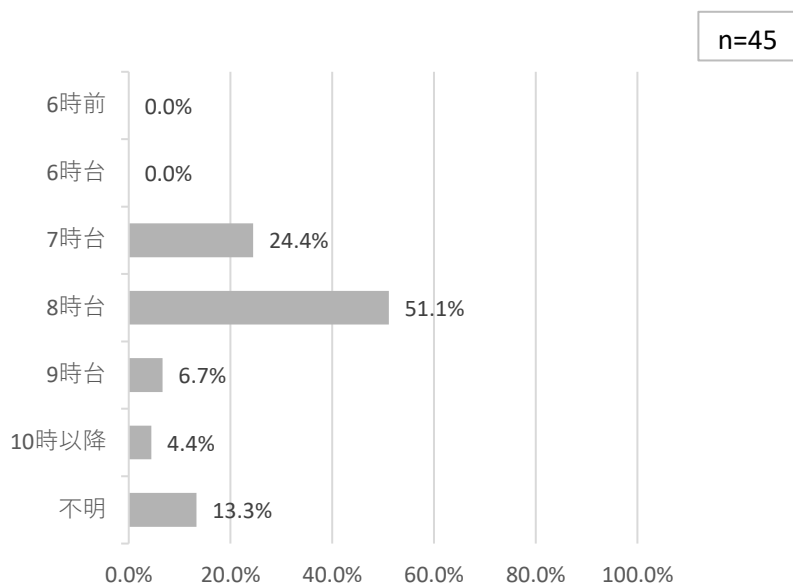
また、帰宅時間は、「18 時台」が 36.4%と最も高く、次いで「18 時前」が 20.5%、「20 時台」が 15.9%となっています。



(2) 母親

母親の家を出る時間は、「8 時台」が 51.1%と最も高く、次いで「7 時台」が 24.4%、「9 時台」が 6.7%、となっています。

また、帰宅時間は、「18 時前」が 46.7%と最も高く、次いで「18 時台」が 28.9%、「19 時台」が 6.7%となっています。

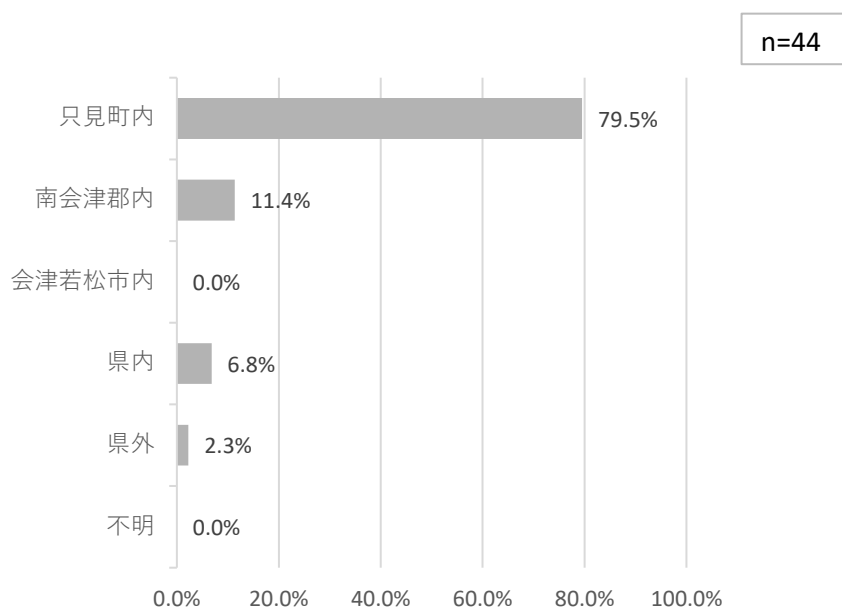


(11-2) 職場のある場所

問 11-2 職場はどこにありますか。(○は1つ)

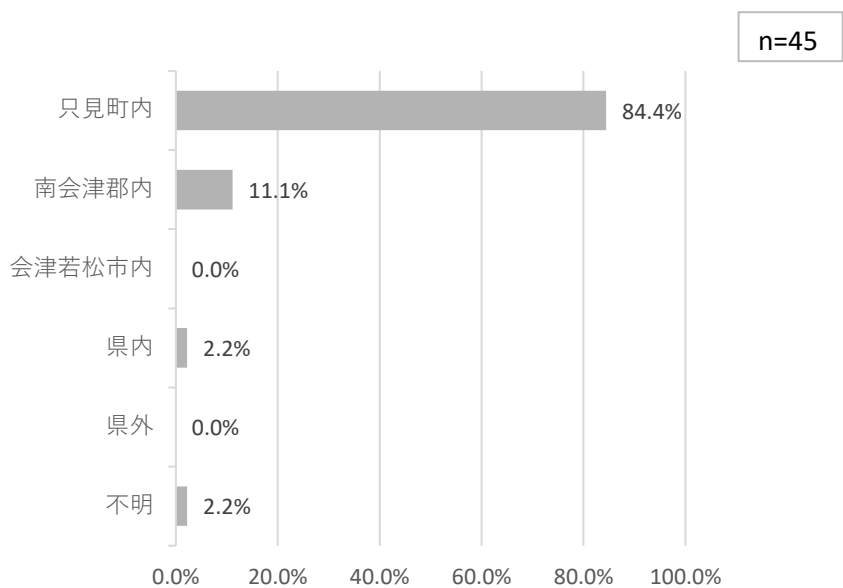
(1) 父親

父親の職場の場所については、「只見町内」が 79.5%と最も高く、次いで「南会津郡内」が 11.4%となっています。



(2) 母親

母親の職場の場所については、「只見町内」が 84.4%と最も高く、次いで「南会津郡内」が 11.1%となっています。



(12) フルタイムへの転換希望

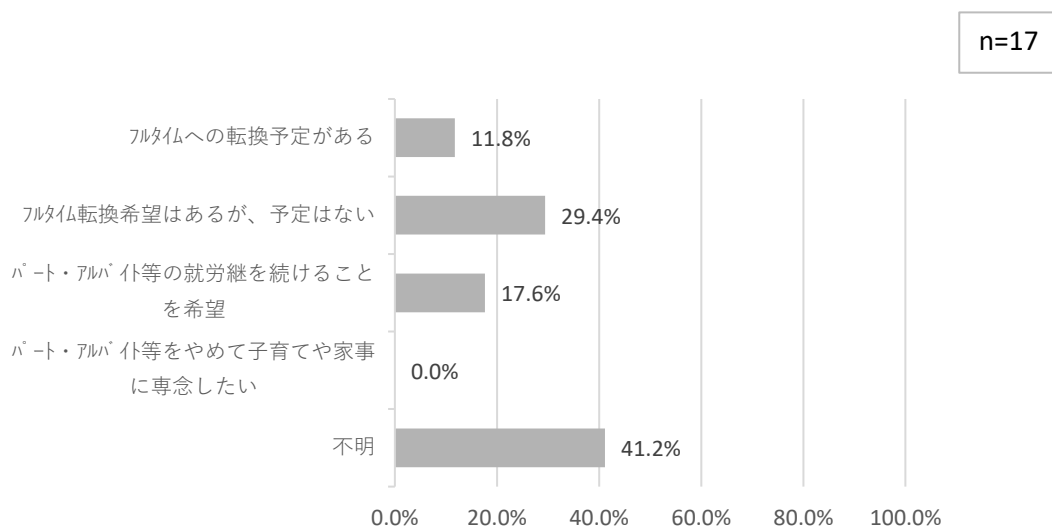
問12 問11で「3」または「4」に○をつけた方
フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 父親

(該当者なし)

(2) 母親

パート・アルバイト等に就労している母親のフルタイムへの転職希望については、「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」が29.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が17.6%、「フルタイムへの転換予定がある」が11.8%となっています。



(13) 就労希望

問13 問11で「5」または「6」に○をつけた方
就労したいという希望はありますか。

(1) 父親

(該当者なし)

(2) 母親

現在就労していない母親の今後の就労についての希望は、2名の該当者のうち有効な回答がありませんでした。

(13-1) 希望する就労形態

問 13-1 問 13 で「2」または「3」に○をつけた方
希望する就労形態をお答えください。

(1) 父親

(該当者なし)

(2) 母親

現在就労していないが就労を希望している母親の今後の就労についての希望は、回答者がいませんでした。

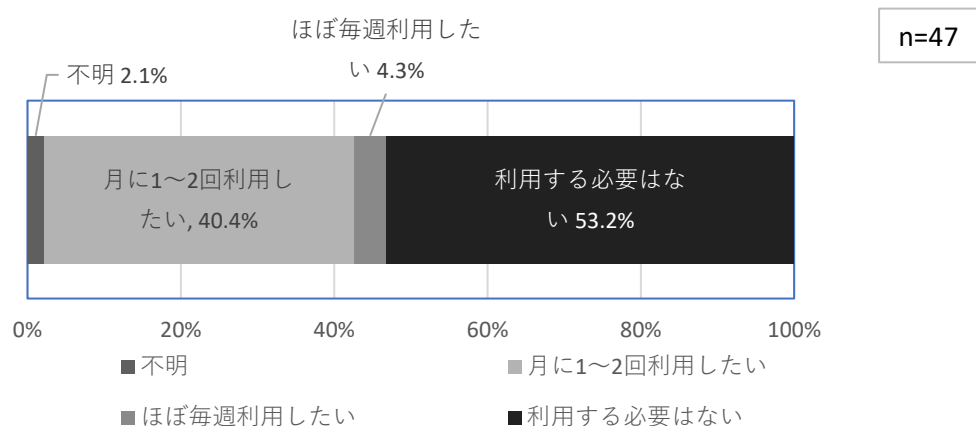
5. 多様な保育事業について

(14) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望

問 14 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

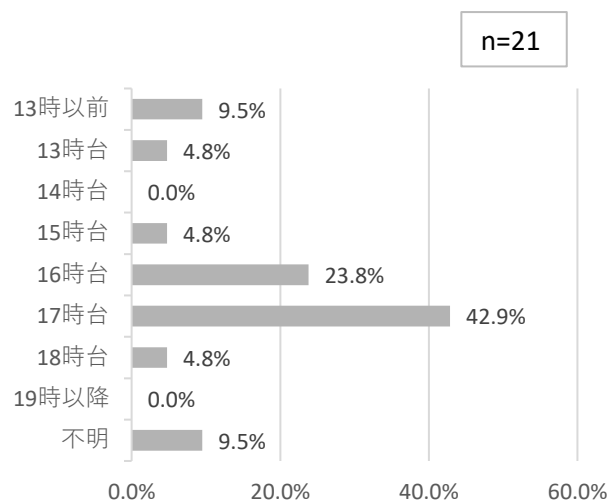
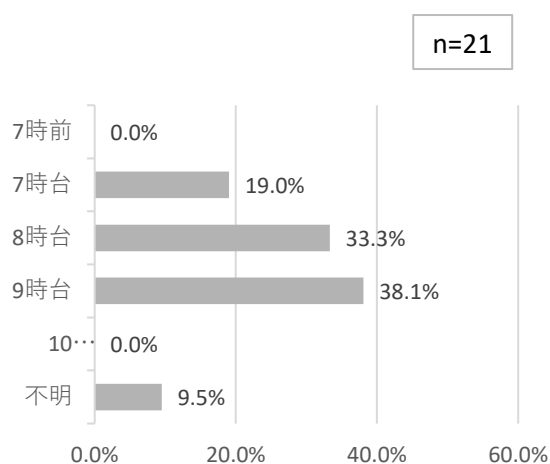
①土曜日

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が53.2%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が40.4%、「ほぼ毎週利用したい」が4.3%となっています。



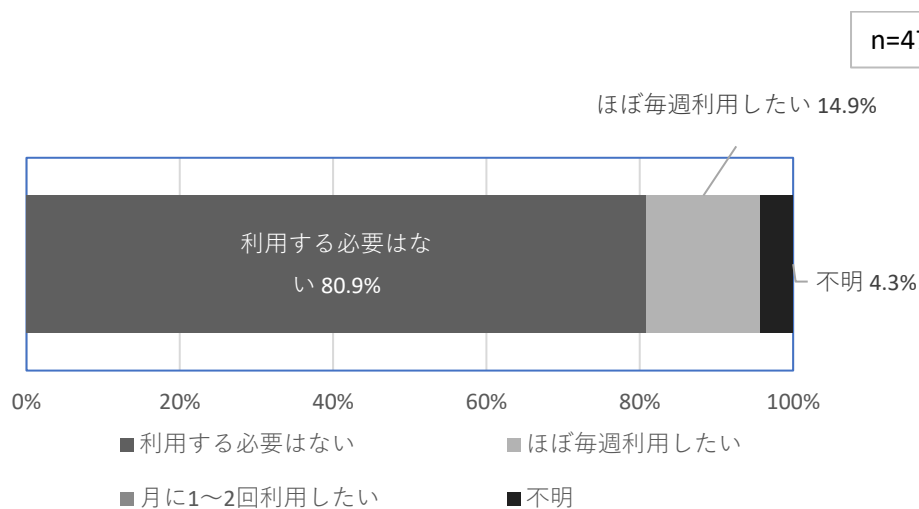
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用を希望する人の利用したい開始時刻は、「9 時台」が 38.1%と、次いで「8 時台」が 33.3%、「7 時台」が 19.0%となっています。

また、利用したい終了時刻は、「17 時台」が 42.9%と最も高く、次いで「16 時台」が 23.8%、となっています。



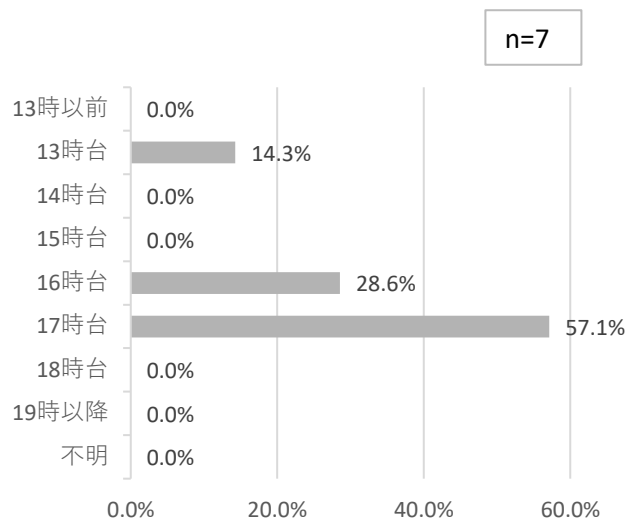
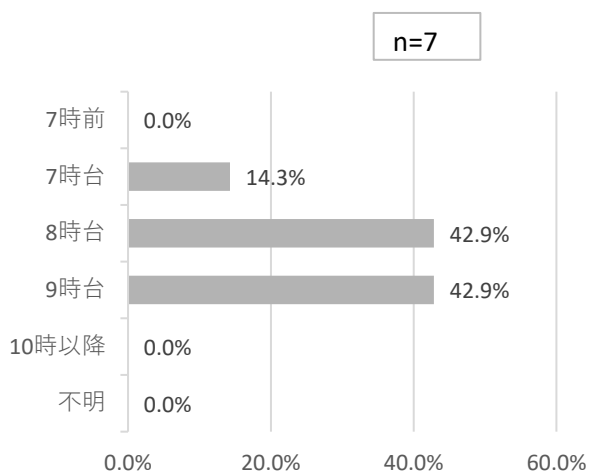
②日曜日・祝日

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が80.9%と最も高く、次いで「ほぼ毎週利用したい」が14.9%となっています。



日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用を希望する人の利用したい開始時刻は、「8時台」と「9時台」が42.9%と同率で、ついで「7時台」が14.3%となっています。

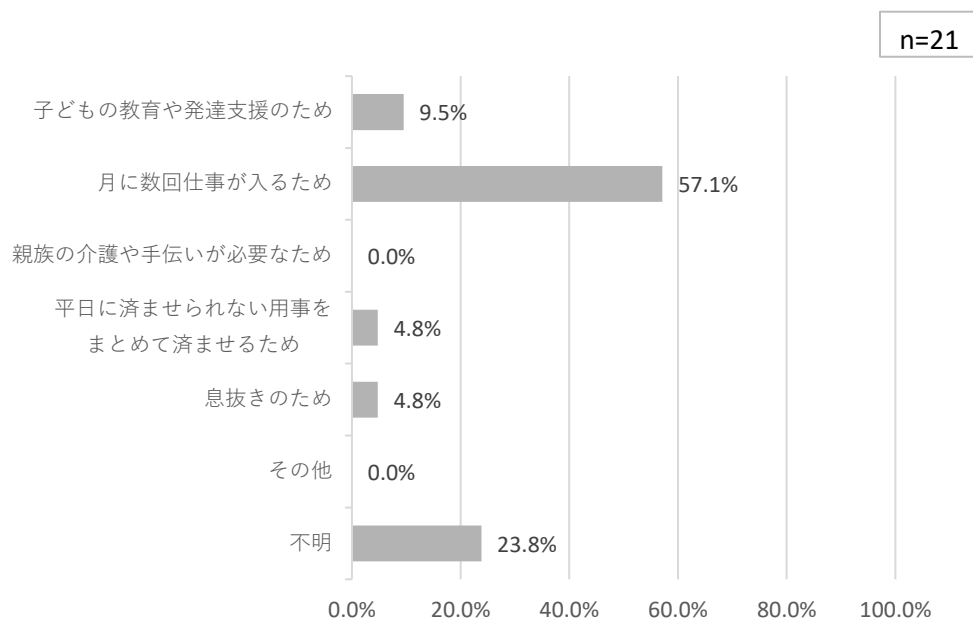
また、利用したい終了時刻は、「17時台」が57.1%と最も高く、次いで「16時台」が28.6%、「13時台」が14.3%となっています。



(14-1) 土曜日、日曜日・祝日に利用したい理由

問 14-1 問 14 で「2」または「3」に○をつけた方
利用したい理由はなんですか。

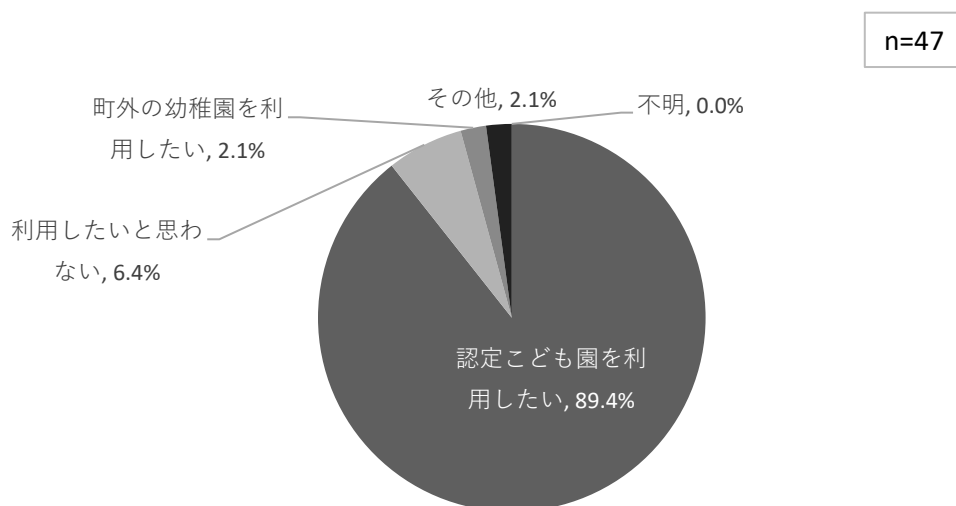
土曜、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用を希望する理由は、「月に数回仕事が入るため」が 57.1%と最も高く、ついで「子どもの教育や発達支援のため」が 9.5%、となっています。



(15) 認定こども園の利用希望

問 15 認定こども園は現在、只見町を含め南会津郡内には整備されていません。只見町では第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき認定こども園の設置に向け協議検討中ですが、只見町にできた場合、利用したいと思いますか。(○は1つ)

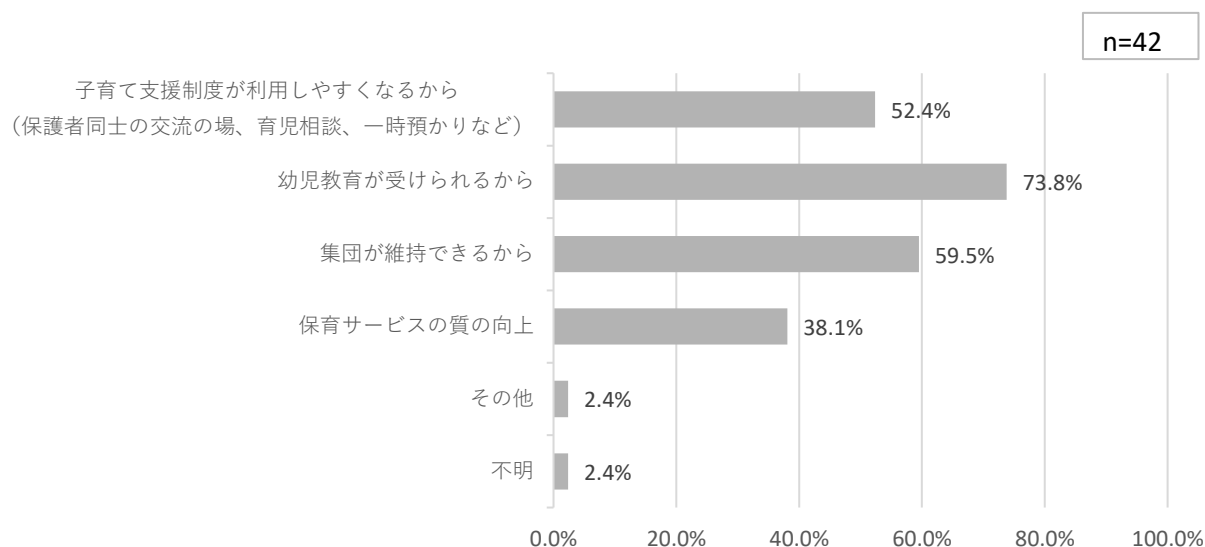
只見町内に「認定こども園」ができた場合、利用したいかどうかについては、「認定こども園を利用したい」が89.4%と大半を占め、次いで「利用したいと思わない」が6.4%となっています。



(15-1) 認定こども園を利用したい理由

問 15-1 問 15 で「1」に○をつけた方
認定こども園を利用したい理由はなんですか。

認定こども園の利用を希望する理由は、「幼児教育が受けられるから」が73.8%と最も高く、ついで「集団が維持できるから」が59.5%、「子育て支援制度が利用しやすくなるから」が52.4%となっています。



●その他

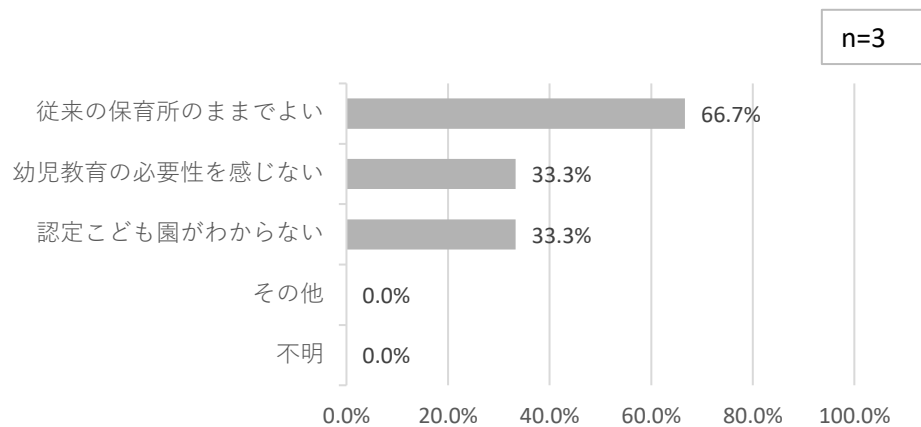
他に選択肢がないから

(15-2) 認定こども園を利用したくない理由

問 15-2 問 15 で「2」に○をつけた方

認定こども園を利用したくない理由はなんですか。

認定こども園の利用を希望しない理由は、「従来の保育所のままでよい」が 66.7%と最も高く、
ついで「幼児教育の必要性を感じない」「認定こども園がわからない」が 33.3%と同率となっ
ています。

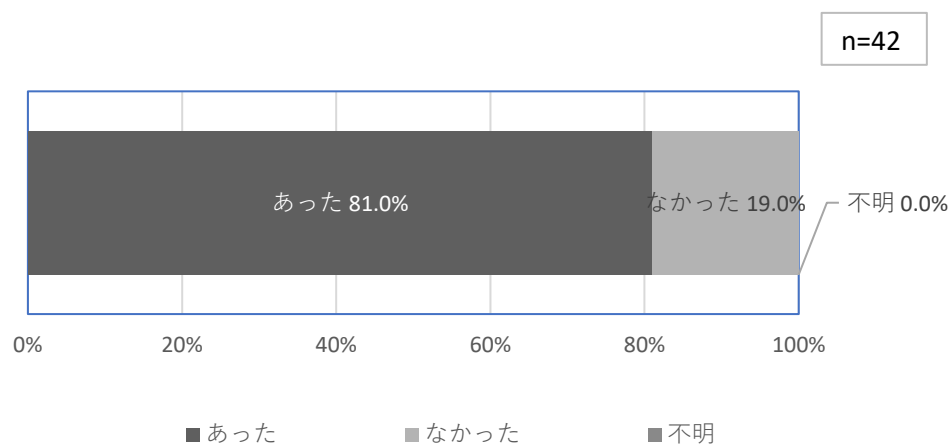


6. 子どもの病気やケガの際の対応について

(16) 子どもが病気やケガで通常事業が利用（通園）できなかったことの有無

問 16 2 ページの問 6 で、平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」と答えた方
この 1 年間に、お子さんが病気やケガで通常の仕事が利用（通園）できなかったことは
ありますか。（○は 1 つ）

平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」人が、この 1 年間に子どもの病気やケガで平日の教育・保育事業が利用できなかったことの有無については、「あった」が 81.0%、「なかった」が 19.0%となっています。

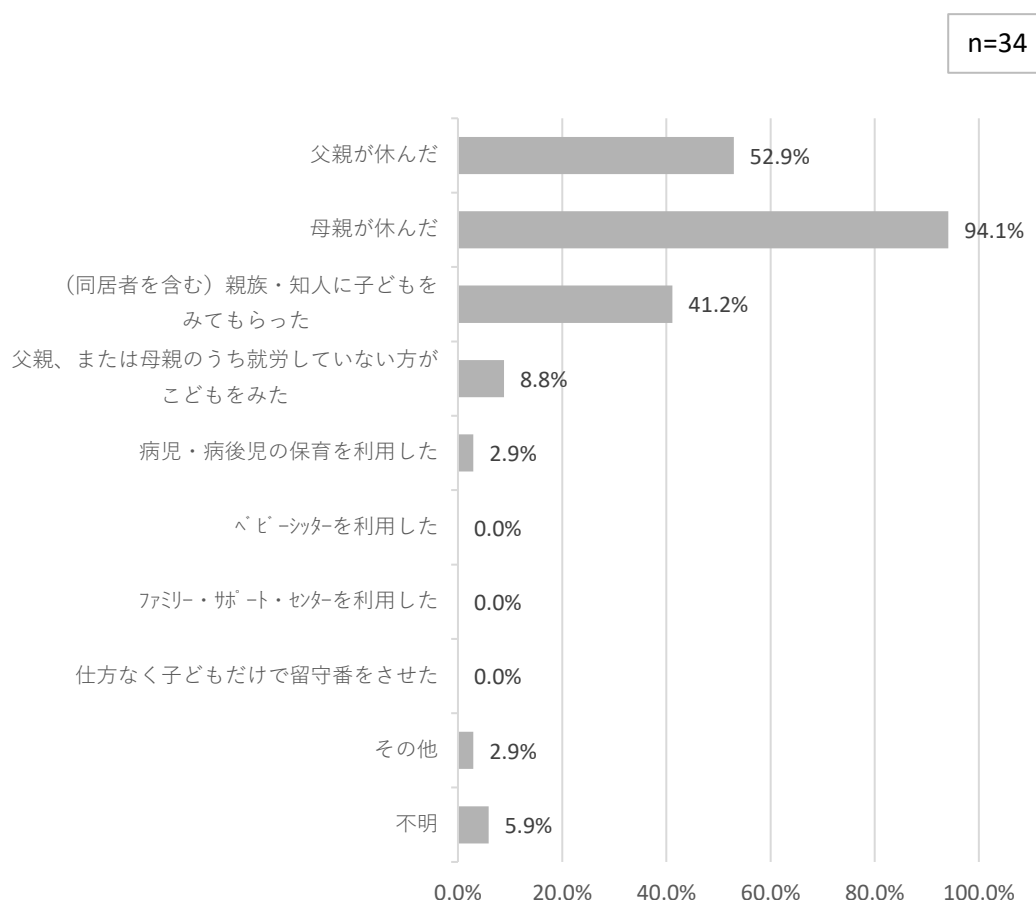


(16-1) 子どもが病気やケガで通常事業が利用（通園）できなかったときの対処方法

問 16-1 問 16 で「1. あった」を選択した方

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用（通園）できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数も□内にご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字。）

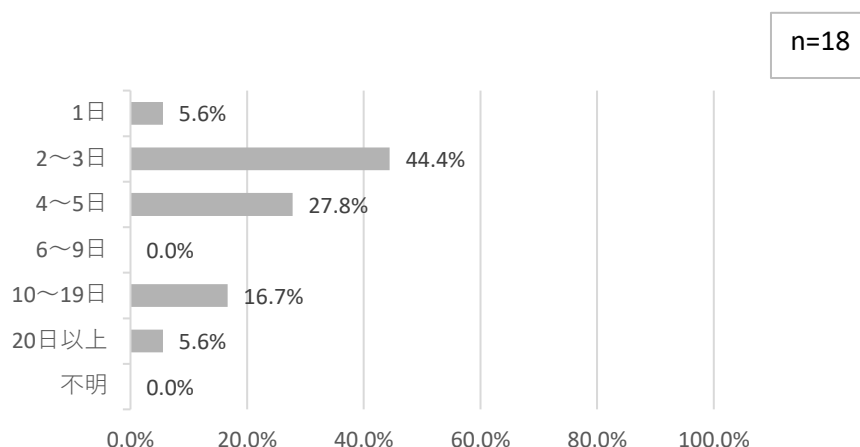
子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったときのこの 1 年間の対処方法については、「母親が休んだ」が 94.1%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が 52.9%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が 41.2%となっています。



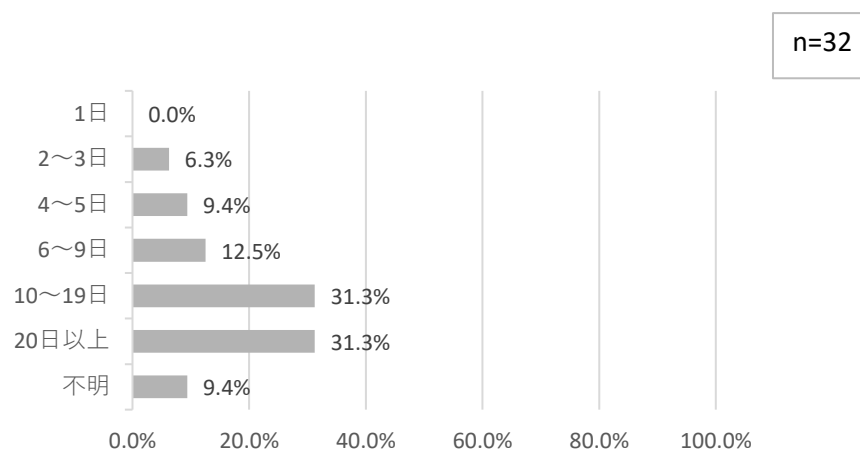
●その他

勤務変更、時間給を父、母が行い分担して看護した

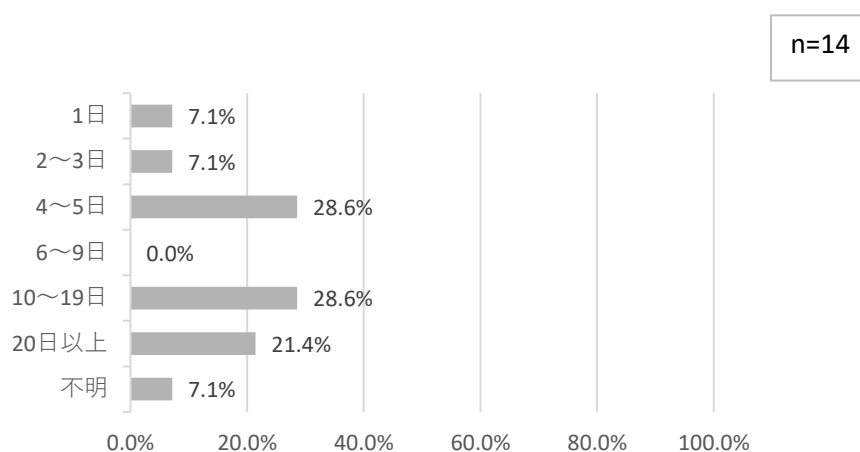
父親が休んだ日数については、「2日～3日」が44.4%と最も高く、次いで「4日～5日」が27.8%、「10日～19日」が16.7%となっています。



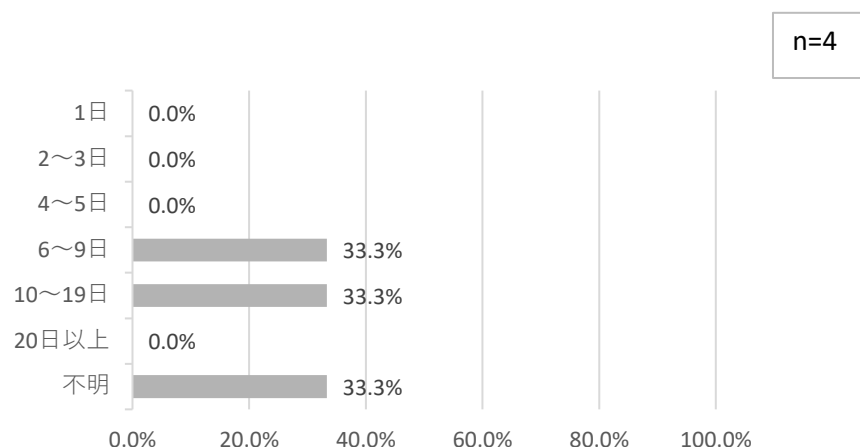
母親が休んだ日数については、「10日～19日」と「20日以上」31.3%と同率で最も高く、ついで「6日～9日」が12.5%となっています。



(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数については、「4日～5日」と「10日～19日」が28.6%と同率で最も高く、次いで「20日以上」が21.4%となっています。



父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数については、「6～9日」と「10日～19日」が33.3%と同率となっています。



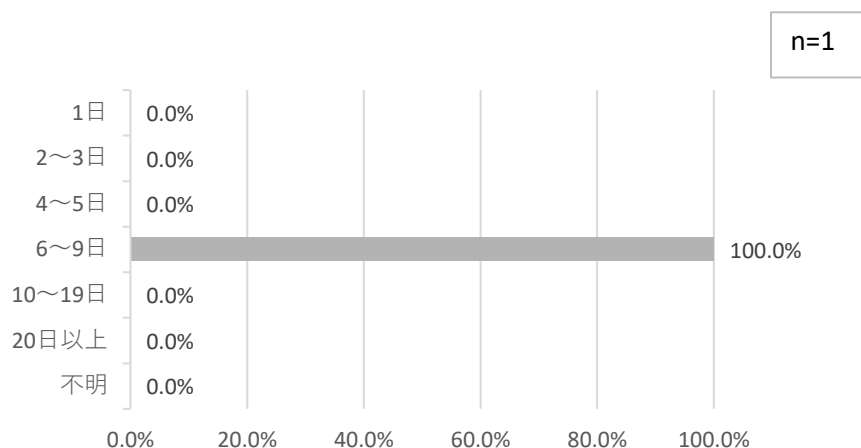
病児・病後児の保育を利用した日数については、該当者1名のうち有効な回答がありませんでした。

ベビーシッターを利用した日数については、該当者がいませんでした。

ファミリー・サポート・センターを利用した日数については、該当者がいませんでした。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数については、該当者がいませんでした。

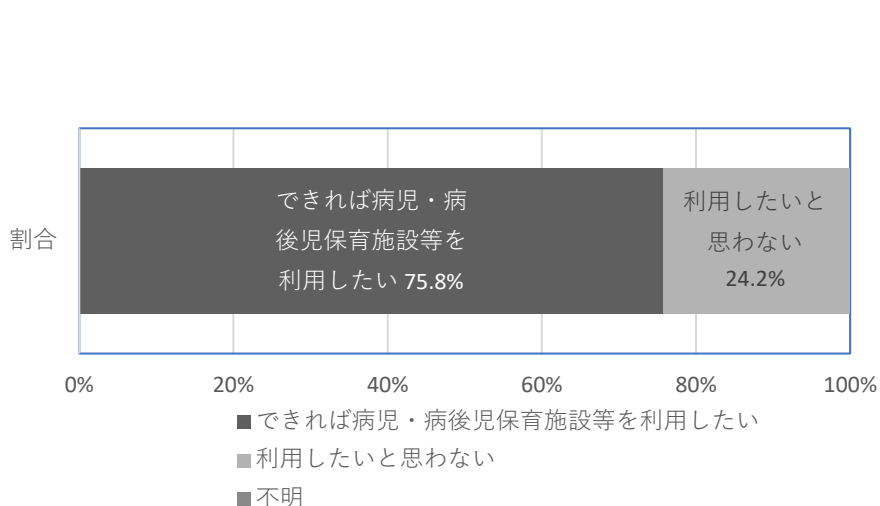
その他の日数については、該当者1名で、「6～9日」となっています。



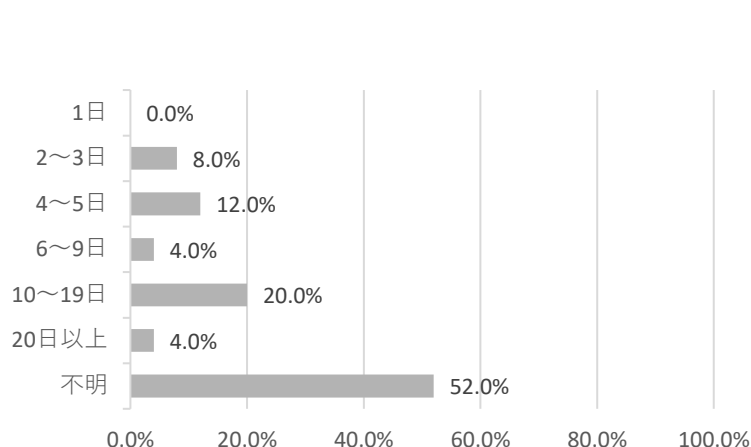
(16-2) 保育所の病児・病後児保育等の利用意向

問 16-2 問 16-1 で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」を選択した方
 その際、「できれば保育所の病児・病後児保育等を利用したい」と思われましたか。日
 数についても口内にご記入ください。（○は 1 つ。また数字は一枠に一字。）

病児・病後児保育施設等の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」
 が 75.8%、「利用したいとは思わない」が 24.2%となっています。



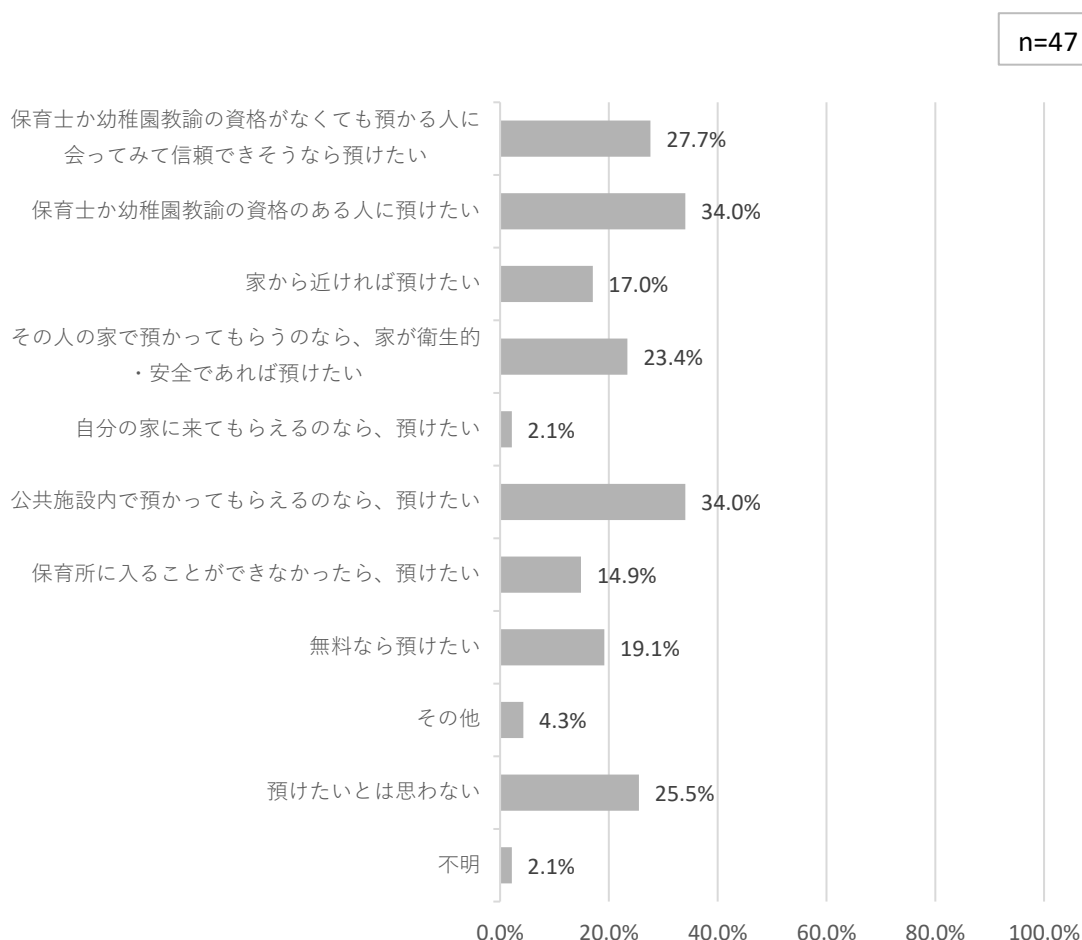
病児・病後児保育施設等の利用を希望する人の利用したい日数については、「10日～19日」が20.0%
 最も高く、次いで「4日～5日」が12.0%となっています。



(17) 子育て経験者に有料で子どもを預ける意向

問 17 あなたは、保育所ではなく、子育てを経験した方に、有料でお子さんを預けたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てを経験した方に有料で子どもを預けたいと思うかについては、「保育士か幼稚園教諭の資格のある人に、預けたい」と「公共施設内で預かってもらえるのなら、預けたい」が 34.0%と同率で最も高く、ついで「保育士か幼稚園教諭の資格がなくても、預かる人に会ってみて信頼できそうなら、預けたい」が 27.7%、「預けたいとは思わない」が 25.5%、「その人の家で預かってもらうのなら、家が衛生的・安全であれば、預けたい」が 23.4%となっています。



●その他

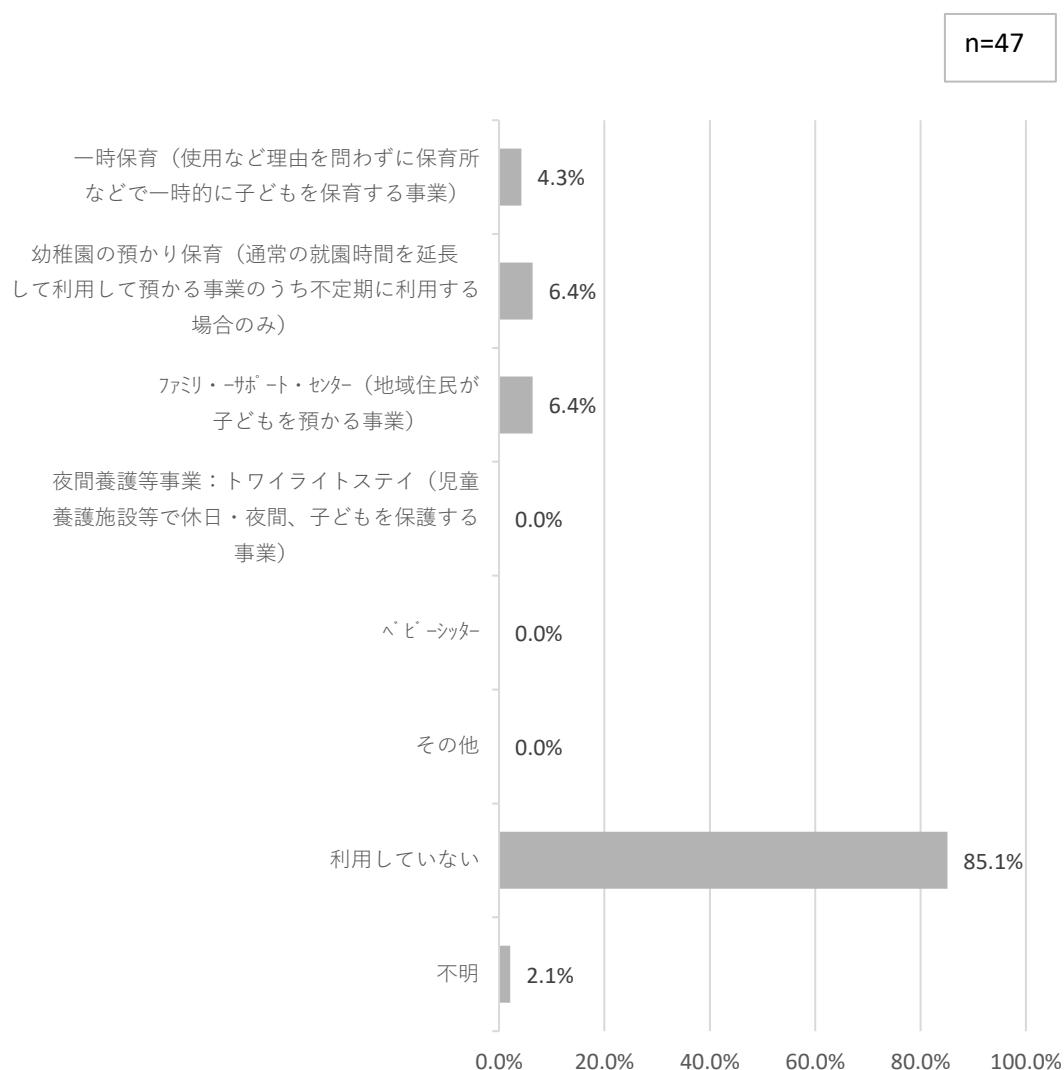
なんらかの支援があれば預けたい

7. 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時保育等の利用について

(18) 不定期に利用している事業の有無

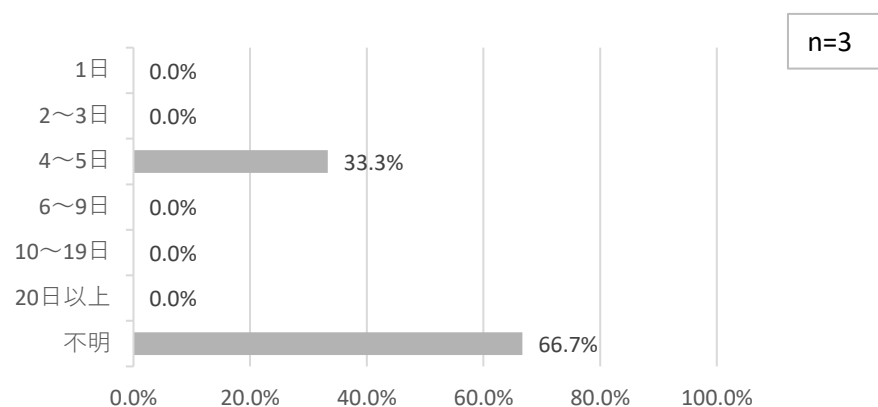
問 18 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。1年間の利用日数（おおよそ）も□内にご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字。）

保護者の私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が85.1%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）」「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が6.4%と同率となっています。

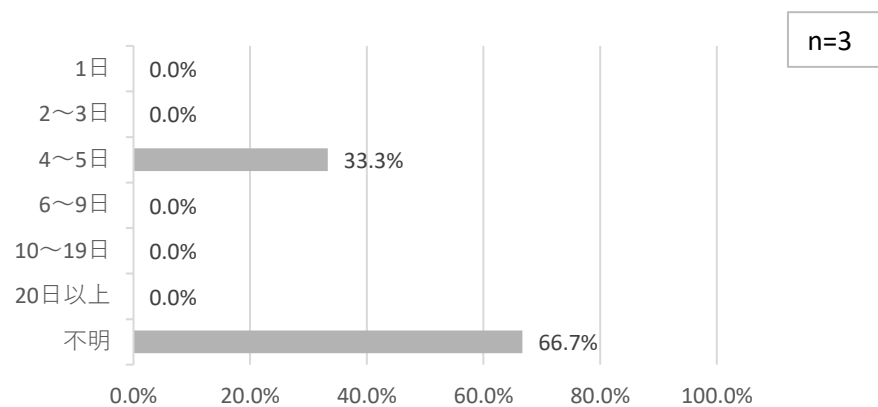


一時保育の日数については、該当者2名のうち有効な回答がありませんでした。

幼稚園の預かり保育の日数については、該当者3名のうち、1名が「4日～5日」と回答しています。



ファミリー・サポート・センターの日数については、該当者3名のうち、1名が「4日～5日」と回答しています。



夜間養護等事業：トワイライトステイの日数については、該当者がいませんでした。

ベビーシッターの日数については、該当者がいませんでした。

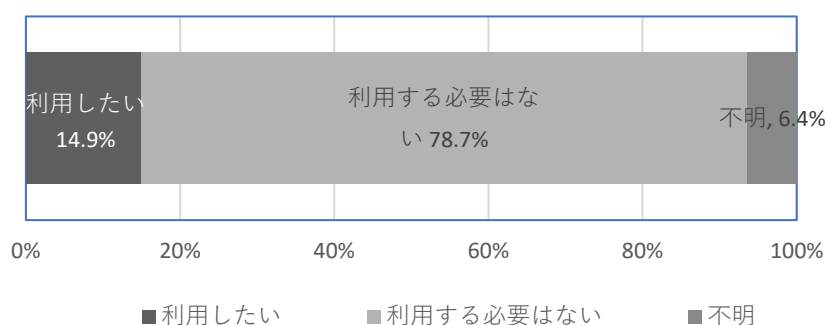
その他の日数については、該当者がいませんでした。

(19) 宿泊を伴う一時保育等の事業の利用意向

問 19 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい「宿泊を伴う一時保育等」の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。（番号と記号のあてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字。）

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、「宿泊を伴う一時保育等」の事業の利用意向については、「利用したい」が 14.9%、「利用する必要はない」が 78.7%となっています。

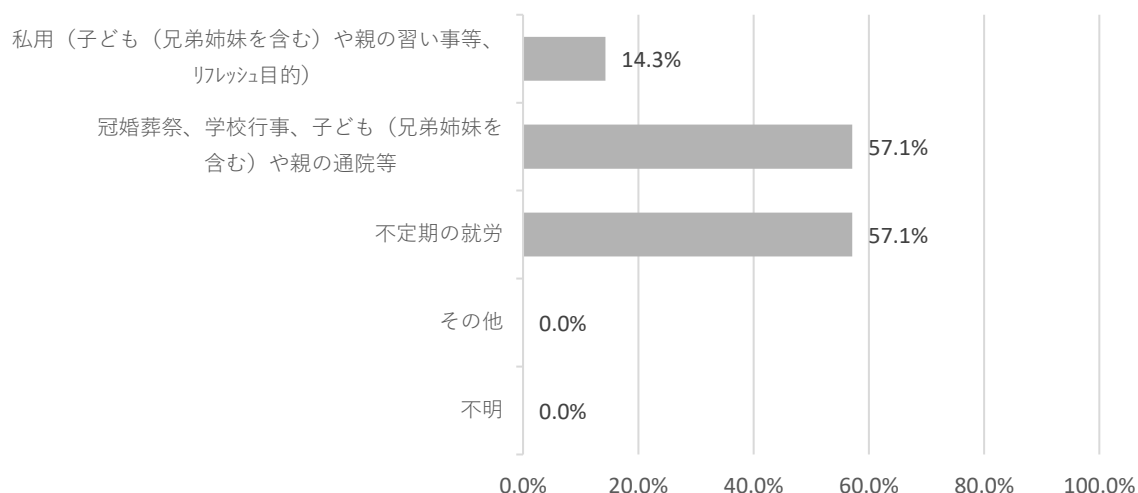
n=47



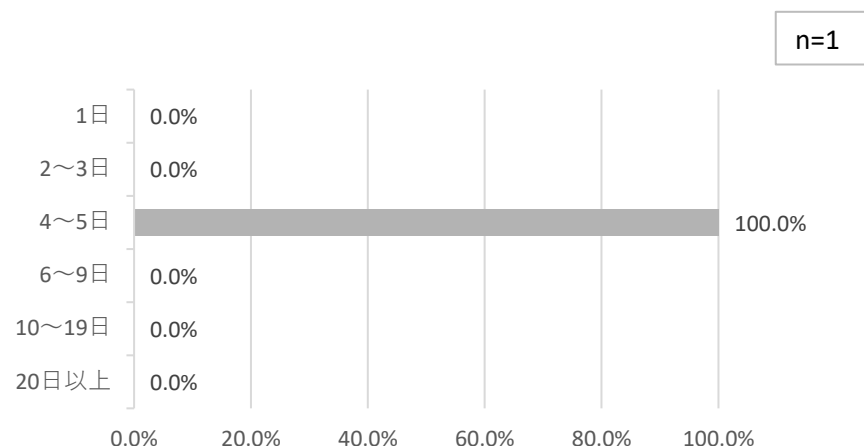
【利用したい内容】

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で「利用したい」と思う「宿泊を伴う一時保育等」の事業については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」と「不定期の就労」が 57.1%と同率で最も高く、次いで「私用（子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」が 14.3%となっています。

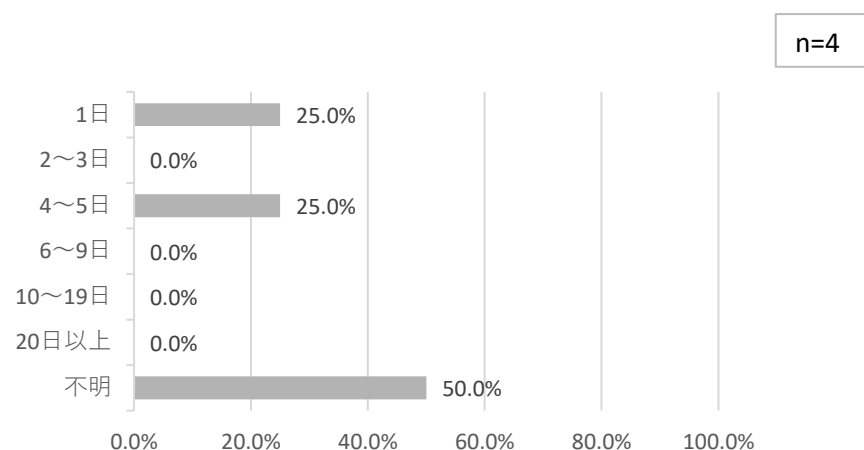
n=7



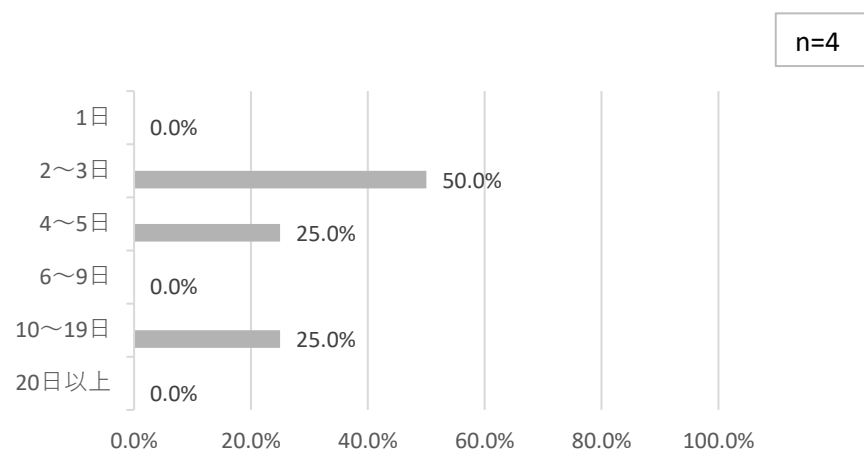
私用の日数については、該当者 1 名のうち、1 名が「4～5 日」と回答しています。



冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等の日数については、該当者 4 名のうち、1 名が「2 日～3 日」、1 名が「4～5 日」と回答し、2 名が日数の回答がありませんでした。



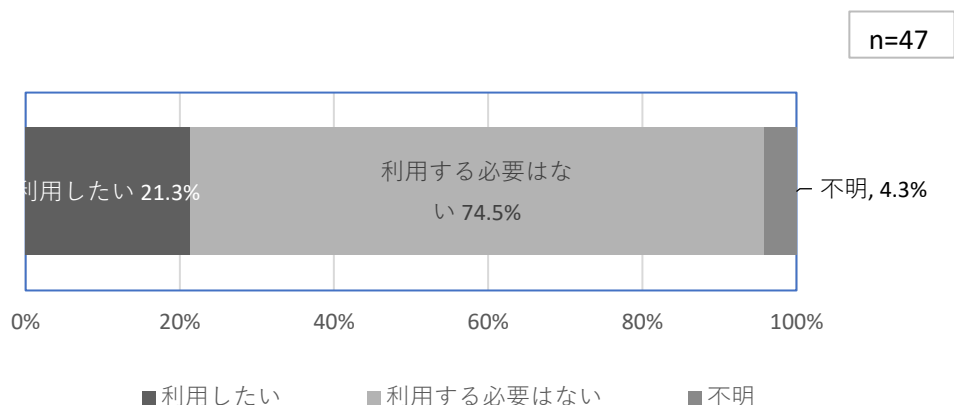
不定期の就労の日数については、該当者 4 名のうち、2 名が「2 日～3 日」、1 名が「4～5 日」「10～19 日」と回答しています。



(20) 泊りがけで家族以外にみてもらったこと

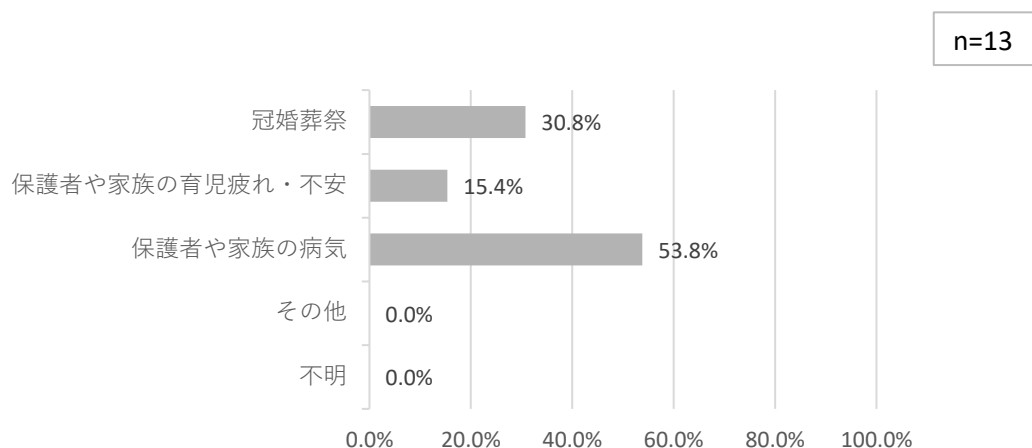
問 20 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、お子さんを泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。「短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」の利用希望の有無について選択し、必要な泊数をご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字。）

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外に預ける必要があるか。「短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」の利用希望の有無について、「利用したい」が 21.3%、「利用する必要はない」が 74.5%となっています。

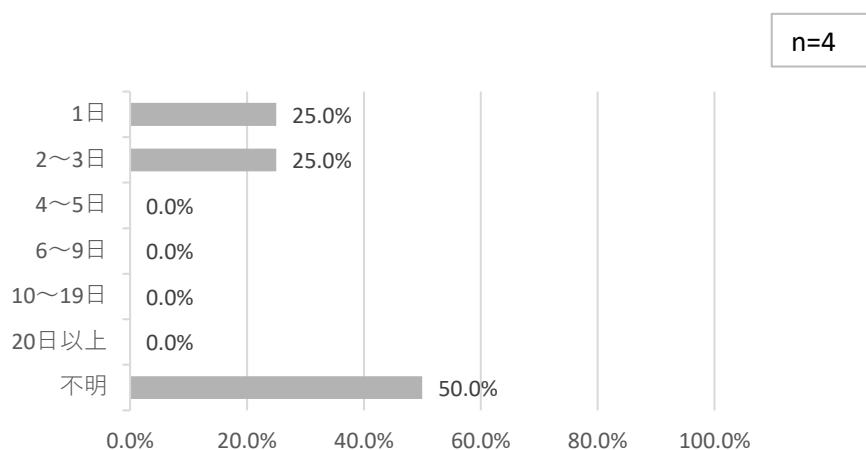


【利用したい内容】

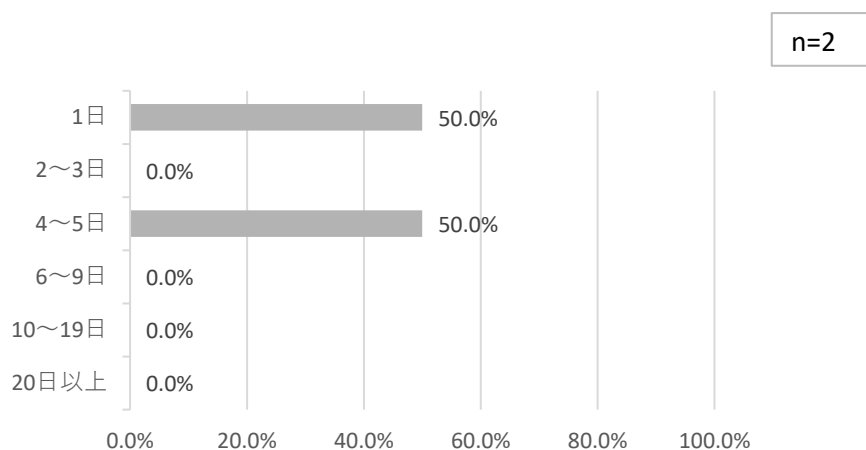
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）の目的で「短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」を「利用したい」と思う理由については、「保護者や家族の病気」が 53.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」が 30.8%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 15.4%となっています。



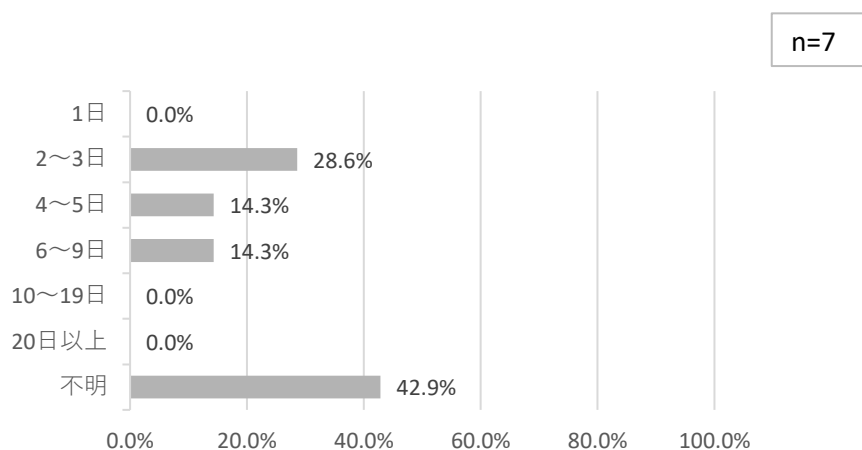
冠婚葬祭の日数については、該当者4名のうち、1名が「1日」、1名が「2～3日」と回答し、2名が日数の回答がありませんでした。



保護者や家族の育児疲れ・不安の日数については、該当者2名のうち、1名が「1日」、1名が「4～5日」と回答しています。



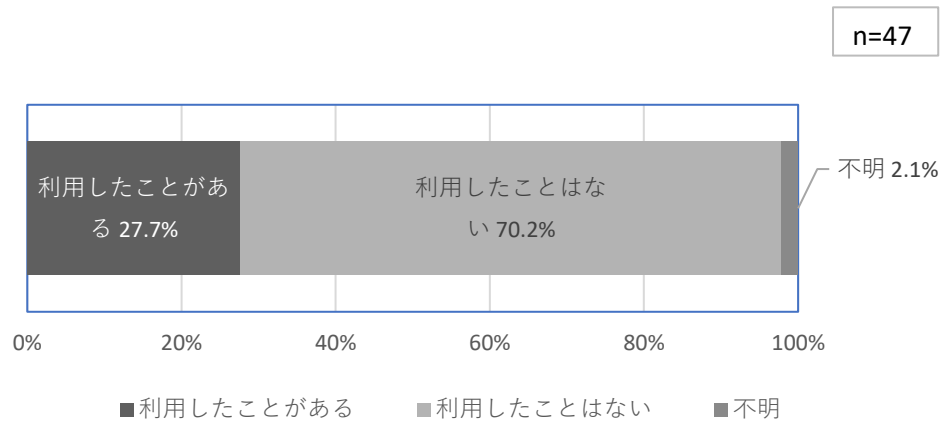
保護者や家族の病気の日数については、該当者7名のうち、2名が「2～3日」、1名が「4～5日」「6～9日」と回答し、3名が日数の回答はありませんでした。



(21) 只見町の一時保育事業を利用したことの有無

問 21 只見町の一時保育事業を利用したことがありますか。(○は1つ)

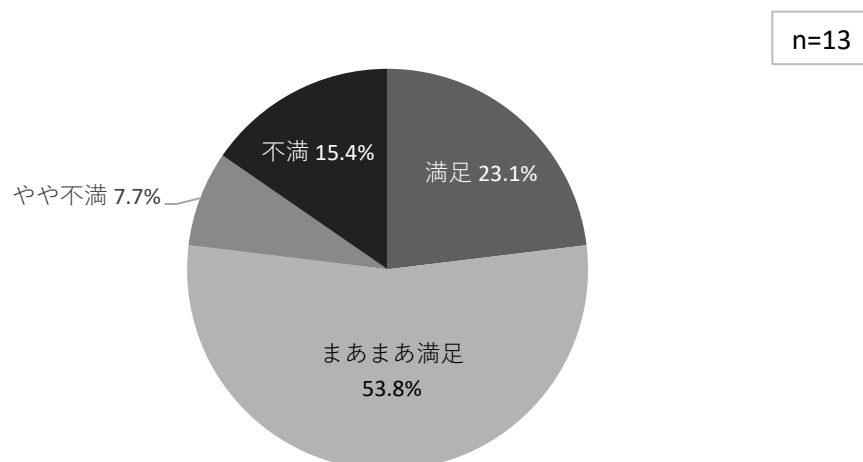
只見町の一時保育事業を利用したことがあるかについては、「利用したことがある」が27.7%、「利用したことはない」が70.2%となっています。



(21-1) 利用した際の満足度

問 21-1 問 21 で「1. 利用したことがある」を選択した方
利用された満足度はいかがですか。(○は1つ)

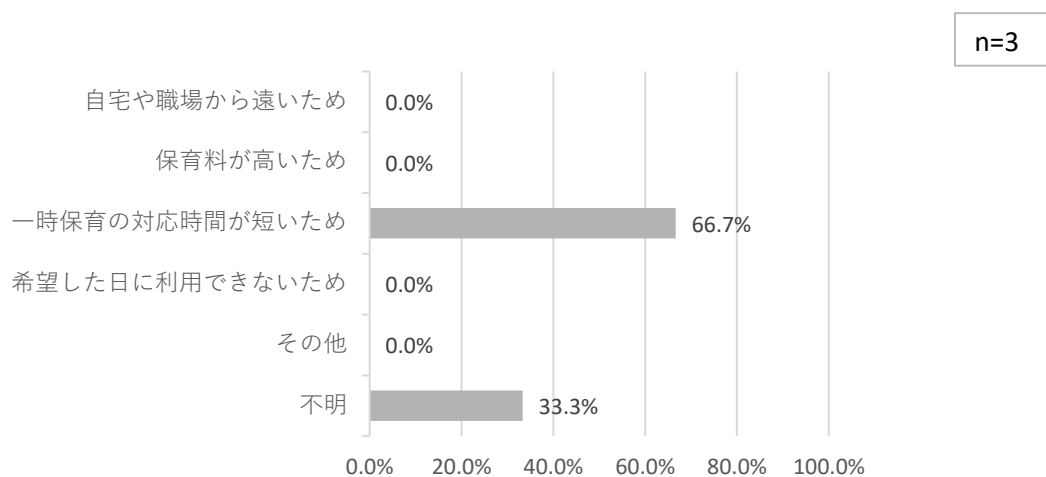
只見町の一時保育事業を利用したことがある人の満足度については、「まあまあ満足」が53.8%と最も高く、次いで「満足」が23.1%、「不満」が15.4%、「やや不満」が7.7%となっています。



(21-2) 満足度が低い理由

問 21-2 問 21-1 で「3. やや不満」「4. 不満」を選択した方
満足度が低い理由はなんですか。(○は1つ)

只見町の一時保育事業を利用したときの満足度が低い理由については、該当者3名のうち2名が「一時保育の対応時間がみじかいため」と回答しています。

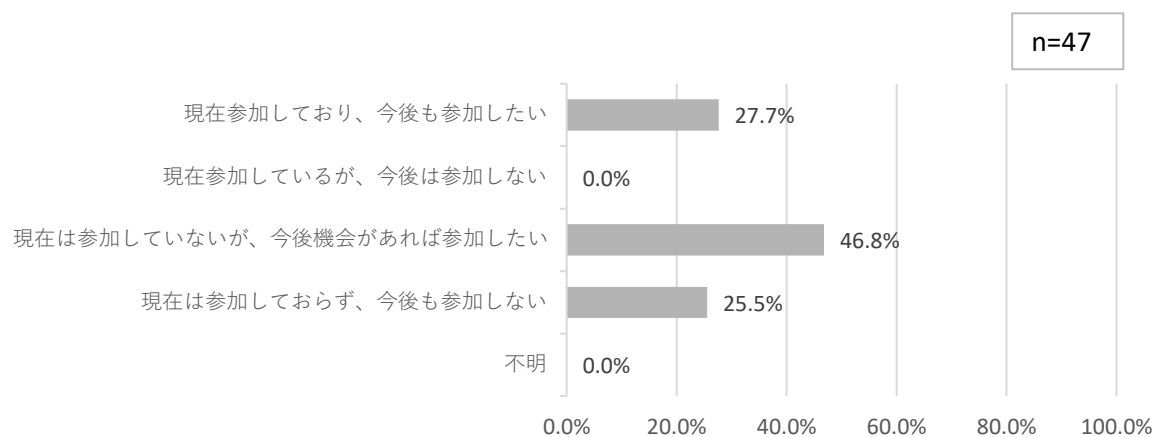


8. 子育て全般について

(22) 子育てグループや自主的なグループ活動への参加の有無

問 22 あなたは、子育てグループや自主的なグループ活動に参加していますか。(○は1つ)

子育てグループや自主的なグループ活動への参加の有無については、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 46.8%と最も高く、次いで「現在参加しており、今後も参加したい」が 27.7%、「現在は参加しておらず、今後も参加しない」が 25.5%となっています。

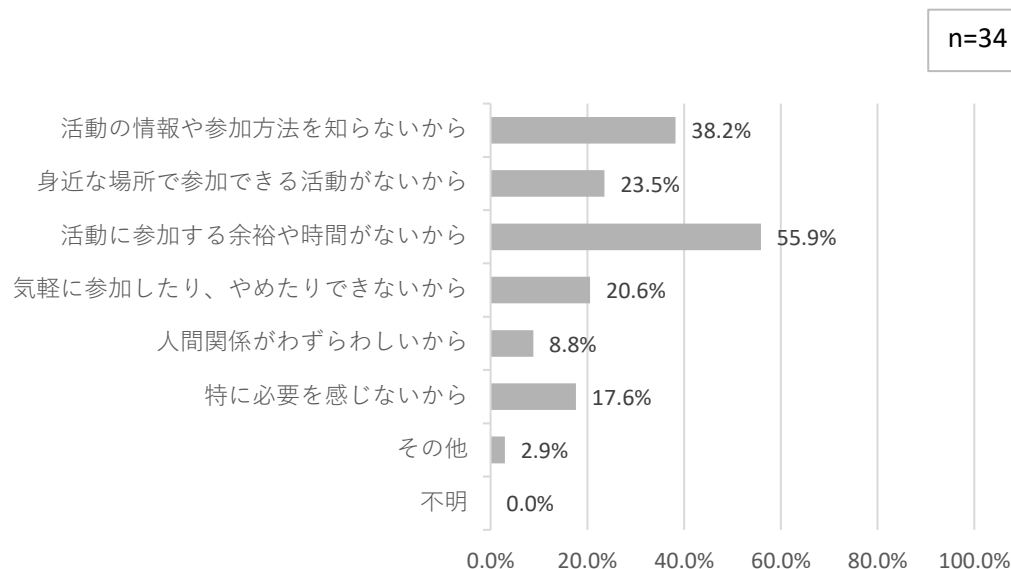


(22-1) 現在参加していない理由、今後参加しない理由

問 22-1 問 22 で「2～4」を選択した方

現在参加していない理由、今後参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てグループや自主的なグループ活動に、現在参加していない理由、今後参加しない理由については、「活動に参加する余裕や時間がないから」が 55.9%と最も高く、次いで「活動の情報や参加方法を知らないから」が 38.2%、「身近な場所で参加できる活動がないから」が 23.5%となっています。



●その他

町外から只見に来ていて、すでにできているグループの輪に入りづらいから

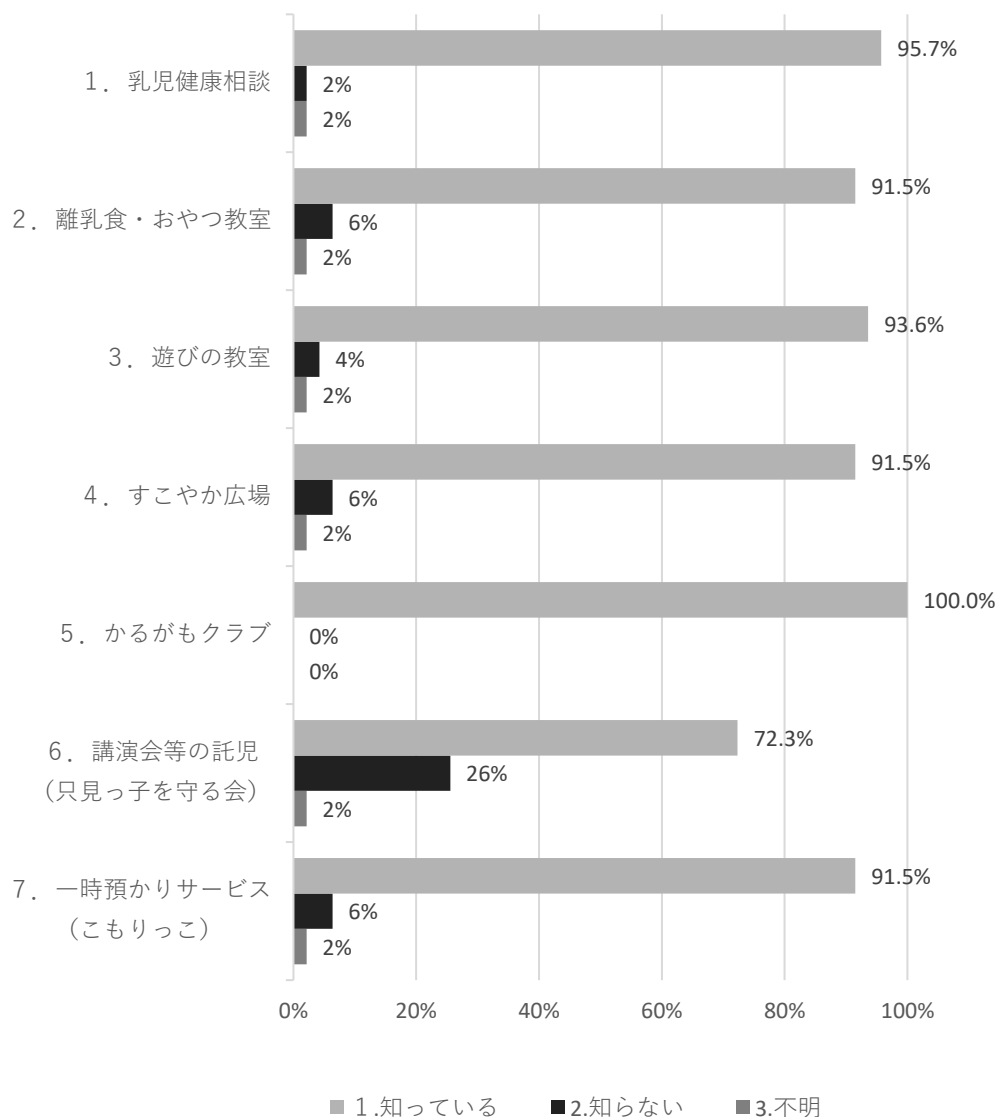
(23) 町で行っている子育て支援事業

問 23 あなたは、町で行っている子育て支援事業について知っていますか。また、参加したいと思いますか。(それぞれ1つに○)

(1) 認知度

町で行っている子育て支援事業の認知度については、すべての項目において「知っている」が「知らない」を大きく上回っています。

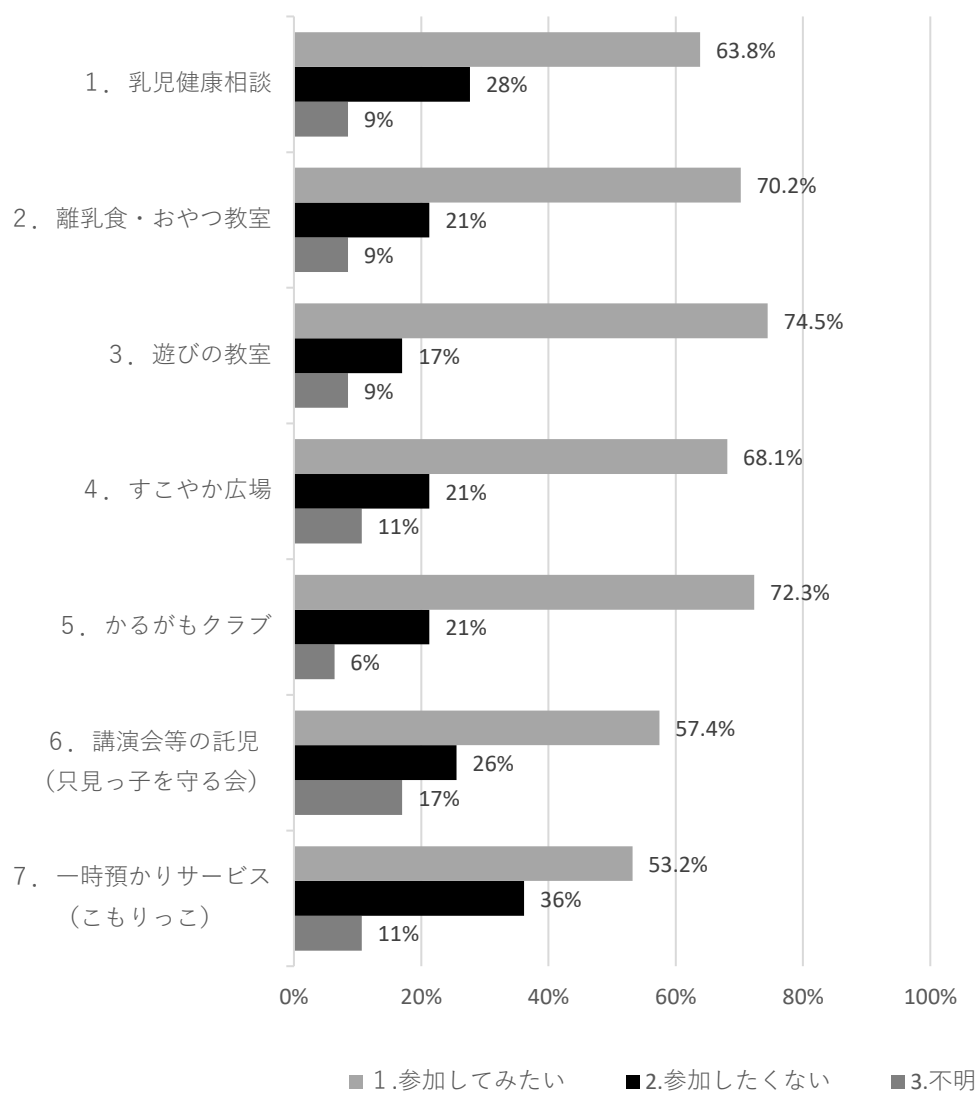
n=47



(2) 今後の参加意向

町で行っている子育て支援事業に参加したいと思うかについては、すべてにおいて「参加してみたい」が「参加したくない」を上回っており、半数以上となっています。

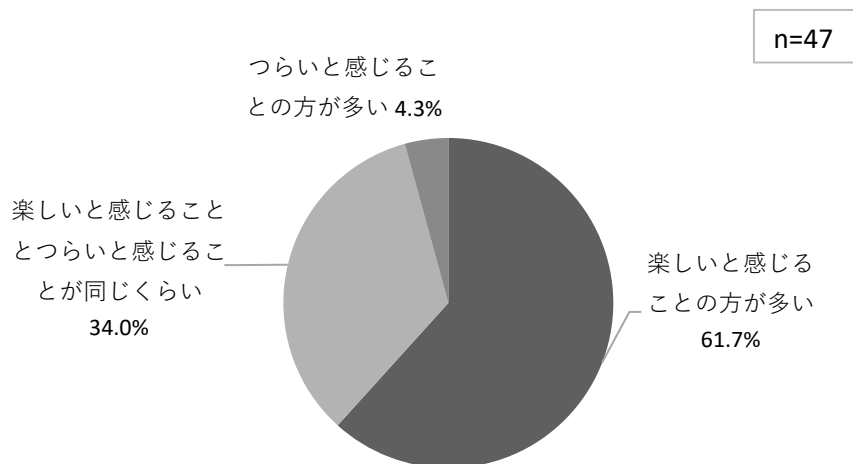
n=47



(24) 子育てについて感じていること

問 24 あなたは、子育てについてどのように感じますか。(○は1つ)

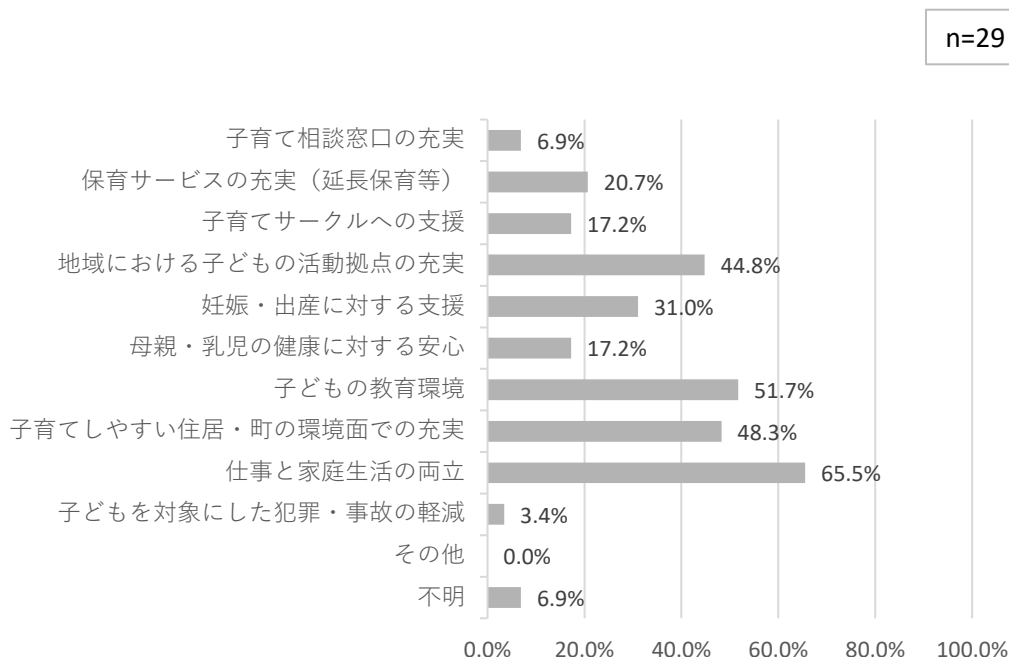
子育てについてどのように感じるかについては、「楽しいと感じることの方が多い」が61.7%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が34.0%、「辛いと感じることの方が多い」が4.3%となっています。



(24-1) 子育てについて有効と感じる支援・対策

問 24-1 問 24 で「1. 楽しいと感じることの方が多い」を選択した方
子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。(○は3つまで)

子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じているかについては、「仕事と家庭生活の両立」が65.5%と最も高く、次いで「子どもの教育環境」が51.7%、「子育てしやすい住居・町の環境面での充実」48.3%、「地域における子どもの活動拠点の充実」44.8%となっています。

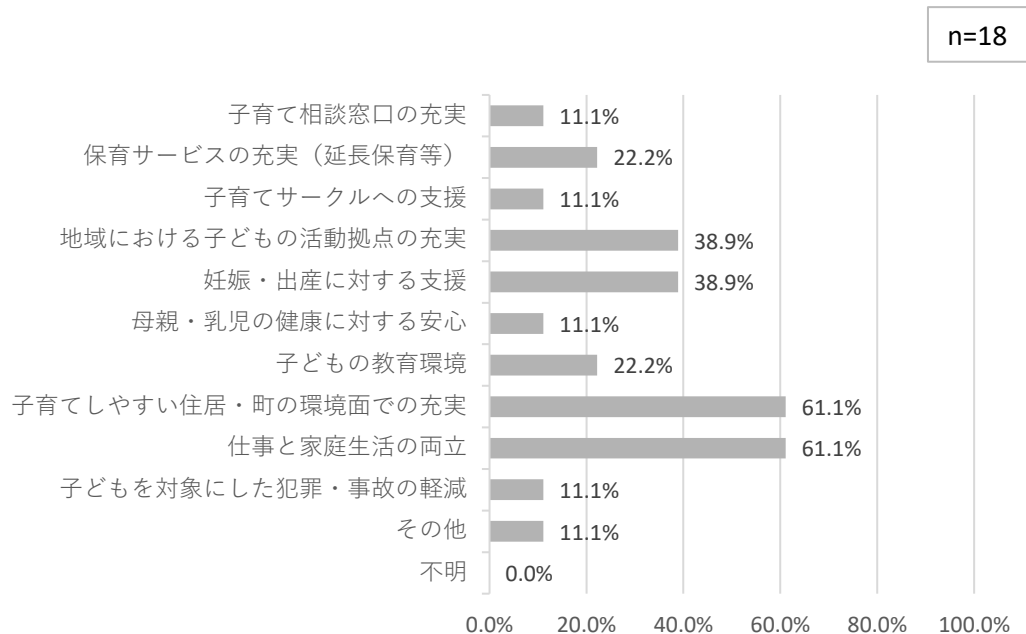


(24-2) 子育ての辛さを解消するために必要なこと

問 24-2 問 24 で「2」「3」を選択した方

自分にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは何ですか。(〇は3つまで)

子育てに辛さを感じている方にとっての、子育ての辛さを解消するために必要なことについては、「子育てしやすい住居・町の環境面での充実」「仕事と家庭生活の両立」が 61.1%と同率で最も高く、次いで「地域における子どもの活動拠点の充実」「妊娠・出産に対する支援」が同率の 38.9%、「保育サービスの充実（延長保育等）」と「子どもの教育環境」が同率の 22.2%となっています。



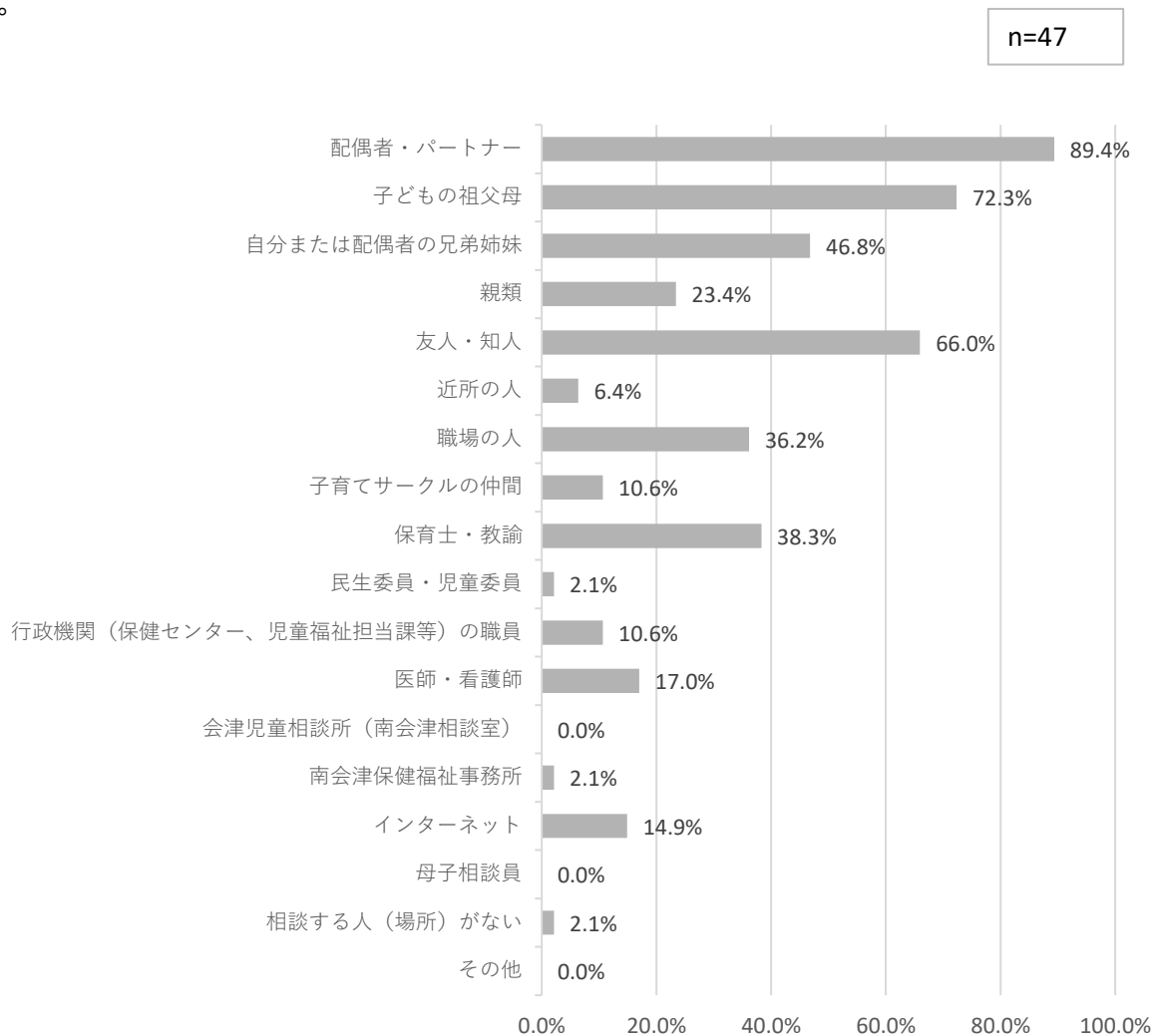
●その他

祖父母世代の倫理観やモラル／公園の遊具を充実させてほしい

(25) 子育てに関して、気軽に相談できる人や機関

問 25 あなたは、子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人や機関がありますか。（あてはまるものすべてに○）

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人や機関については、「配偶者・パートナー」が 89.4%と最も高く、次いで、「子どもの祖父母」が 72.3%、「友人・知人」が 66.0%となっています。

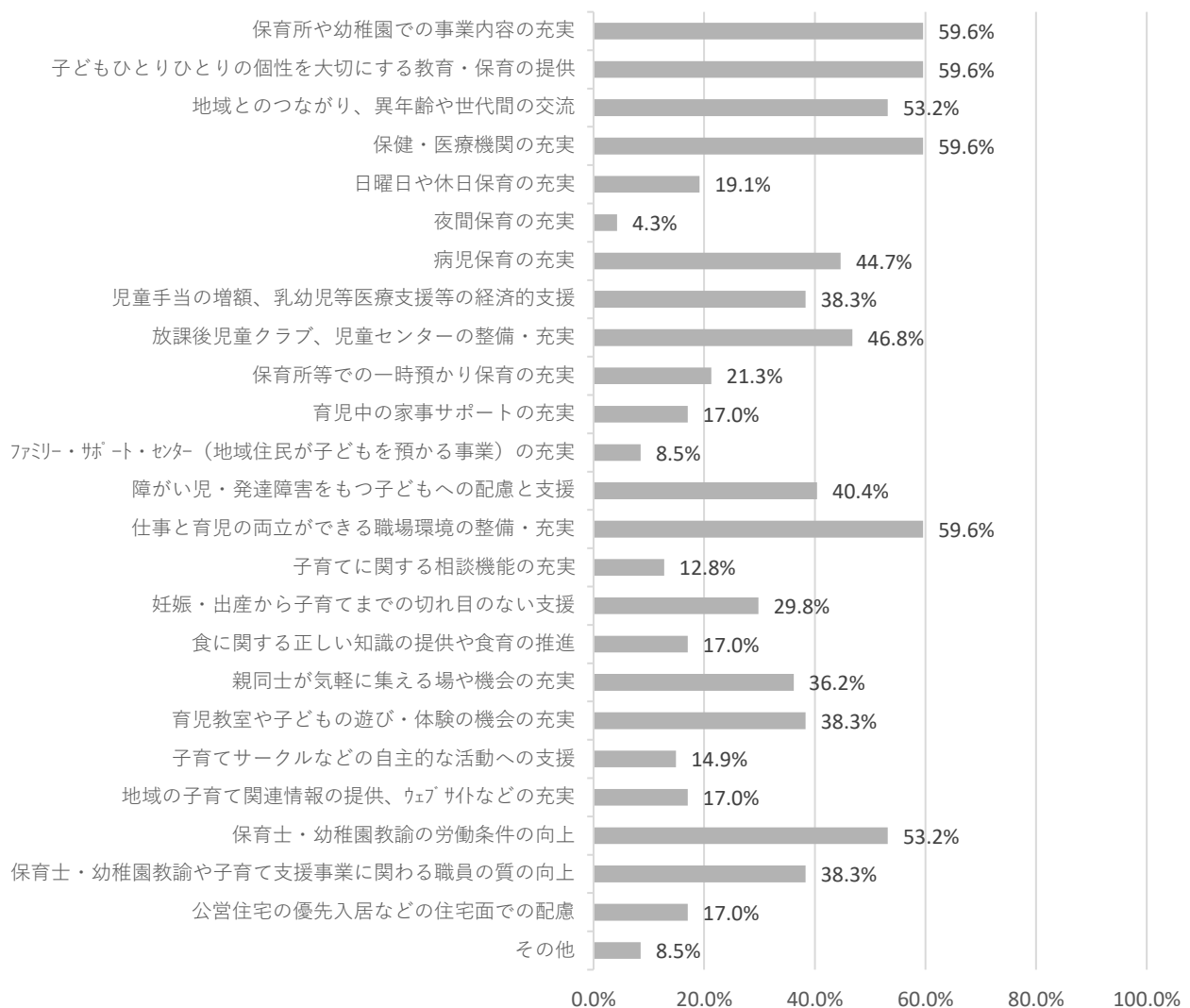


(26) 子育てをする環境整備

問 26 子育てをする環境整備のために重要だと思うものは何ですか。下記の中から○を付けてください

子育てをする環境整備のために重要だと思うことは、「保育所や幼稚園での事業内容の充実」と「子ども一人ひとりの個性を大切にする教育・保育の充実」「保健・医療機関の充実」と「仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備・充実」が同率で 59.6%となっています。

n=47



●その他

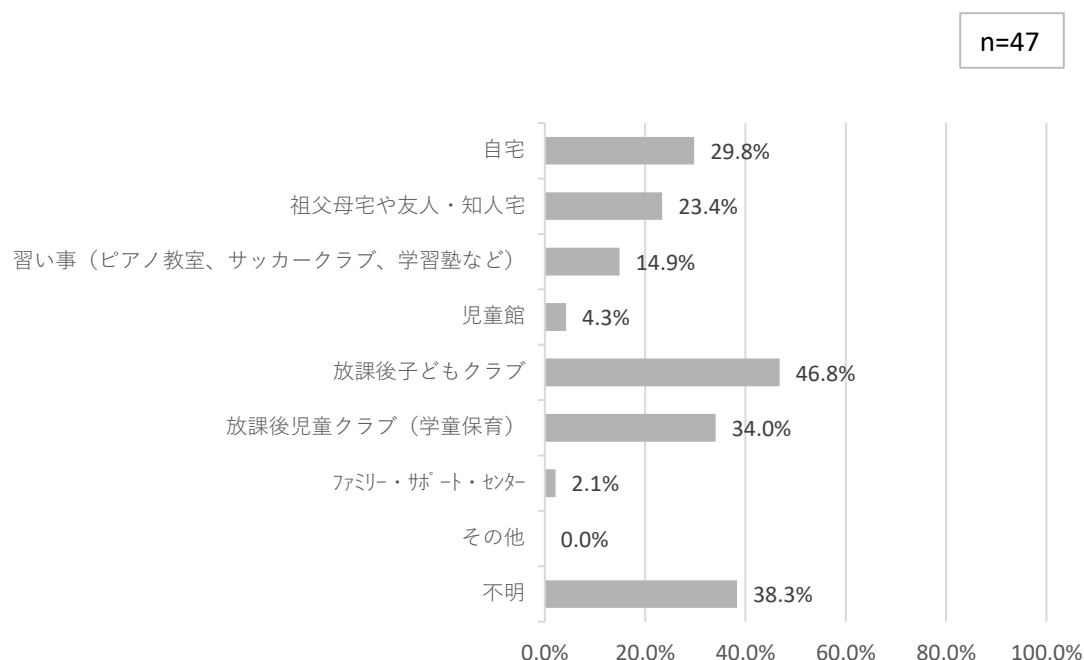
父親も子育てするのが当たり前という意識改革（全町民）
子育て世代、子ども一人に対しての町からの金銭的支援の充実

9. 5歳以上の子どもの小学校就学後について

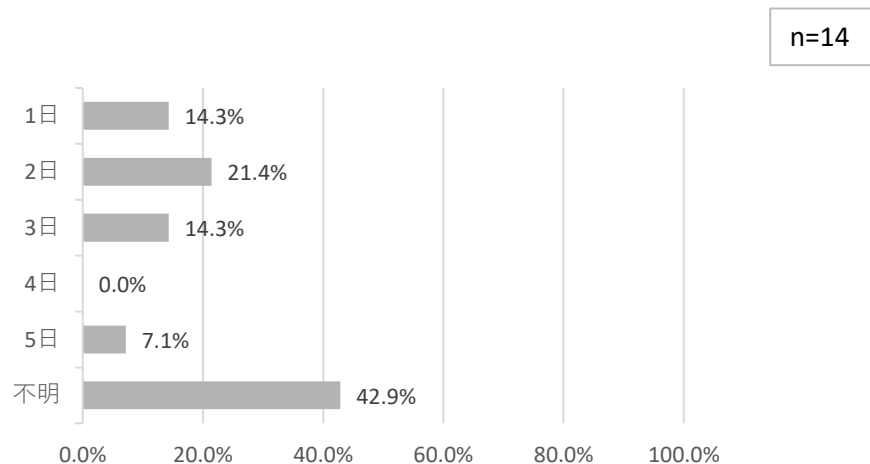
(27) 小学校低学年に放課後の時間過ごさせたい場所

問 27 お子さんが小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子どもクラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。必ず、時間は２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

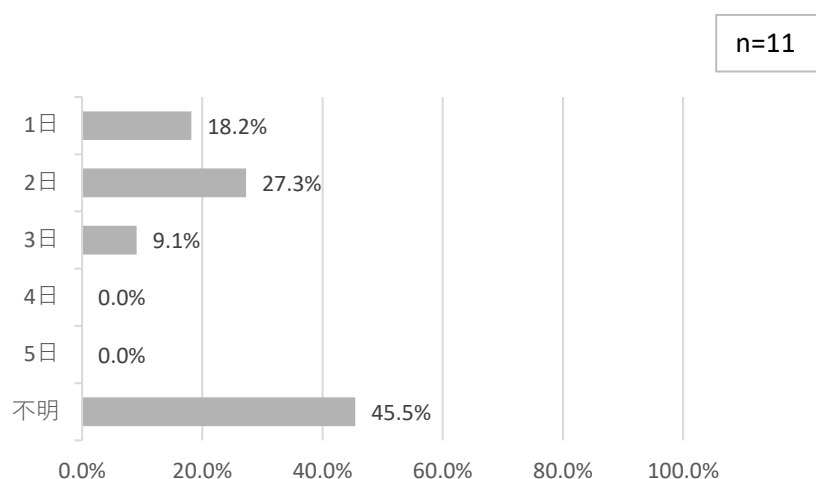
低学年の子どもの放課後に過ごさせたい場所については、「放課後子どもクラブ」が46.8%と最も高く、次いで、「放課後児童クラブ（学童保育）」が34.0%、「自宅」が29.8%となっています。



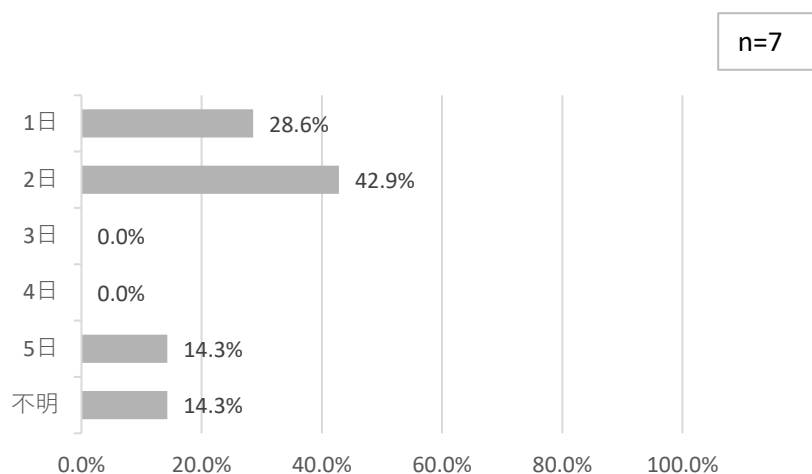
自宅の日数については、「２日」が21.4%と最も高く、次いで「１日」と「３日」が14.3%、「５日」が7.1%となっています。



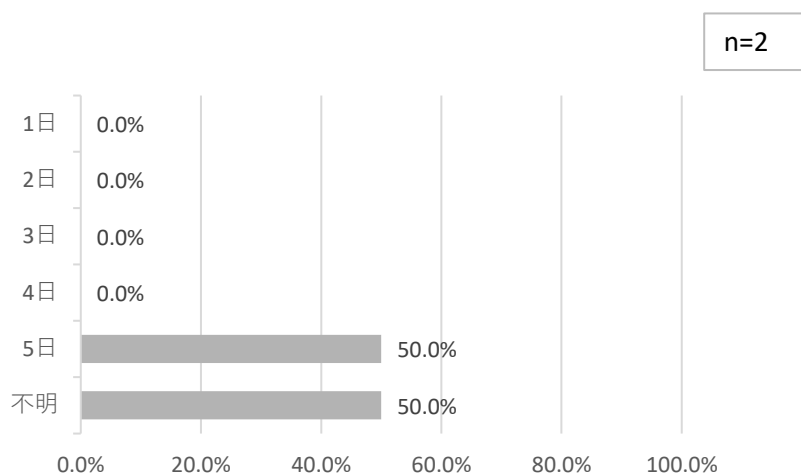
祖父母宅や友人・知人宅の日数については、「2日」が27.3%と最も高く、次いで「1日」が18.2%、「3日」が9.1%となっています。



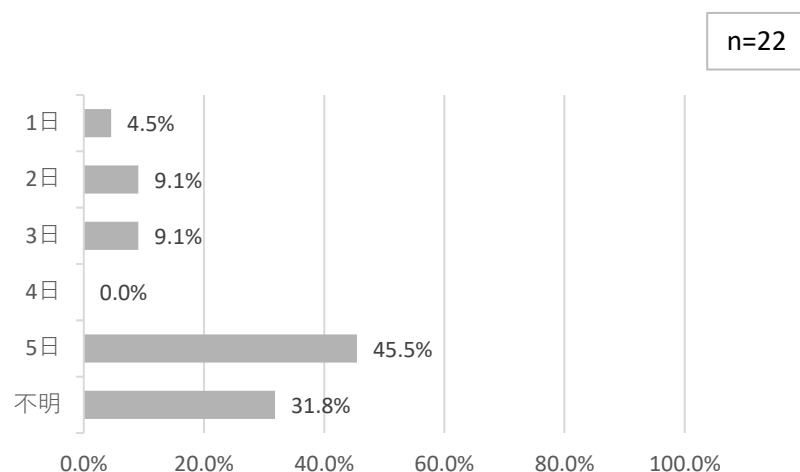
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数については、「2日」が42.9%と最も高く、次いで「1日」が28.6%、「5日」が14.3%となっています。



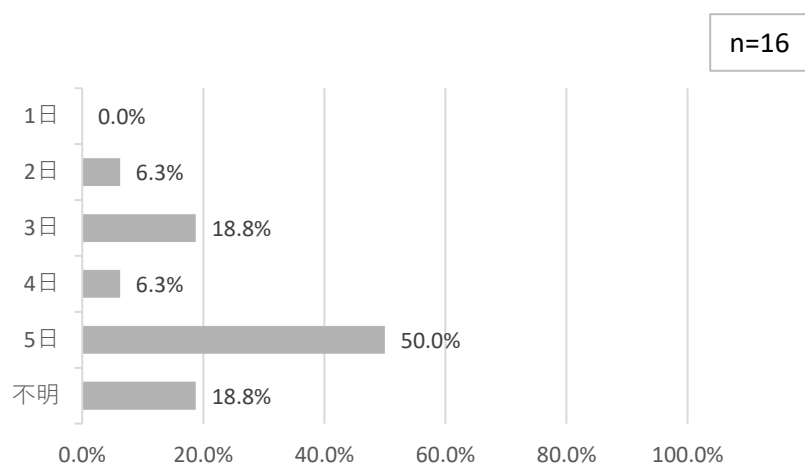
児童館の日数については、該当者2名のうち1名が「5日」と回答しています。



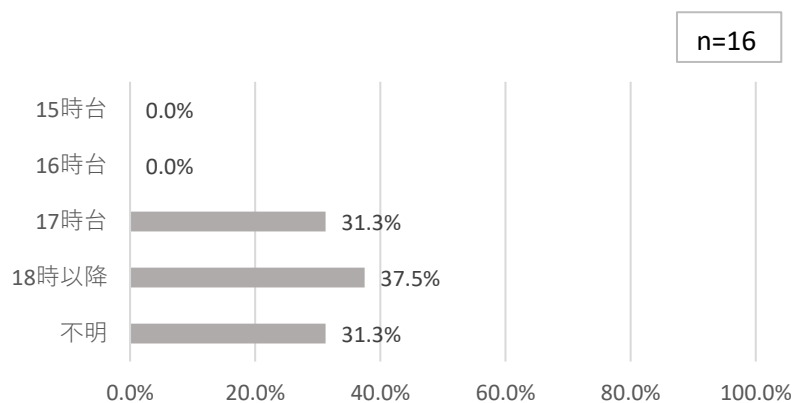
放課後子どもクラブの日数については、「5日」が45.5%と最も高く、次いで「2日」、「3日」が同率の9.1%、「1日」が4.5%となっています。



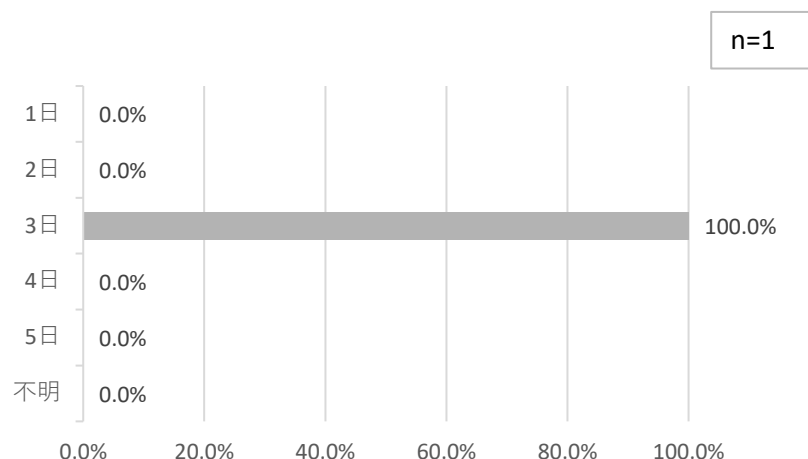
放課後児童クラブ（学童保育）の日数は、「5日」が50.0%と最も高く、次いで「3日」が同率の18.8%、「2日」と「4日」が6.3%となっています。



また、希望する利用終了時刻は、6名が「18時以降」と回答し、5名が「17時台」と回答しています。



ファミリー・サポート・センターの日数は、該当者1名が「3日」と回答しています。

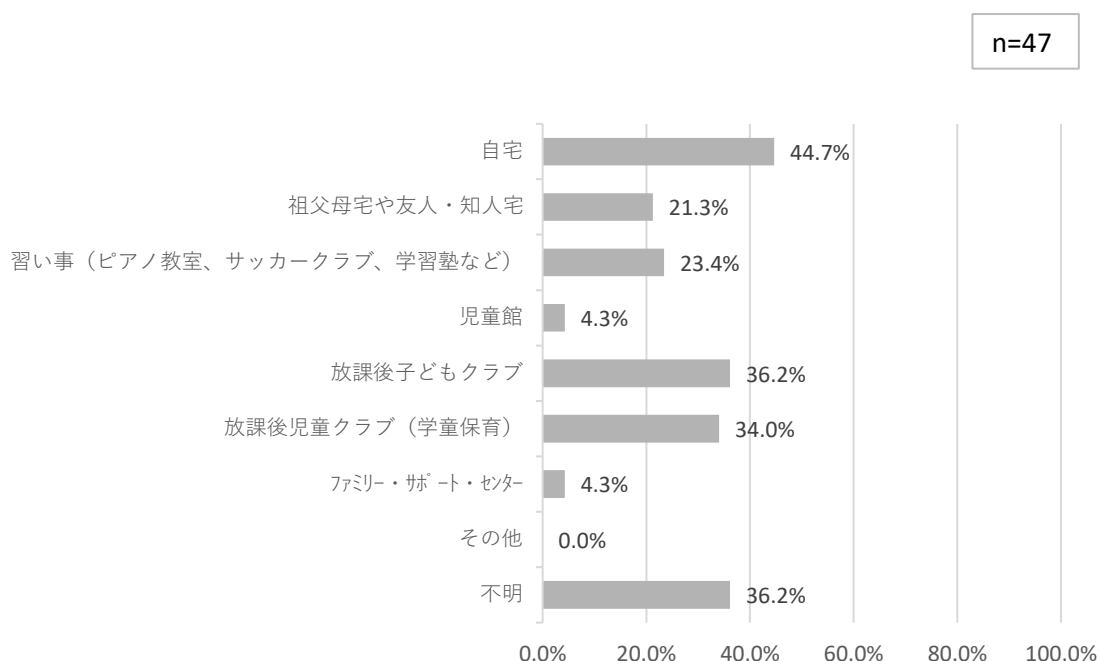


その他の日数については該当者がいませんでした。

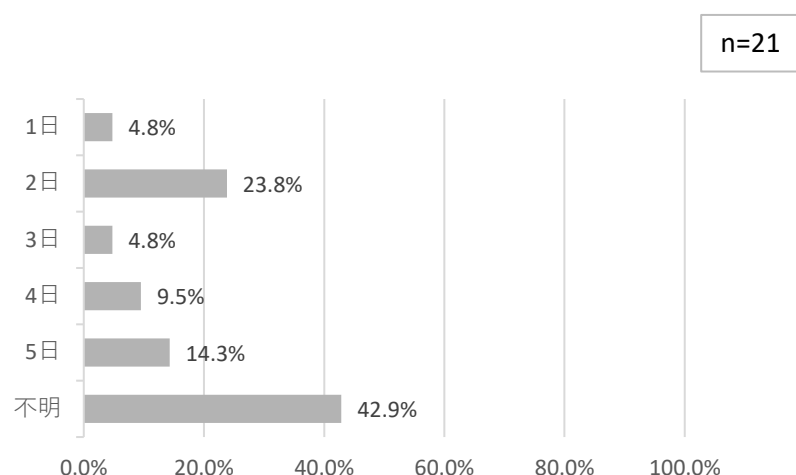
(27-1) 小学校高学年に放課後の時間過ごさせたい場所

問 27-1 お子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子どもクラブ」の場合には、利用を希望する時間もお記入ください。必ず、時間は24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

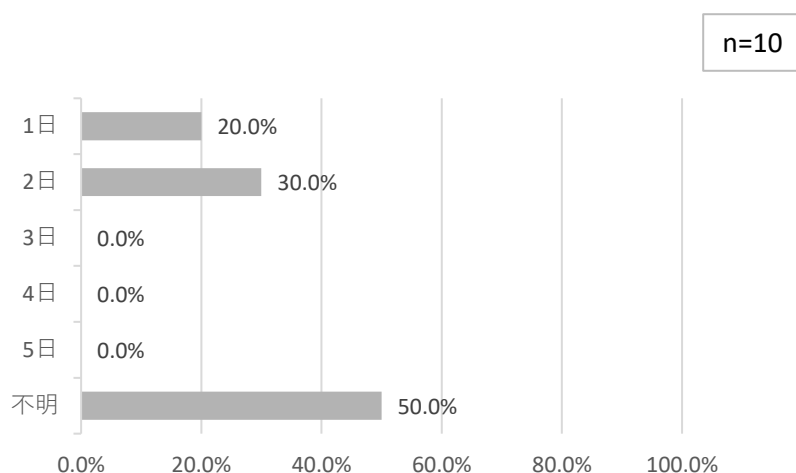
高学年の子どもの放課後に過ごさせたい場所については、「自宅」が44.7%と最も高く、次いで、「放課後子どもクラブ」が36.2%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が34.0%となっています。



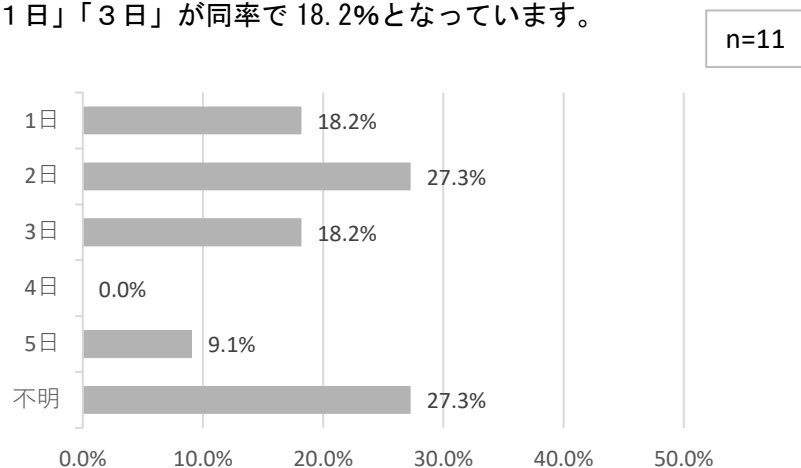
自宅の日数については、「2日」が23.8%と最も高く、次いで「5日」が14.3%、「4日」が9.5%となっています。



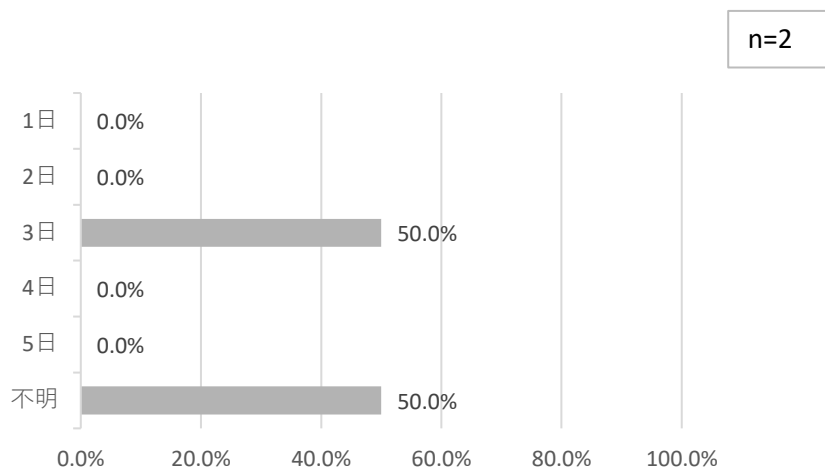
祖父母宅や友人・知人宅の日数については、「2日」が30.0%と最も高く、次いで「1日」が20.0%、となっています。



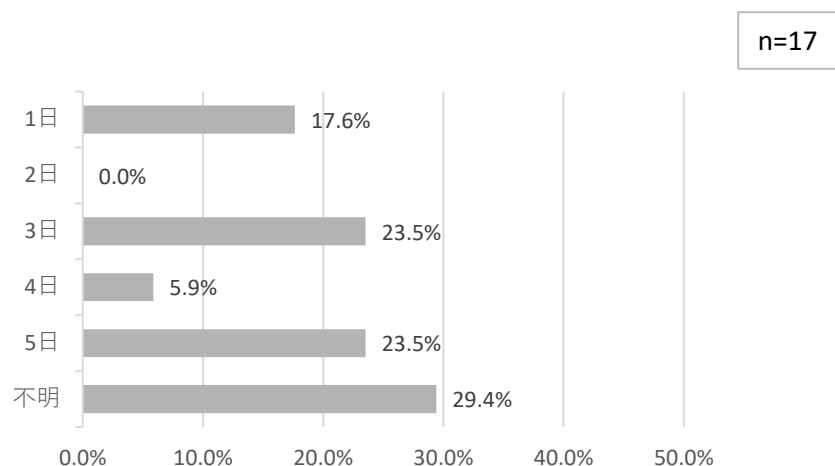
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数については、「2日」が27.3%と最も高く、次いで「1日」「3日」が同率で18.2%となっています。



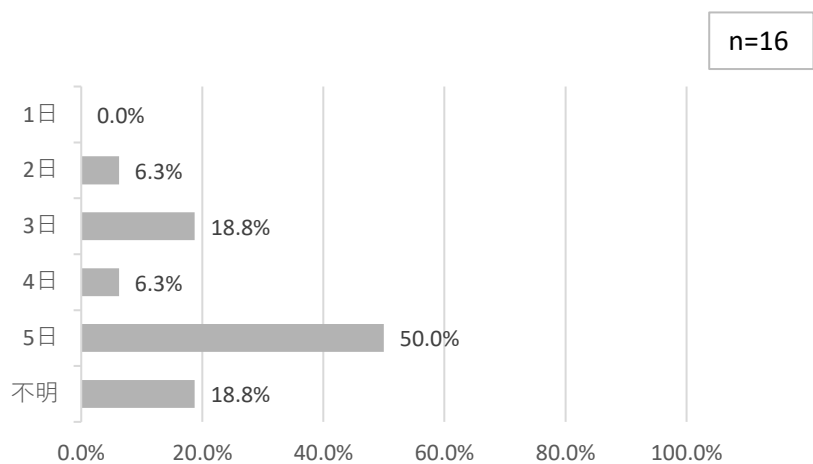
児童館の日数については、該当者2名うち1名が「3日」と回答しています。



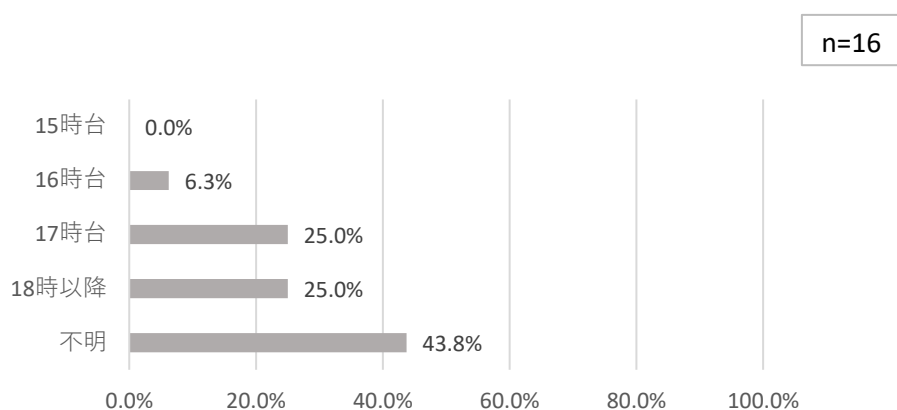
放課後子どもクラブの日数については、「3日」「5日」が23.5%と同率で最も高く、次いで「1日」が17.6%、「4日」が5.9%となっています。



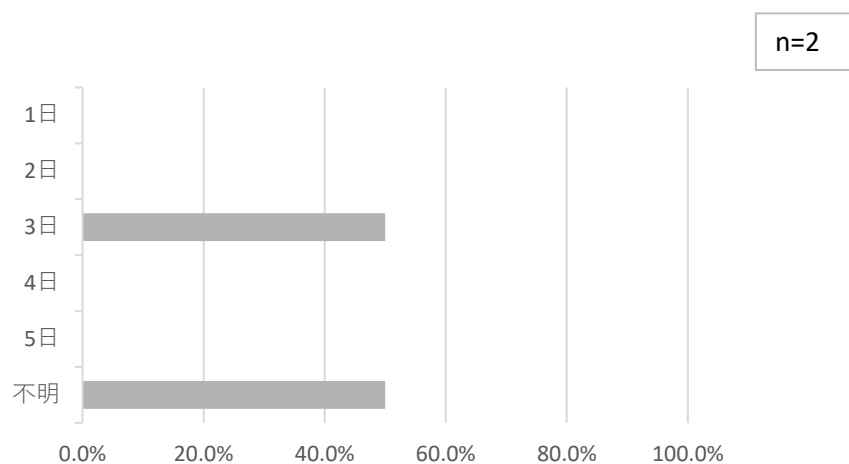
放課後児童クラブ（学童保育）の日数は、「5日」が50.0%と最も高く、次いで「3」が18.8%、「2日」、「4日」が6.3%と同率となっています。



また、希望する利用終了時刻は、4 名が「17 時台」「18 時以降」と回答し、1 名が「16 時台」と回答しています。



ファミリー・サポート・センターの日数は、該当者 2 名のうち 1 名が「3 日」と回答しています。



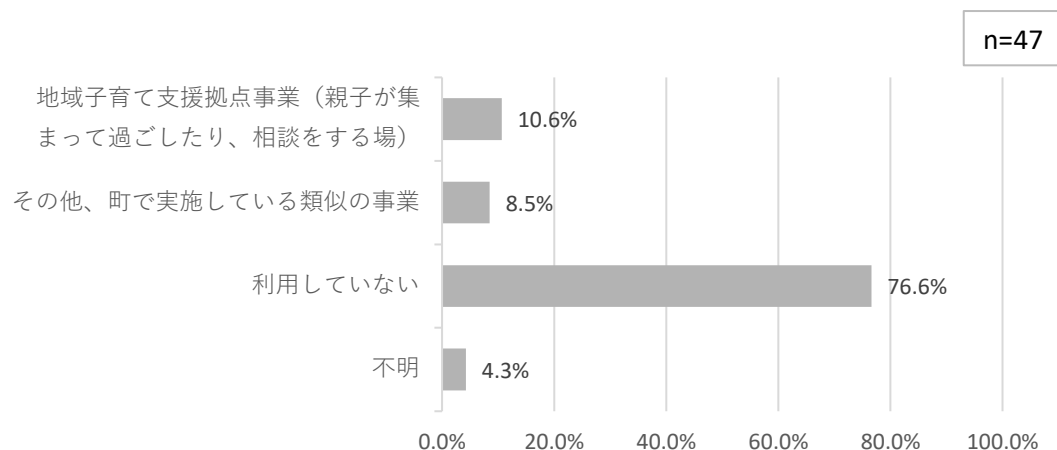
その他の日数については、該当者がいませんでした。

10. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(28) 地域子育て支援拠点事業の利用の有無

問 28 現在、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字。）

地域子育て支援拠点事業の利用状況について、「利用していない」が 76.6%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が 10.6%、「その他、町で実施している類似の事業」が 8.5%となっています。

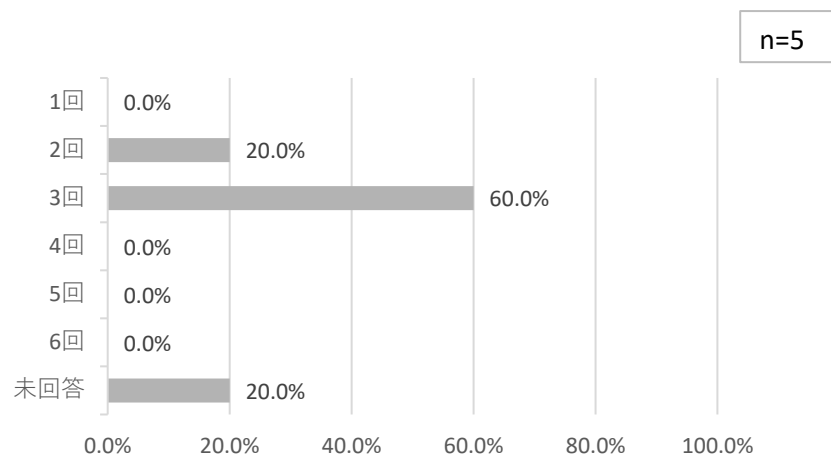


●その他

すくすく教室、すこやか広場

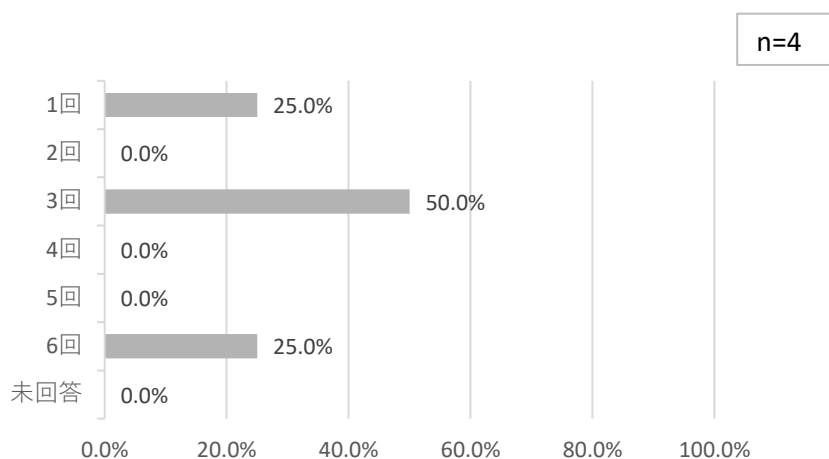
地域子育て支援拠点事業を利用している人の1週あたりの利用回数は、該当者5名のうち有効な回答はありませんでした。

また、1か月あたりの利用回数は、3名が「3回」と回答し、1名が「2回」と回答し、2名は回答ありませんでした。



その他、町で実施している類似の事業を利用している人の1週あたりの利用回数は、該当者4名のうち有効な回答はありませんでした。

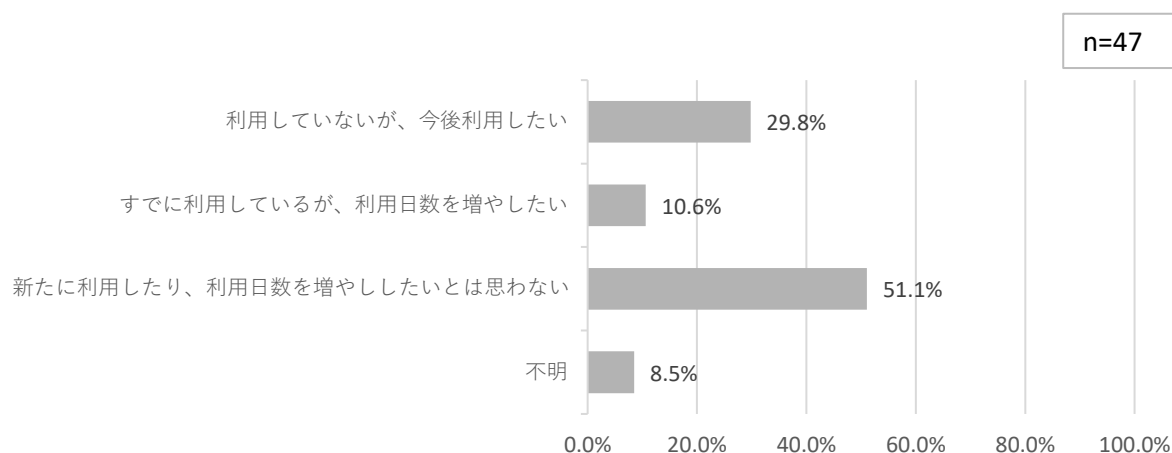
また、1か月あたりの利用回数は、「3回」が50.0%と最も高く、次いで「1回」「6回」が25.0%、となっています。



(29) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向、利用日数の増加意向

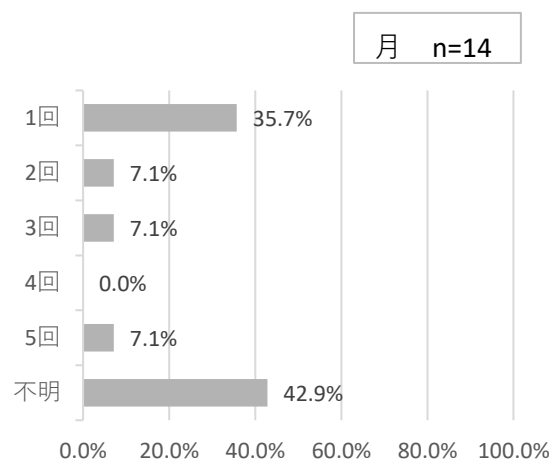
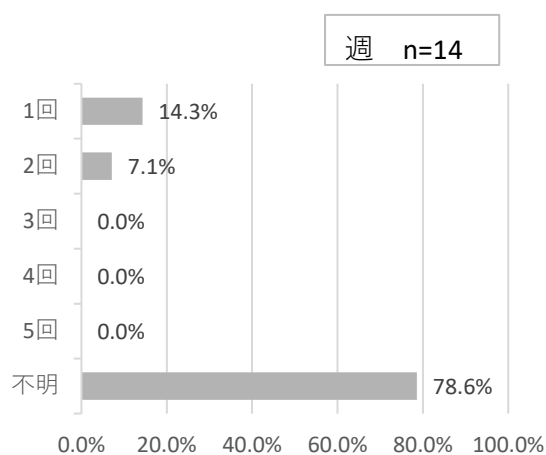
問 29 問 28 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。(あてはまるもの1つに○。また数字は一桁に一字。)

地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思うかは、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が51.1%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が29.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が10.6%となっています。



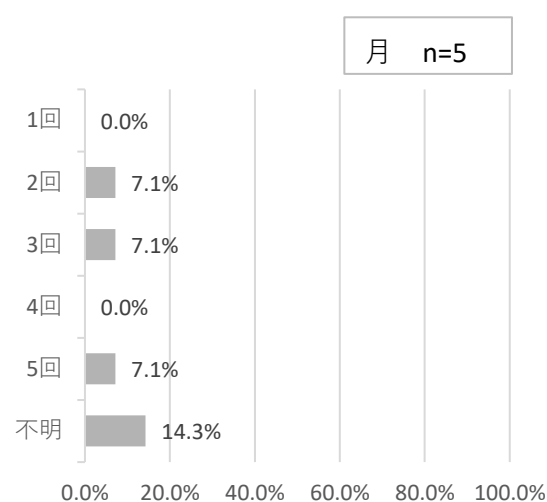
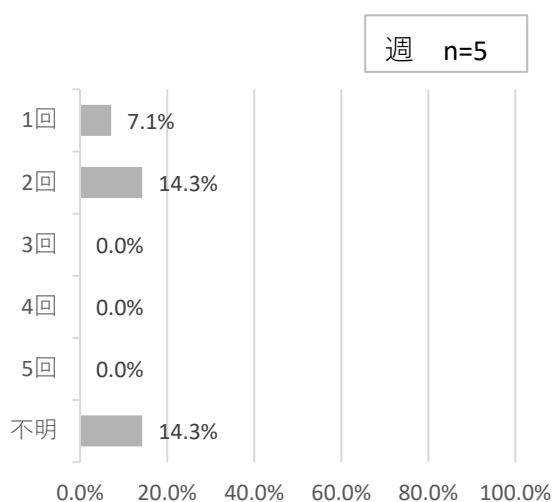
地域子育て支援拠点事業を今後利用したい人の希望する1週あたりの利用回数は、該当者14名のうち、2名が「1回」と回答し、1名が「2回」と回答しています。

また、希望する1か月あたりの利用日数は、5名が「1回」と回答し、「2回」「3回」「5回」とそれぞれ1名が回答しています。



地域子育て支援拠点事業について、今後利用日数を増やしたい人の希望する1週あたりの利用回数は、該当者5名のうち、2名が「2回」と回答し、1名が「1回」と回答しています。

また、希望する1か月あたりの利用回数は、3名がそれぞれ「2回」「3回」「5回」と回答しています。

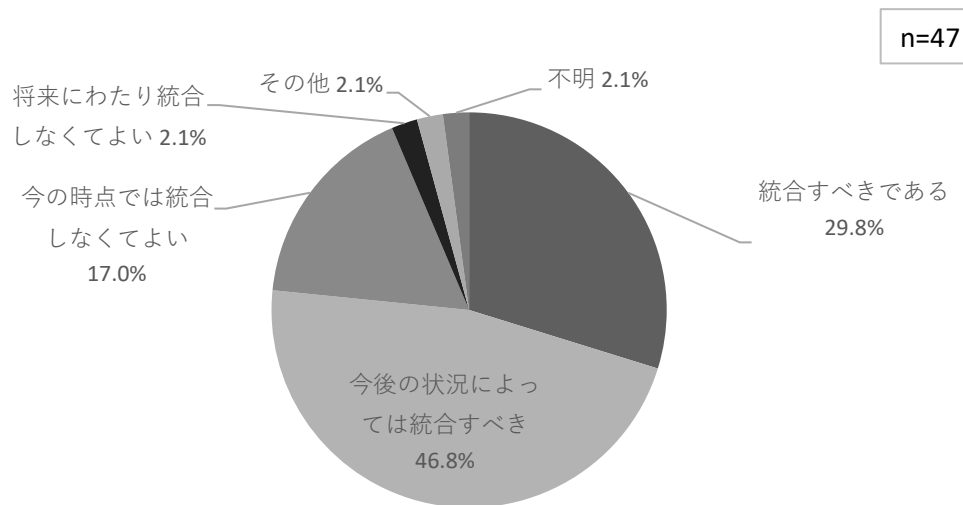


11. 小学校の在り方について

(30) 小学校の統合

問 30 現在、町内には三つの小学校がありますが、小学校の統合についてどう思いますか。
(○は1つ)

小学校の在り方については、「今後の状況によっては統合すべき」が46.8%、と最も高く、次いで「統合すべきである」が29.8%、「今の時点では統合しなくてよい」が17.0%、「将来にわたり統合しなくてよい」が2.0%となっています。



●その他

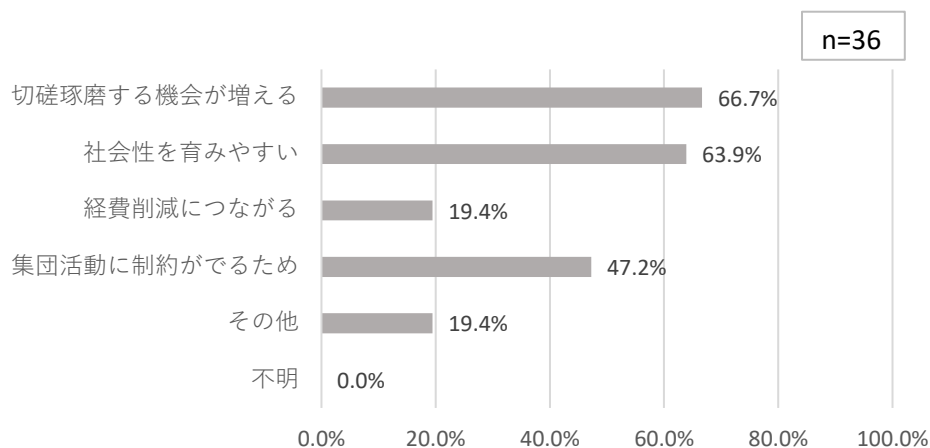
保護者で話し合う場があって、別の会で子どもを持たない地域の人も話せる場があって合意形成に向かいたい。先生の労働環境の改善に統合が必要不可欠なら統合を進める方が良いと思う。

(30-1) 統合すべき理由

問 30-1 問 30 で「1」「3」を選択した方

統合すべきと考える理由はなんですか。(○は1つ)

統合すべきと考える理由については、「切磋琢磨する機会が増える」が 66.7%、「社会性をはぐくみやすい」が 63.9%、ついで「集団行動に制約がでるため」が 47.2%となっています。



●その他

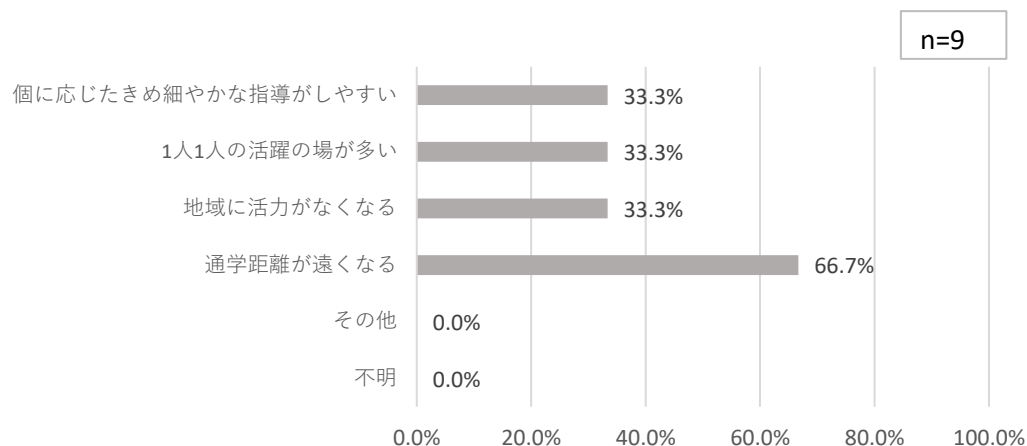
教員の負担軽減、保護者（PTA）活動の負担軽減 /いろいろな人（考えや行動）がいることを小学生のうちから感じてもらいたい /気の合う友達や先生との出会いが増える可能性がある /只見と明和だけ新しい校舎なのもどうかと思う /保育所を1か所にするならば小学校も統合してもよいと思う

(30-2) 統合しなくてよい理由

問 30-2 問 30 で「2」「4」を選択した方

統合しなくてよいと考える理由はなんですか。(○は1つ)

統合しなくてよいと考える理由については、「通学距離が遠くなる」が 66.7%、次いで「個に応じたきめ細やかな指導がしやすい」、「一人ひとりの活躍の場が多い」、「地域に活力がなくなる」が同率で 33.3%となっています。



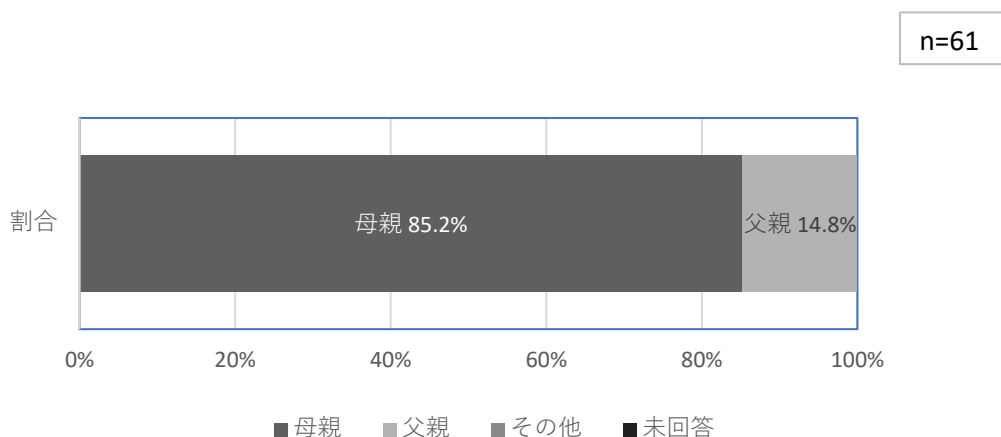
小学生（小学校入学前）児童のいる世帯の調査結果

1. 子どもとご家族の状況について

(1) 回答者とお子さんの関係

問 1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

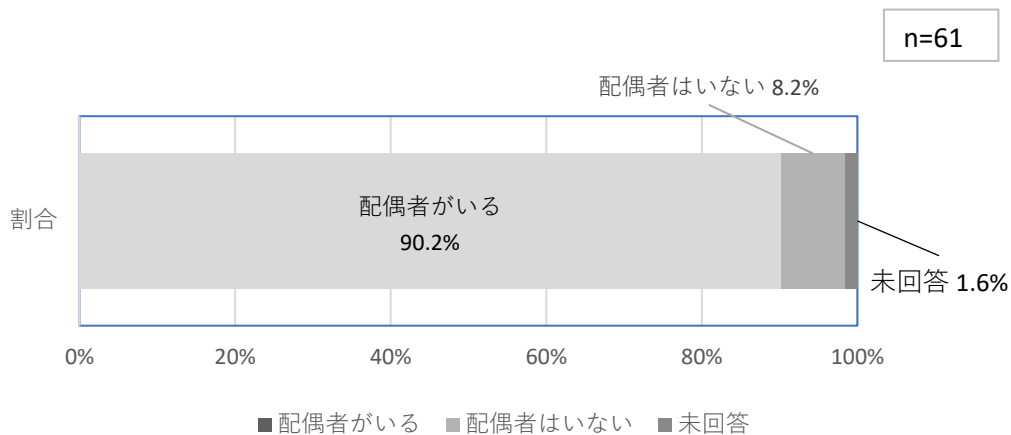
この調査票に回答した人は、「母親」が85.2%、「父親」が14.8%となっています。



(2) 回答者の配偶関係

問 2 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（○は1つ）

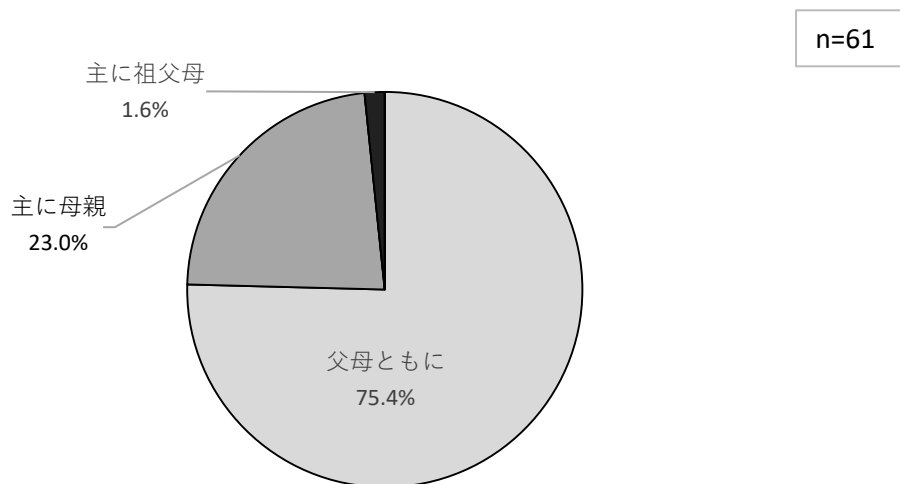
回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が90.2%、「配偶者はいない」が8.2%となっています。



(3) お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方

問3 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

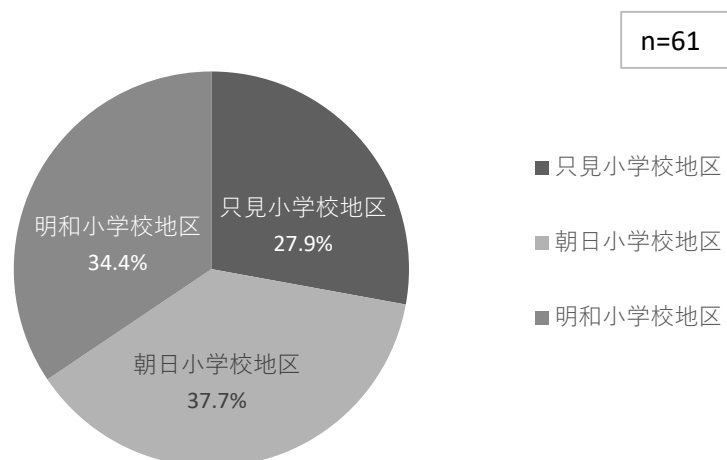
主に子育てを行っている人は、「父母ともに」が75.4%と最も高く、次いで「主に母親」が23.0%、「主に祖父母」が1.6%となっています。



(4) 居住地区

問4 お住まいの地区はどちらですか。（○は1つ）

回答者の居住地区は、「只見小学校区」が27.9%、「朝日小学校区」が37.7%、「明和小学校区」が34.4%となっています。



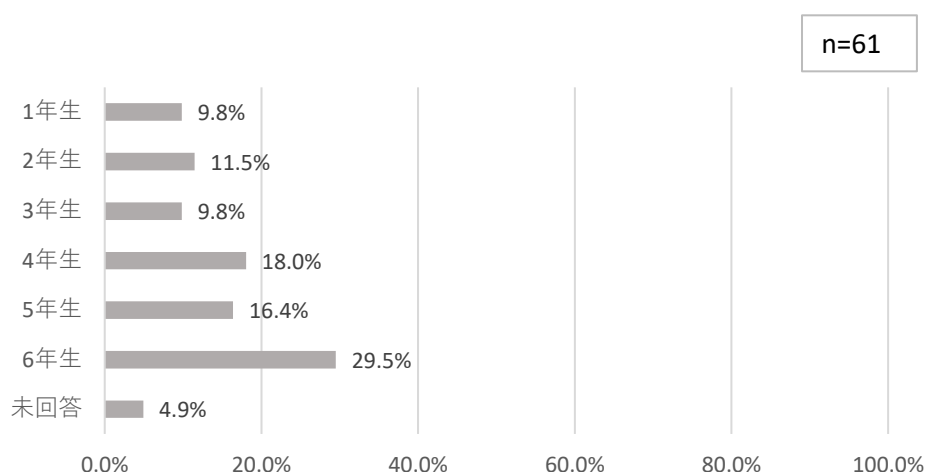
2. 子どもの放課後の過ごし方について

(5) お子さんの学年

問5 小学生のお子さんの生年月と学年を、上の方から順にご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

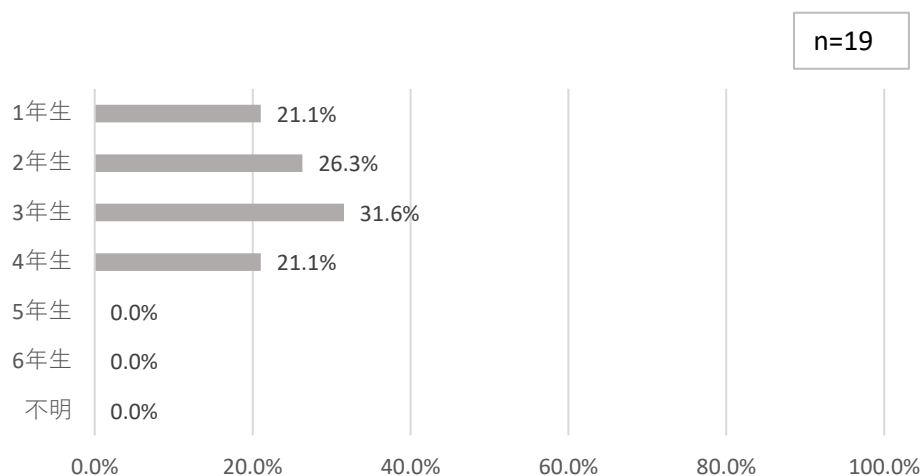
● 1人目

1人目のお子さんの学年については、「6年生」が29.5%と最も高く、次いで「4年生」が18.0%、「5年生」が16.4%となっています。



● 2人目

2人目のお子さんの学年については、「3年生」が31.6%と最も高く、次いで「2年生」が26.3%、「1年生」、「4年生」が21.1%で同率となっています。



● 3人目

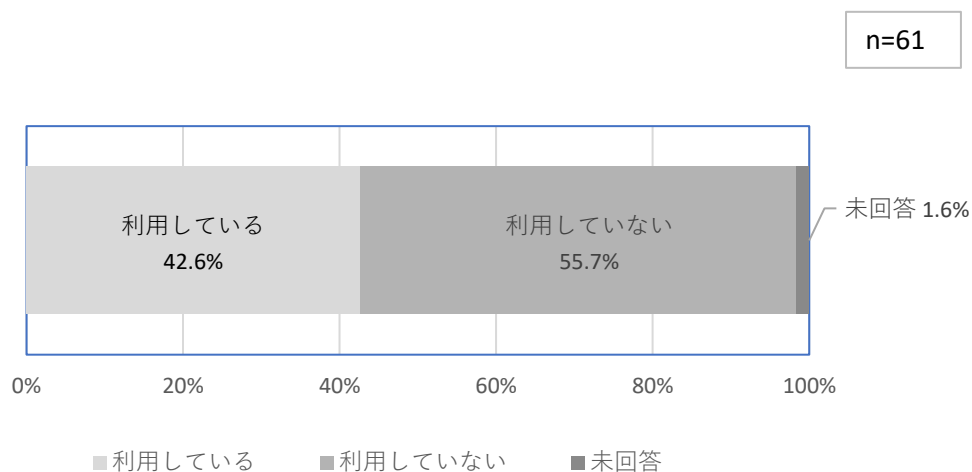
3人目についての回答はありませんでした。以下3人目については集計なし。

(6) 放課後子どもクラブを利用の有無

問 6 お子さんは現在、放課後子どもクラブを利用されていますか。(どちらか、あてはまる方に○)

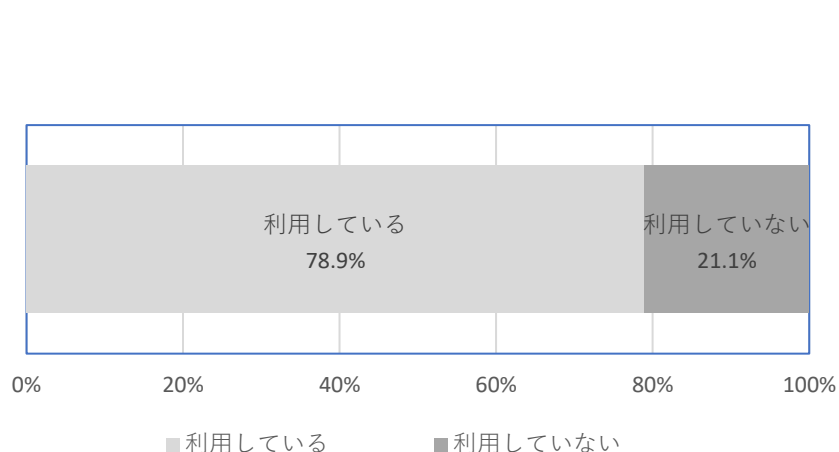
● 1 人目

1 人目のお子さんが現在、放課後子どもクラブを利用しているかについては、「利用している」が 42.6%、「利用していない」が 55.7%となっています。



● 2 人目

2 人目のお子さんが現在、放課後子どもクラブを利用しているかについては、「利用している」が 78.9%、「利用していない」が 21.1%となっています。

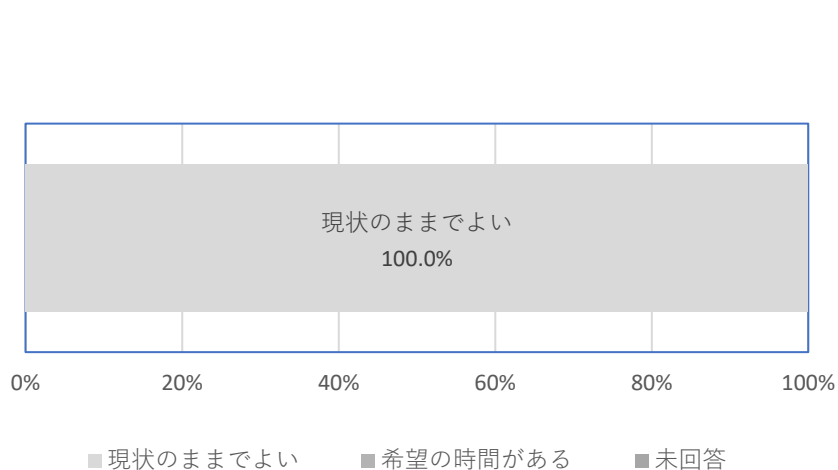


(6-1) 放課後子どもクラブの利用時間の希望の有無

問 6-1 お子さんの放課後子どもクラブの利用時間について、利用時間の希望はありますか。(○は1つ)

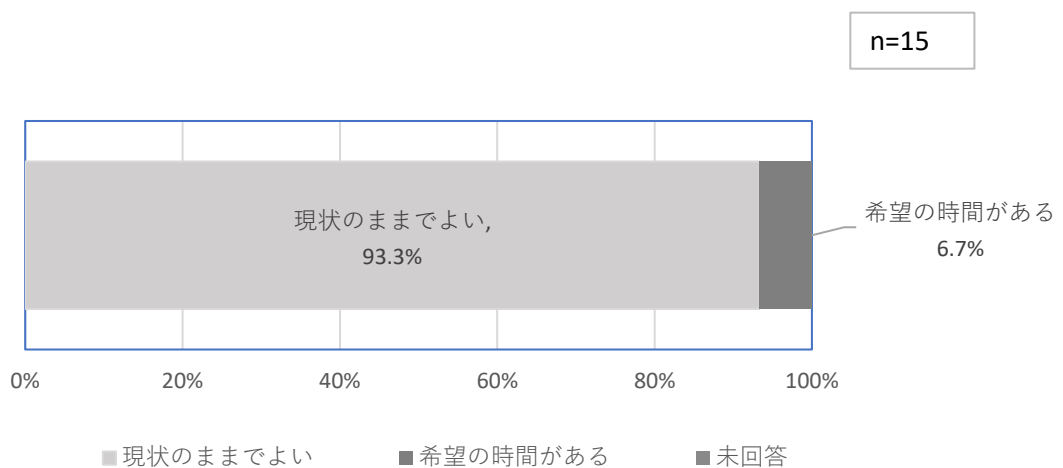
● 1人目

1人目のお子さんの放課後子どもクラブの利用時間の希望については、すべての人が「現状のままでよい」と回答しています。



● 2人目

2人目のお子さんの放課後子どもクラブの利用時間の希望については、「現状のままでよい」が93.3%と大半を占め、「希望の時間がある」が6.7%となっています。



(6-2) 利用希望時間

問 6-2 問 6-1 で、「2. 希望の時間がある」を選択した方

希望の時間をお書きください。時間は必ず 24 時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字)

● 1 人目

1 人目のお子さんが希望する放課後子どもクラブの利用終了時刻については、すべての人が現状のままでよいとの回答のためなし。

● 2 人目

2 人目のお子さんが希望する利用希望時間は、該当者 1 名のうち、月～金の利用終了時刻について「18 時以降」と回答しています。

また、土曜日の利用希望時間については、回答ありませんでした。

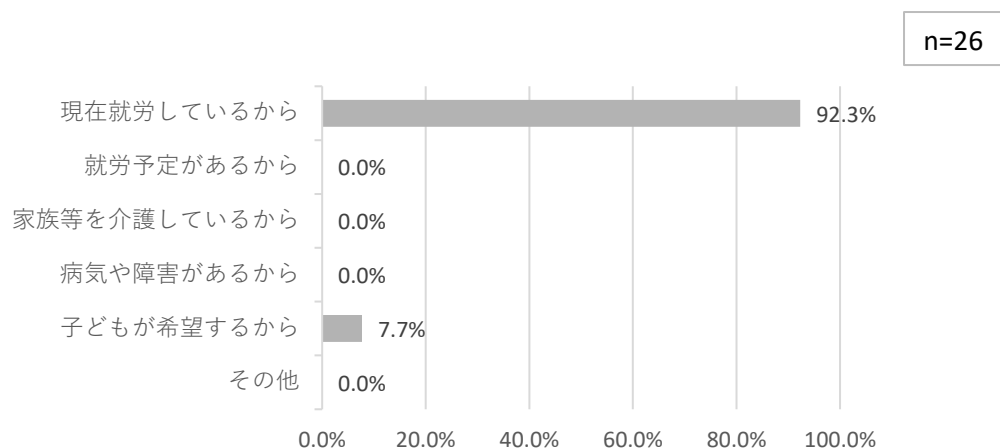
(6-3) 放課後子どもクラブを利用している理由

問 6-3 問 6 で、放課後子どもクラブを「1. 利用している」を選択した方

放課後子どもクラブを利用している理由は何ですか。(○は 1 つ)

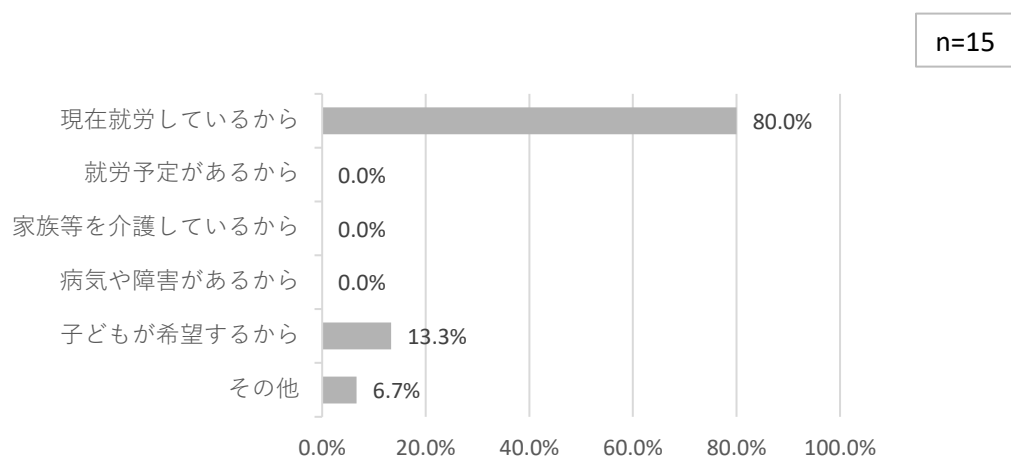
● 1 人目

1 人目のお子さんが放課後子どもクラブを利用している理由については、「現在、就労しているから」が 92.3%と最も高く、次いで「子どもが希望するから」が 7.7%となっています。



● 2人目

2人目のお子さんが放課後子どもクラブを利用している理由については、「現在、就労しているから」が80.0%と大半を占めており、次いで「子どもが希望するから」が13.3%となっています。



● その他

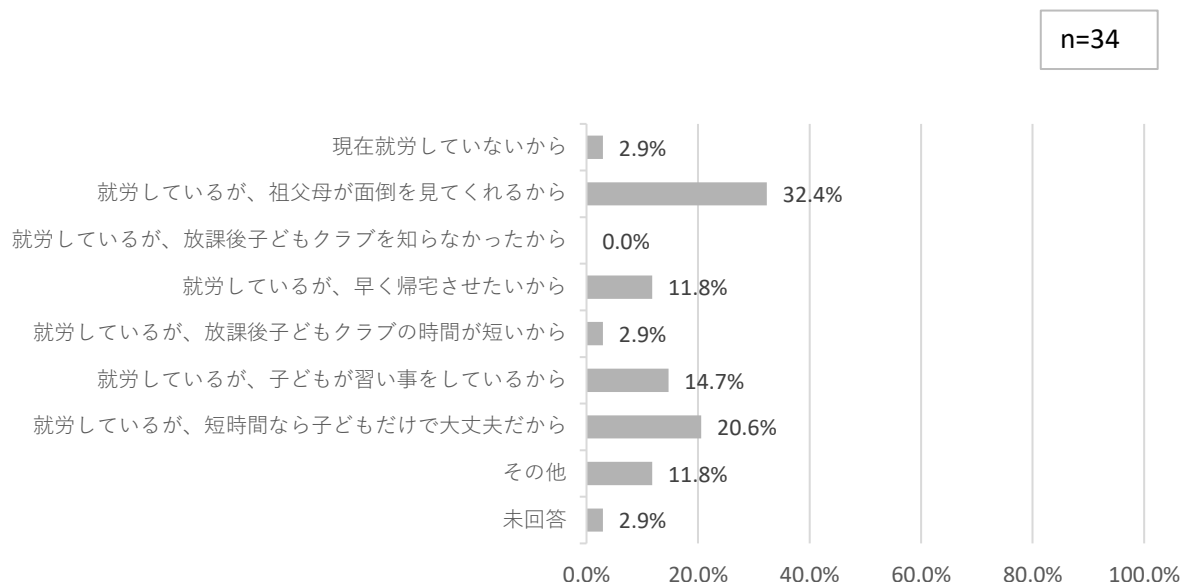
就労しており祖父母が留守の時

(6-4) 放課後子どもクラブを利用していない理由

問 6-3 問 6 で、放課後子どもクラブを「2. 利用していない」を選択した方
放課後子どもクラブを利用していない理由は何ですか。(○は1つ)

● 1人目

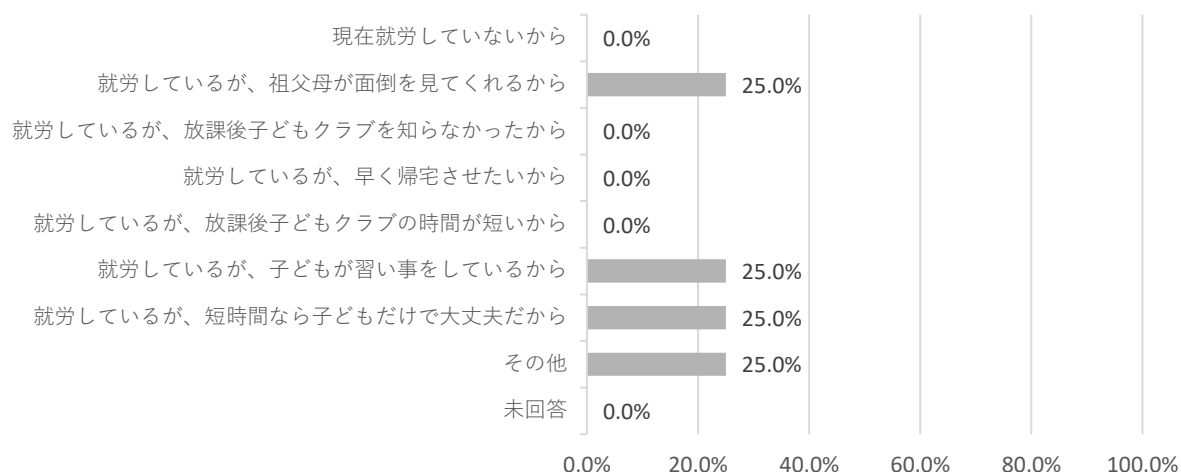
1人目のお子さんが放課後子どもクラブを利用していない理由については、「就労しているが、祖父母が面倒みてくれるから」が32.4%と最も高く、次いで「就労しているが、短時間なら子どもだけで大丈夫だから」が20.6%、「就労しているが、子どもが習い事をしているから」が14.7%となっています。



● 2人目

2人目のお子さんが放課後子どもクラブを利用していない理由については、該当者4名のうち、「就労しているが、祖父母が面倒みってくれるから」、「就労しているが、子どもが習い事をしているから」「就労しているが、短時間なら子どもだけで大丈夫だから」「その他」とそれぞれ1名ずつ回答しています。

n=4



● その他

1人目、2人目のその他については

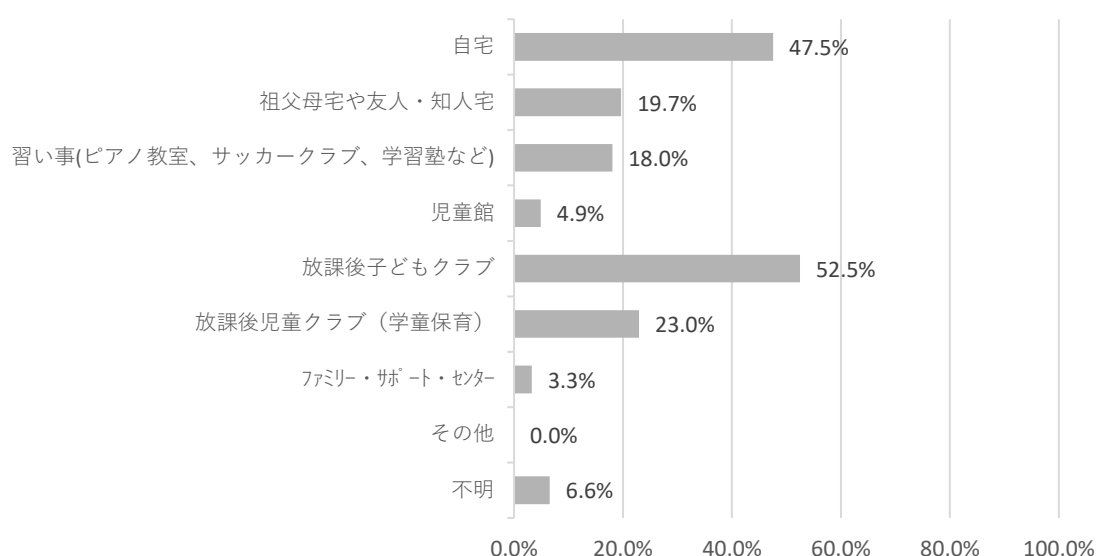
就労しているが、18時までに迎えに行くことができないから / 就労しているが放課後には母が在宅のため / スポ少に参加しているため

(7) 小学校低学年に放課後の時間過ごさせたい場所

問 7 お子さんが、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。必ず、時間は２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

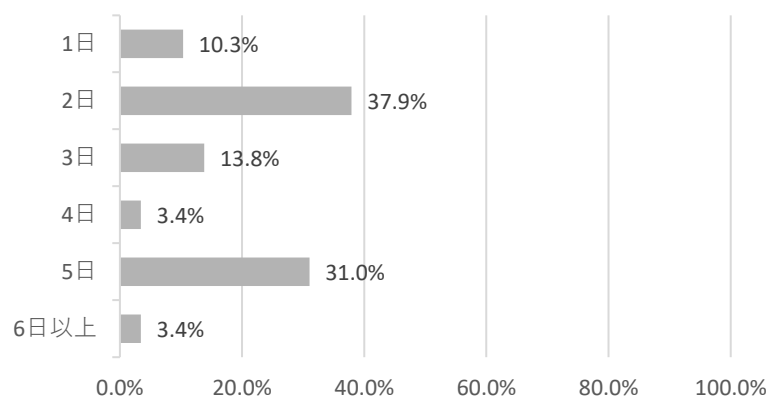
低学年の子どもが放課後に過ごさせたい場所については、「放課後子どもクラブ」が52.5%と最も高く、次いで、「自宅」が47.5%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が23.0%となっています。

n=61

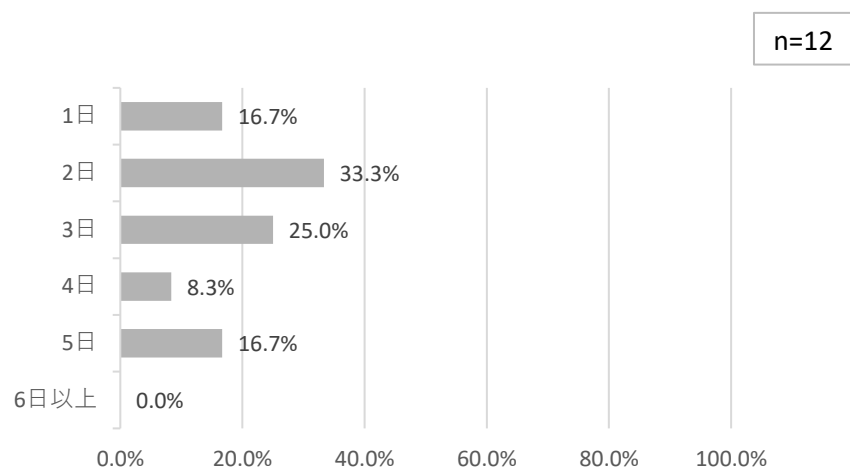


自宅の日数については、「２日」が37.9%と最も高く、次いで「５日」が31.0%、「３日」が13.8%となっています。

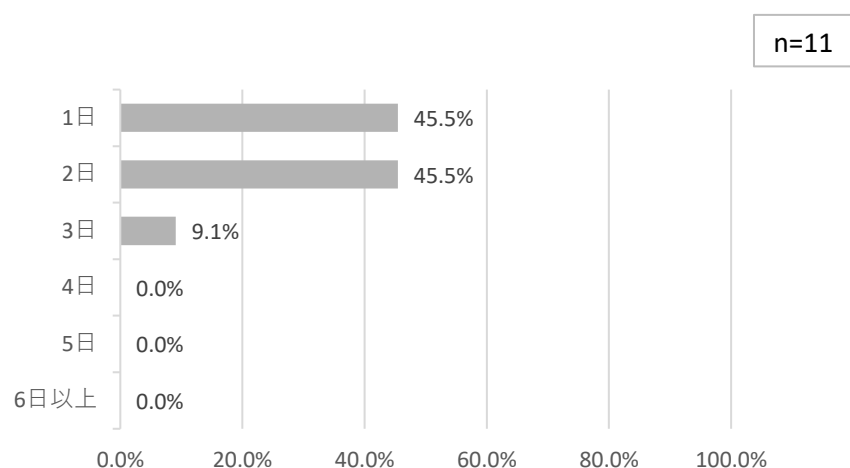
n=29



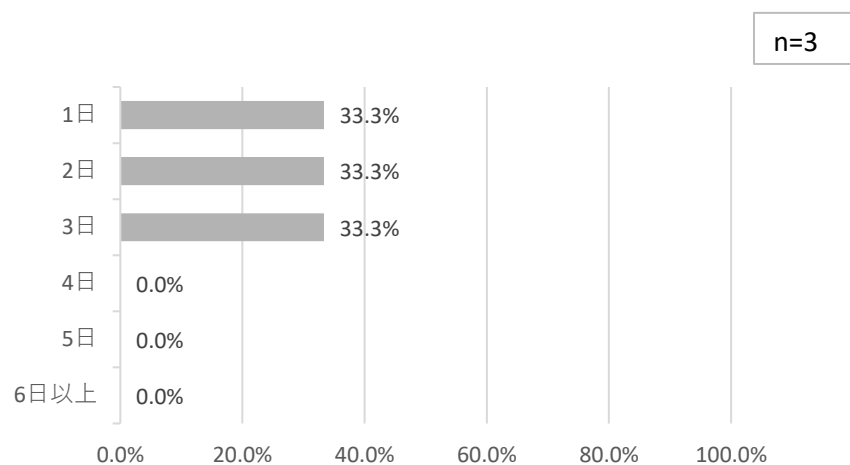
祖父母宅や友人・知人宅の日数については、「2日」が33.3%と最も高く、次いで「3日」が25.0%となっています。



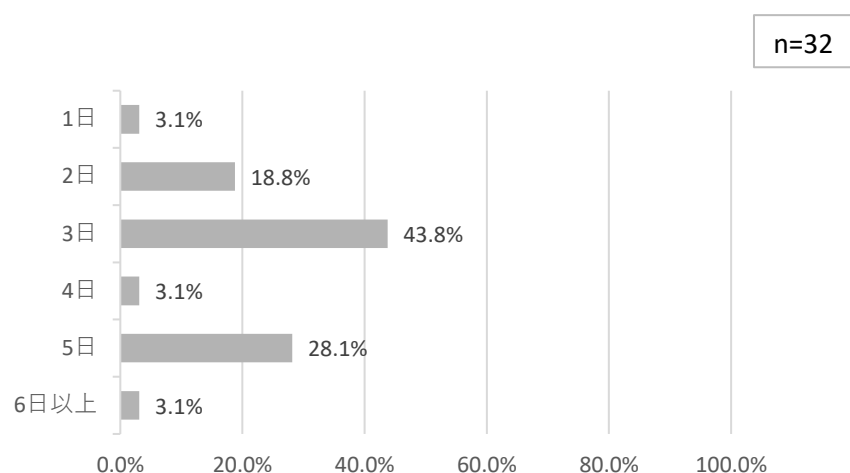
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数については、「1日」「2日」が45.5%と同率で最も高く、次いで「3日」が9.1%となっています。



児童館の日数については、該当者3名がそれぞれ「1日」「2日」「3日」と回答しています。

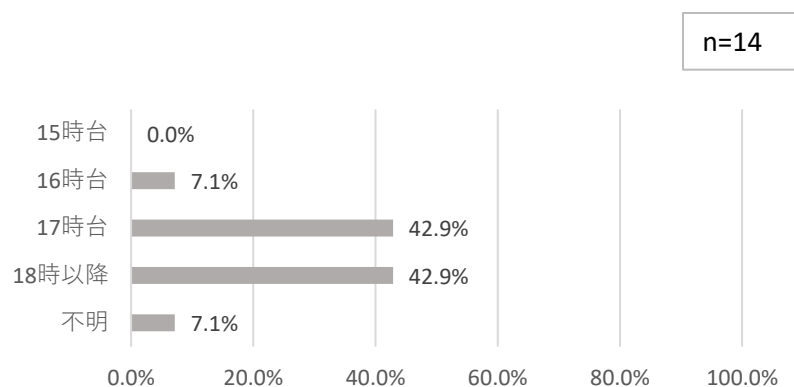
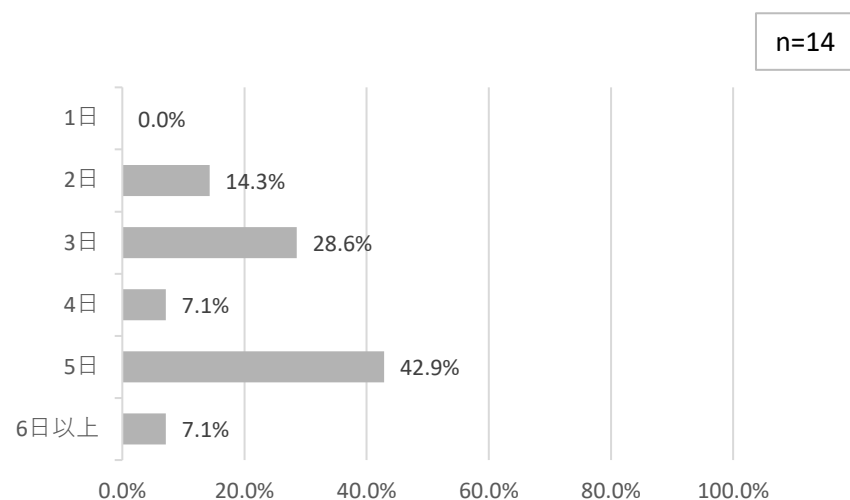


放課後子どもクラブの日数については、「3日」が43.8%と最も高く、次いで「5日」が28.1%、「2日」が18.8%となっています。

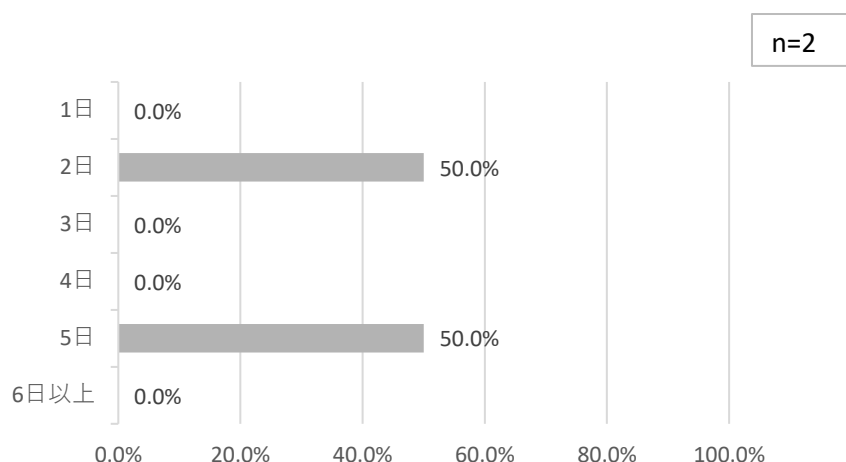


放課後児童クラブ（学童保育）の日数は、「5日」が42.9%と最も高く、次いで「3日」が28.6%、「2日」が14.3%となっています。

また、希望する利用終了時刻は、「17時台」「18時以降」が42.9%と同率で最も高く、次いで「16時台」が7.1%となっています。



ファミリー・サポート・センターの日数については、該当者2名のうち「2日」「5日」とそれぞれ回答しています。

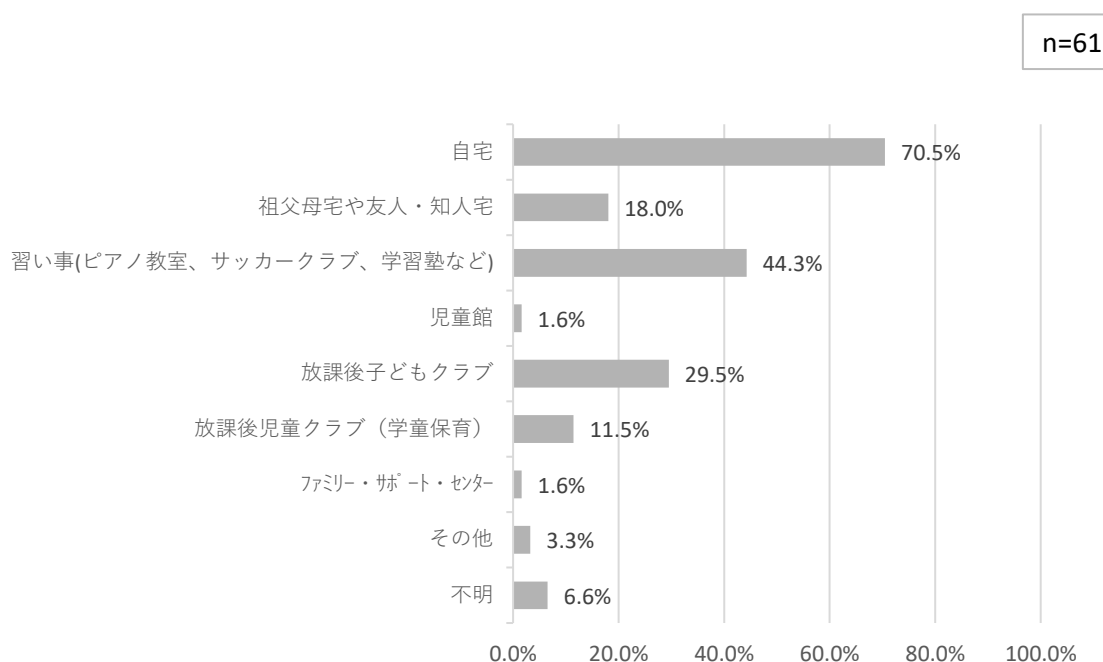


その他の日数については、該当者がいませんでした。

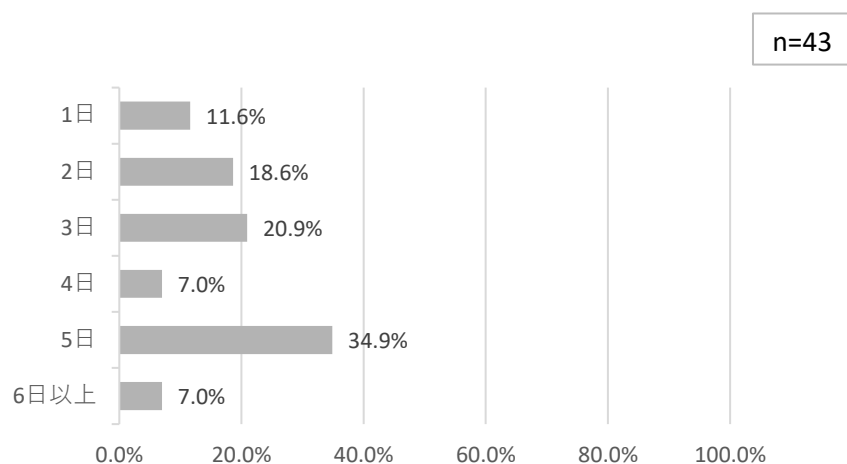
(8) 小学校高学年に放課後の時間過ごさせたい場所

問 8 お子さんが、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。必ず、時間は24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

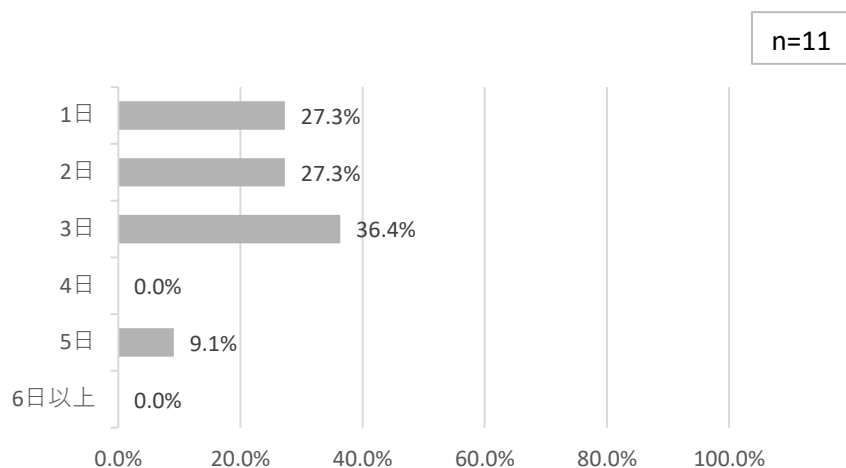
高学年の子どもが放課後に過ごさせたい場所については、「自宅」が70.5%と最も高く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が44.3%、「放課後子どもクラブ」が29.5%となっています。その他はスポ少と回答しています



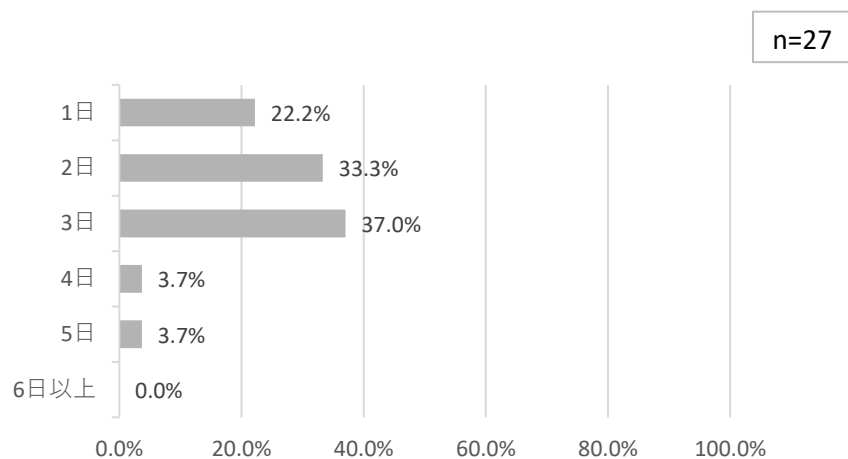
自宅の日数については、「5日」が34.9%と最も高く、次いで「3日」が20.9%、「2日」が18.6%となっています。



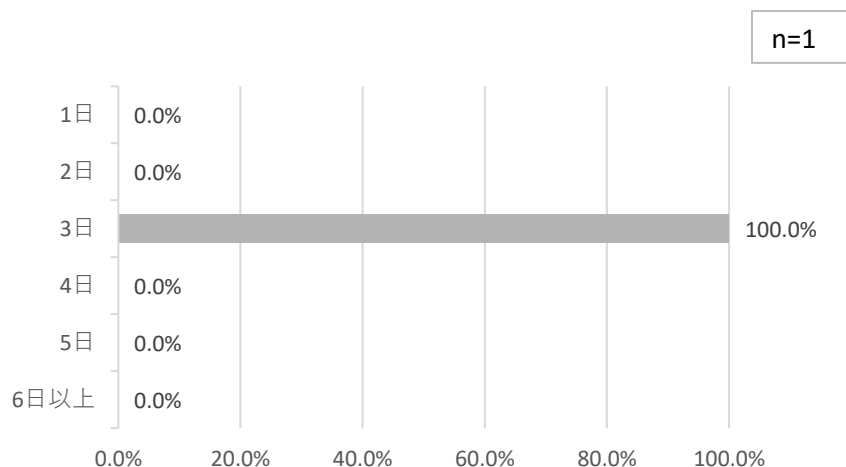
祖父母宅や友人・知人宅の日数については、「3日」36.4%と最も高く、次いで「1日」「2日」が27.3%、となっています。



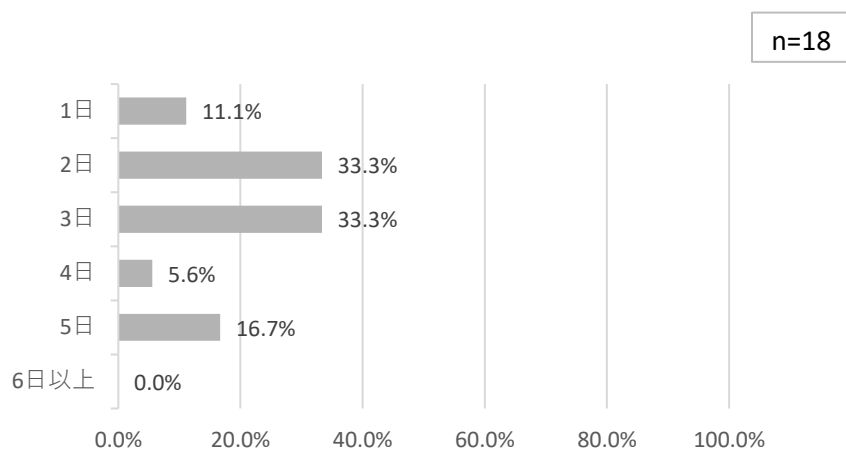
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数については、「3日」が37.0%と最も高く、次いで「2日」が33.3%となっています。



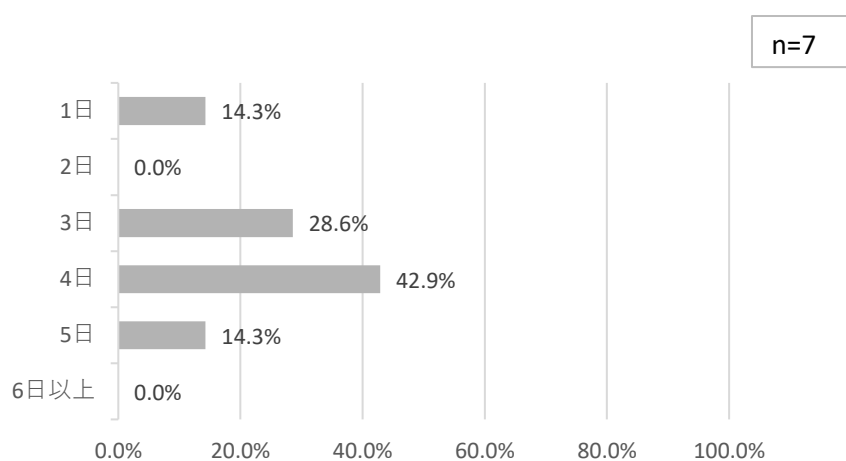
児童館の日数については、該当者1名が「3日」と回答しています。



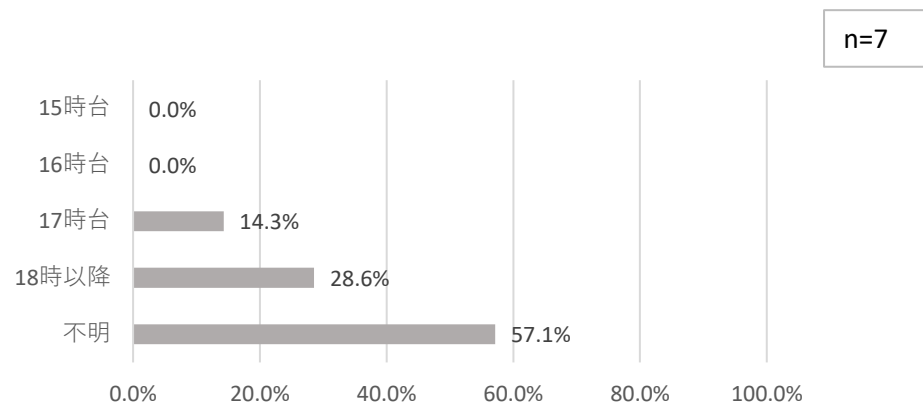
放課後子どもクラブの日数については、「2日」「3日」が33.3%と同率で最も高く、次いで「5日」16.7%となっています。



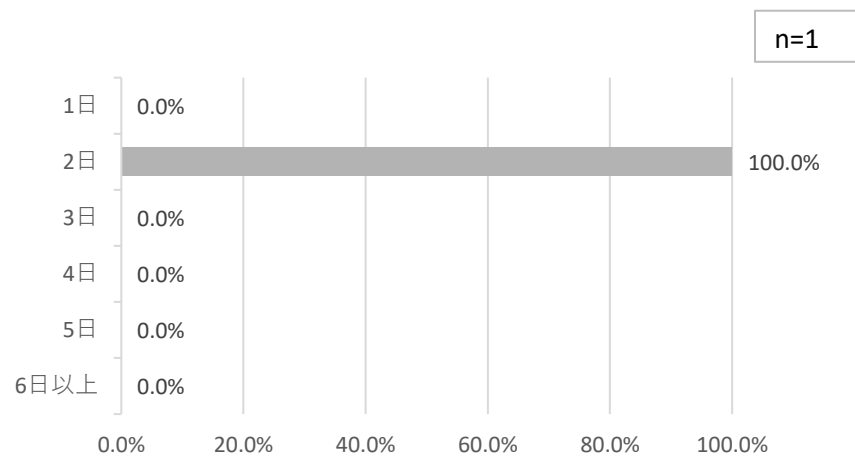
放課後児童クラブ（学童保育）の日数は、「4日」が42.9%と最も高く、次いで「3日」が28.6%、「1日」「5日」が14.3%で同率となっています。



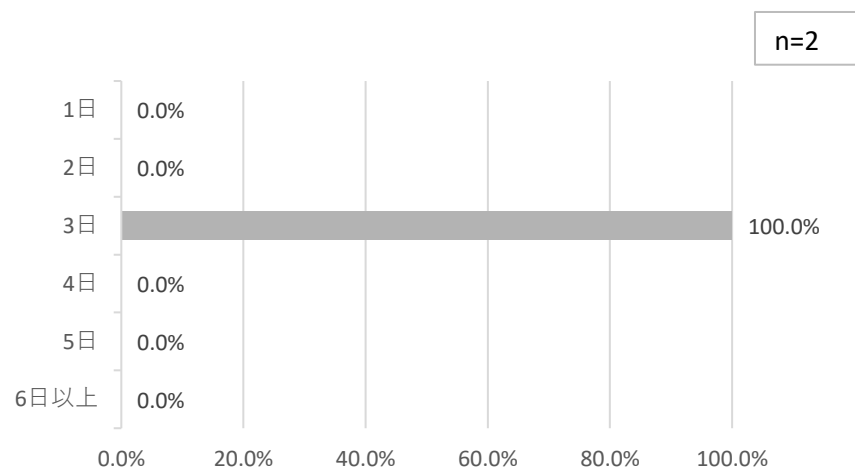
また、希望する利用終了時刻は、「18 時以降」が 28.6%と最も高く、次いで「17 時台」が 14.3%となっています。



ファミリー・サポート・センターの日数については、該当者 1 名が「2 日」と回答しています。



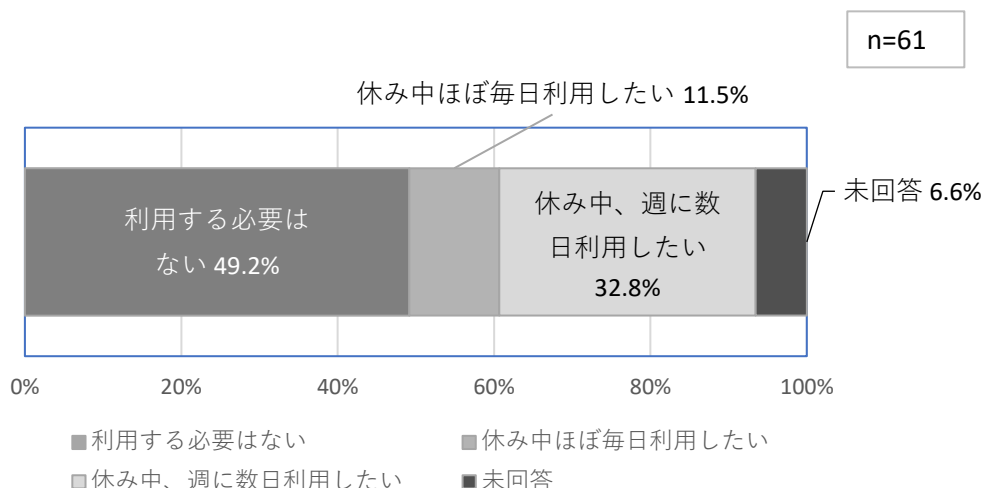
その他の日数については、該当者 2 名が「3 日」と回答しています。



(9) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望の有無

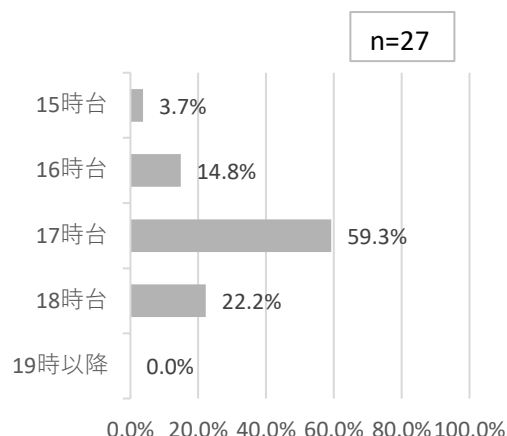
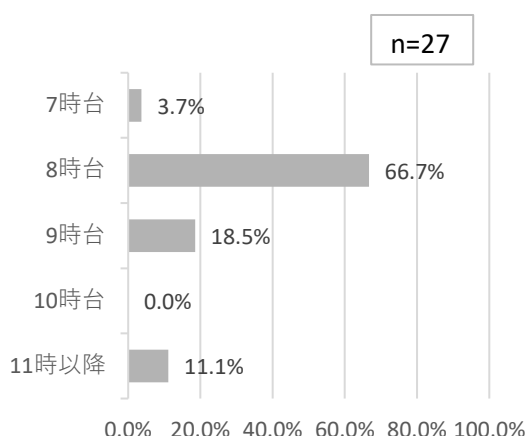
問9 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(○は1つ。また数字は一桁に一字。)

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が49.2%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が32.8%、「休みの期間中ほぼ毎日利用したい」が11.5%、となっています。



長期休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望する人の利用したい開始時刻は、「8時台」が66.7%と最も高く、次いで「9時台」が18.5%、「11時以降」が11.1%となっています。

また、利用したい終了時刻は、「17時台」が59.3%と最も高く、次いで「18時台」が22.2%、「16時台」が14.8%となっています。



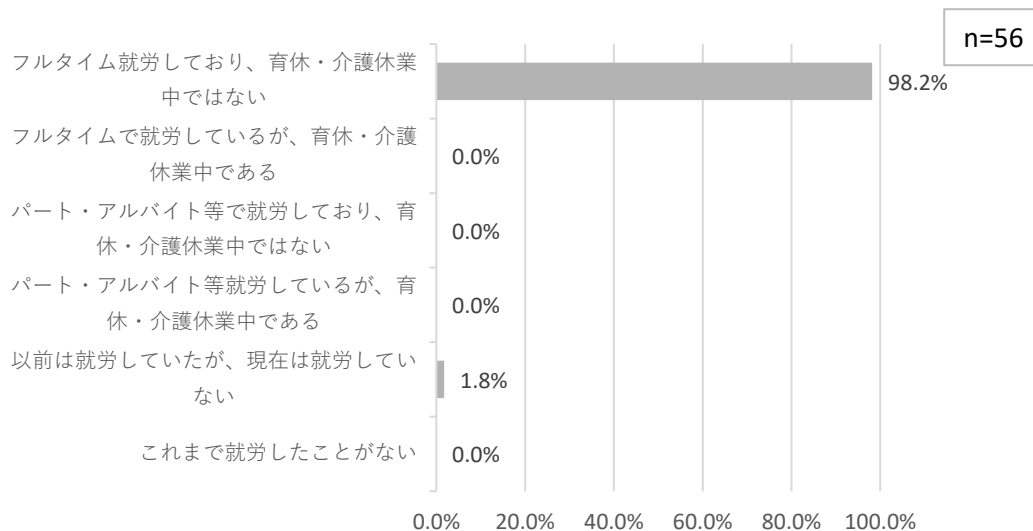
3. 保護者の就労状況について

(10) 両親の就労状況

問 10 お子さんのご両親の就労状況（自営業の方とその家族従事者を含む）についてうかがいます。

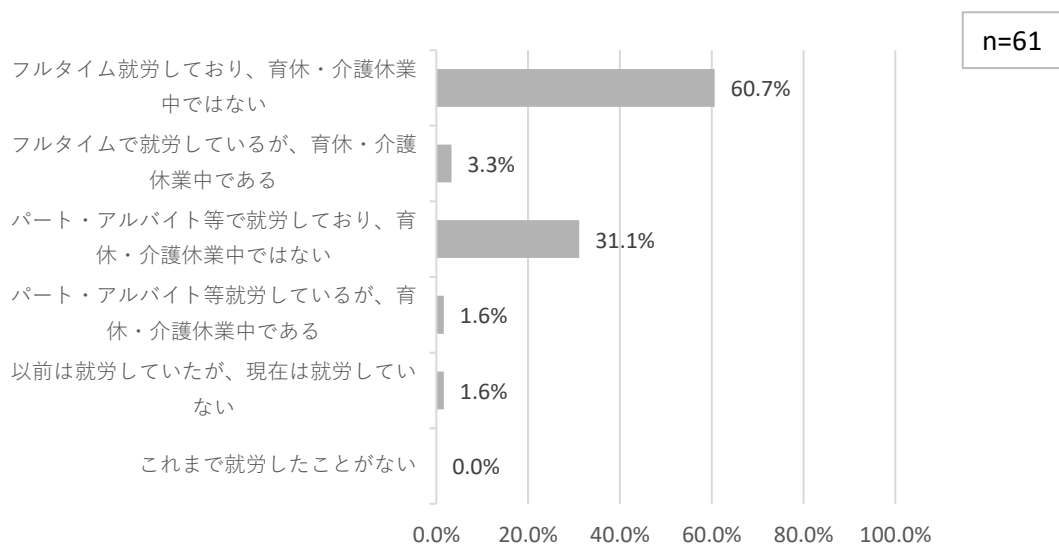
(1) 父親

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が98.2%と大部分を占めています。



(2) 母親

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が60.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.1%となっています。



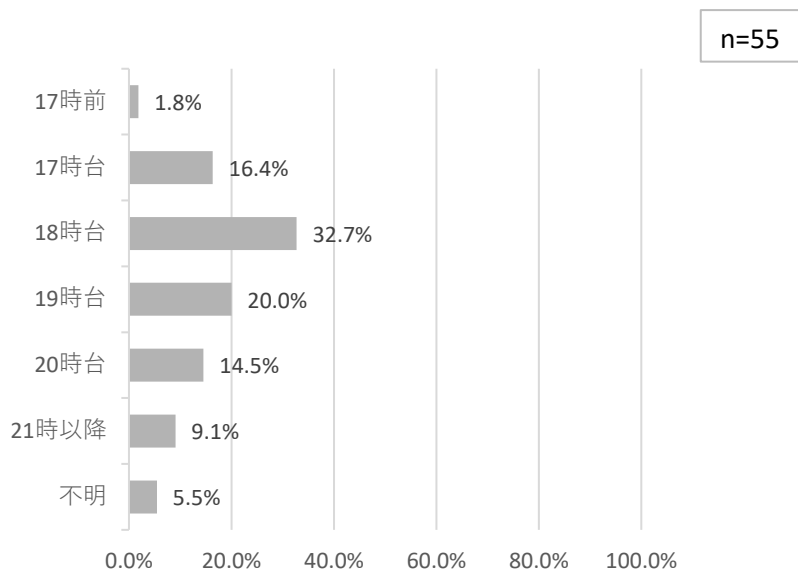
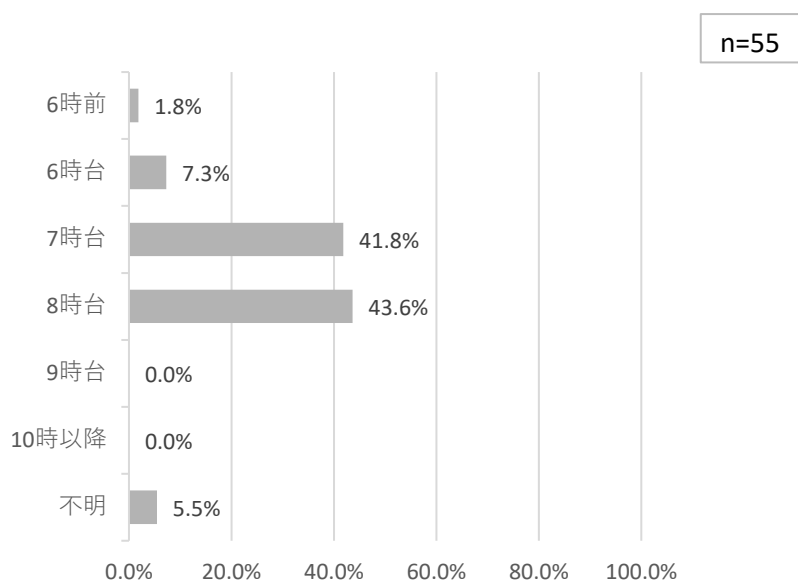
(10-1) 家を出る時間と帰宅時間

問 10-1 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。必ず、時間は 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 父親

父親の家を出る時間は、「8 時台」が 43.6%と最も高く、次いで「7 時台」が 41.8%、「6 時台」が 7.3%となっています。

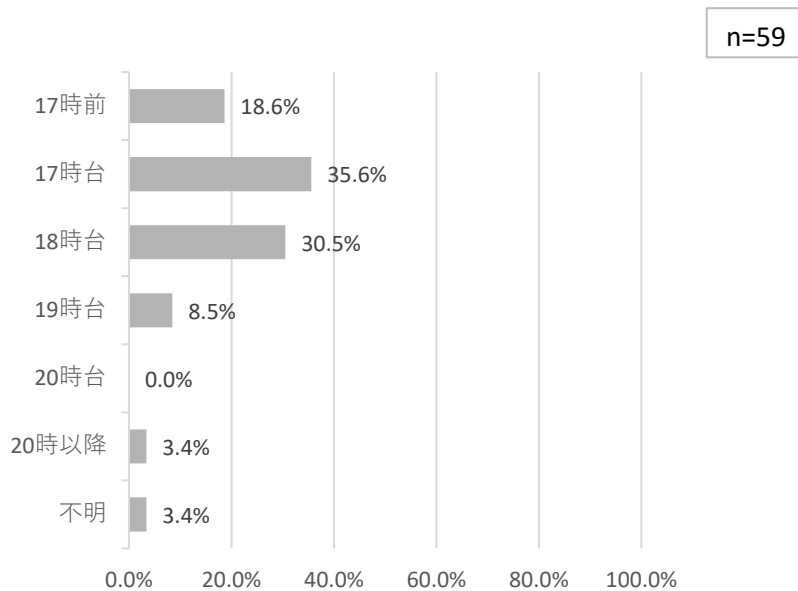
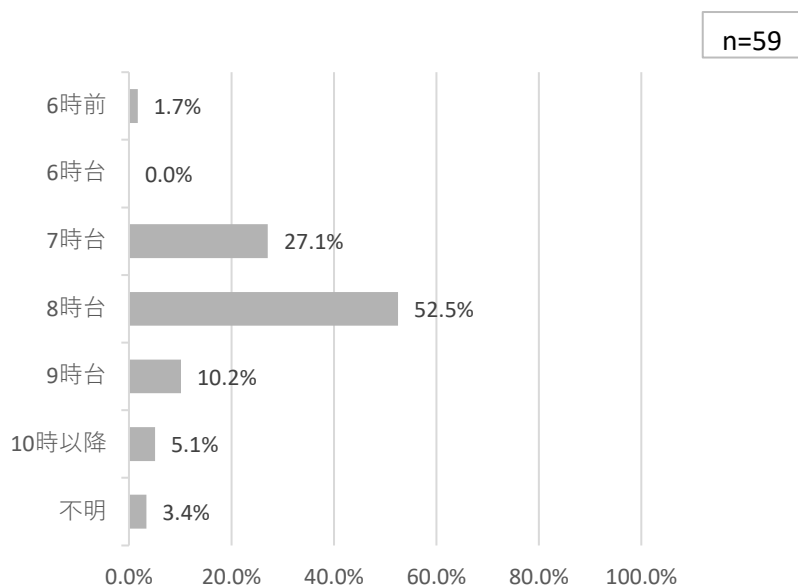
また、帰宅時刻は、「18 時台」が 32.7%と最も高く、次いで「19 時台」が 20.0%、「17 時台」が 16.4%となっています。



(1) 母親

母親の家を出る時間は、「8 時台」が 52.5%と最も高く、次いで「7 時台」が 27.1%、「9 時台」が 10.2%となっています。

また、帰宅時刻は、「17 時台」が 35.6%と最も高く、次いで「18 時台」が 30.5%、「17 時前」が 18.6%となっています。

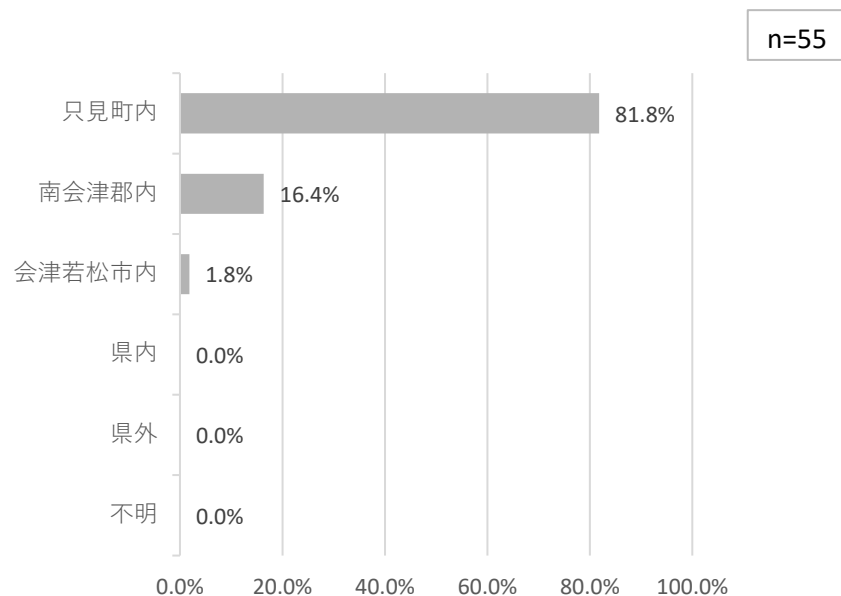


(10-2) 職場の場所

問 10-2 職場はどこにありますか。(○は1つ)

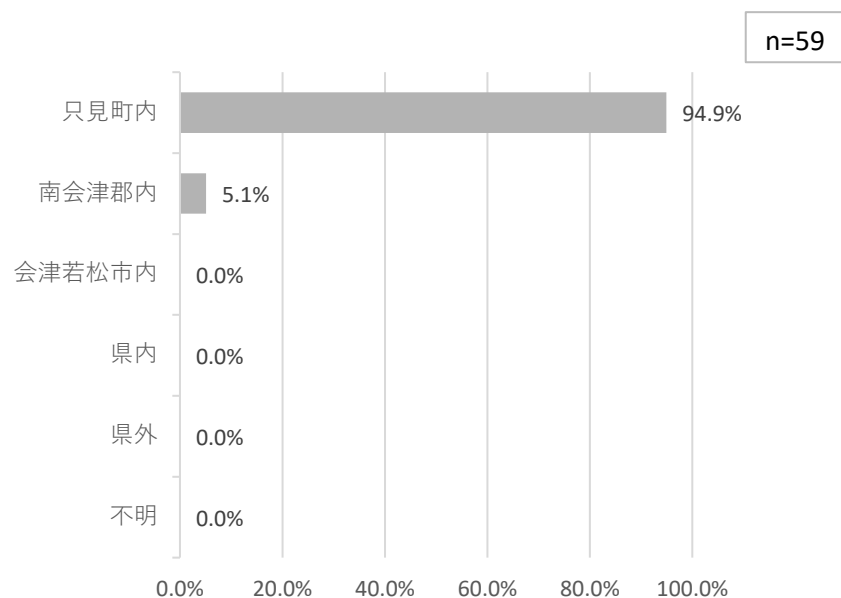
(1) 父親

父親の職場の場所については、「只見町内」が81.8%と最も高く、次いで「南会津郡内」が16.4%となっています。



(2) 母親

母親の職場の場所については、「只見町内」が94.9%と最も高く、次いで「南会津郡内」が5.1%となっています。



(11) フルタイムへの転換希望

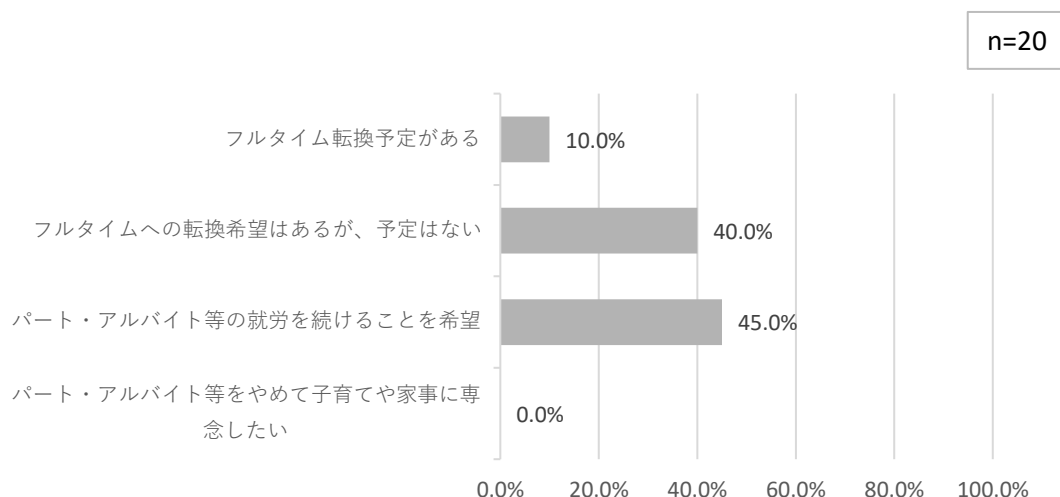
問 11 問 10 で「3」または「4」に○をつけた方
フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 父親

(該当者なし)

(2) 母親

パート・アルバイト等に就労している母親のフルタイムへの転職希望については、パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 46.2%, 「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」が 53.8%と最も高く、次いで「となっています。

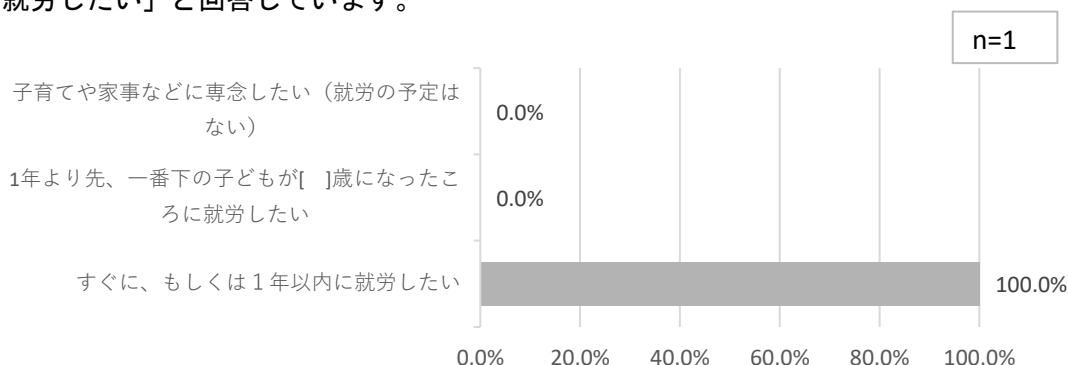


(12) 就労希望

問 12 問 10 で「5」または「6」に○をつけた方
就労したいという希望はありますか。

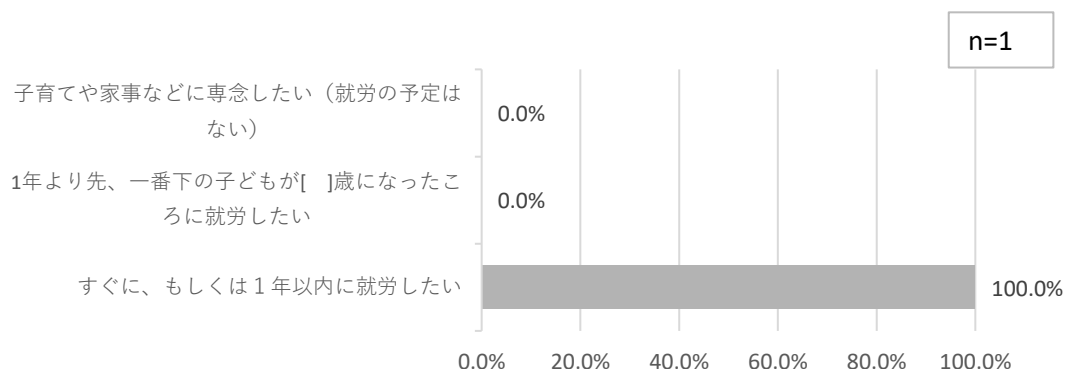
(1) 父親

現在就労していない父親の今後の就労希望については、該当者 1 名が「すぐに、もしくは 1 年以内に就労したい」と回答しています。



(2) 母親

現在就労していない母親の今後の就労希望については、該当者1名が「すぐにもしくは1年以内に就労したい」と回答しています。

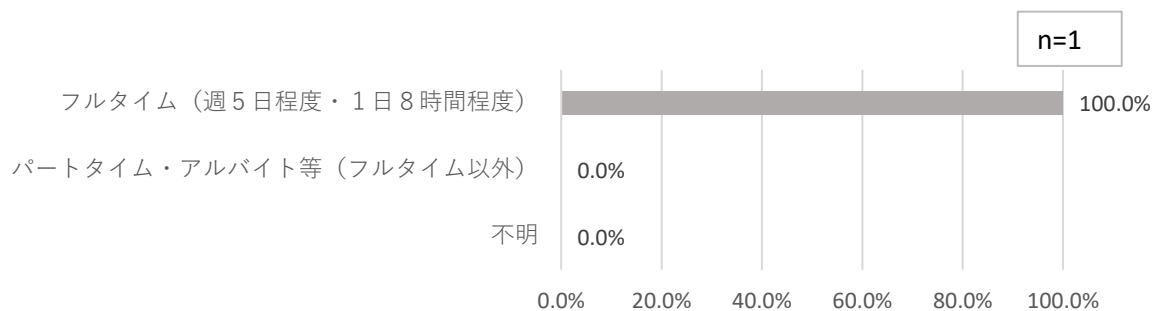


(12-1) 希望する就労形態

問12-1 問12で「2」または「3」に○をつけた方
希望する就労形態をお答えください。

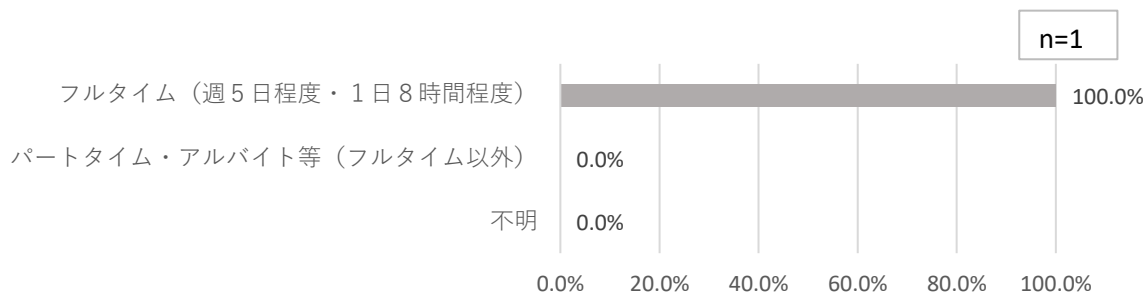
(1) 父親

現在就労していない父親の今後の就労形態の希望については、該当者1名が「フルタイム」と回答しています。



(2) 母親

現在就労していない母親の今後の就労形態の希望については、該当者1名が「フルタイム」と回答しています。

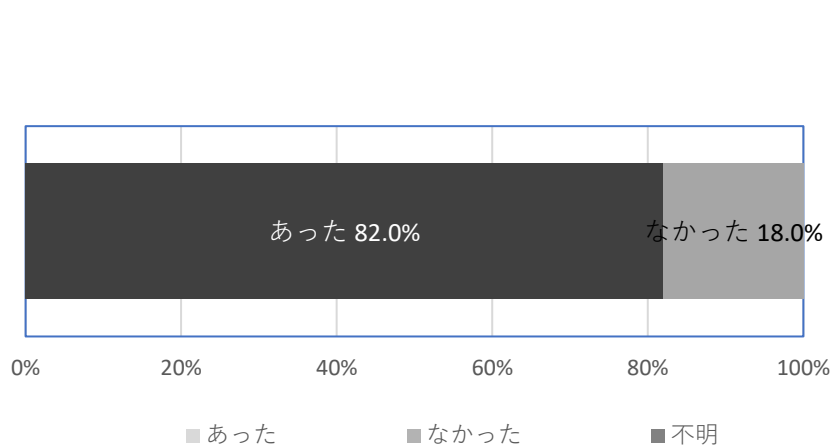


4. 病気やケガの際の対応について

(13) 子どもが病気やケガで学校を休んだことの有無

問 13 この１年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。(○は１つ)

この１年間に子どもが病気やケガで学校を休んだことの有無については、「あった」が 82.0%、「なかった」が 18.0%となっています。

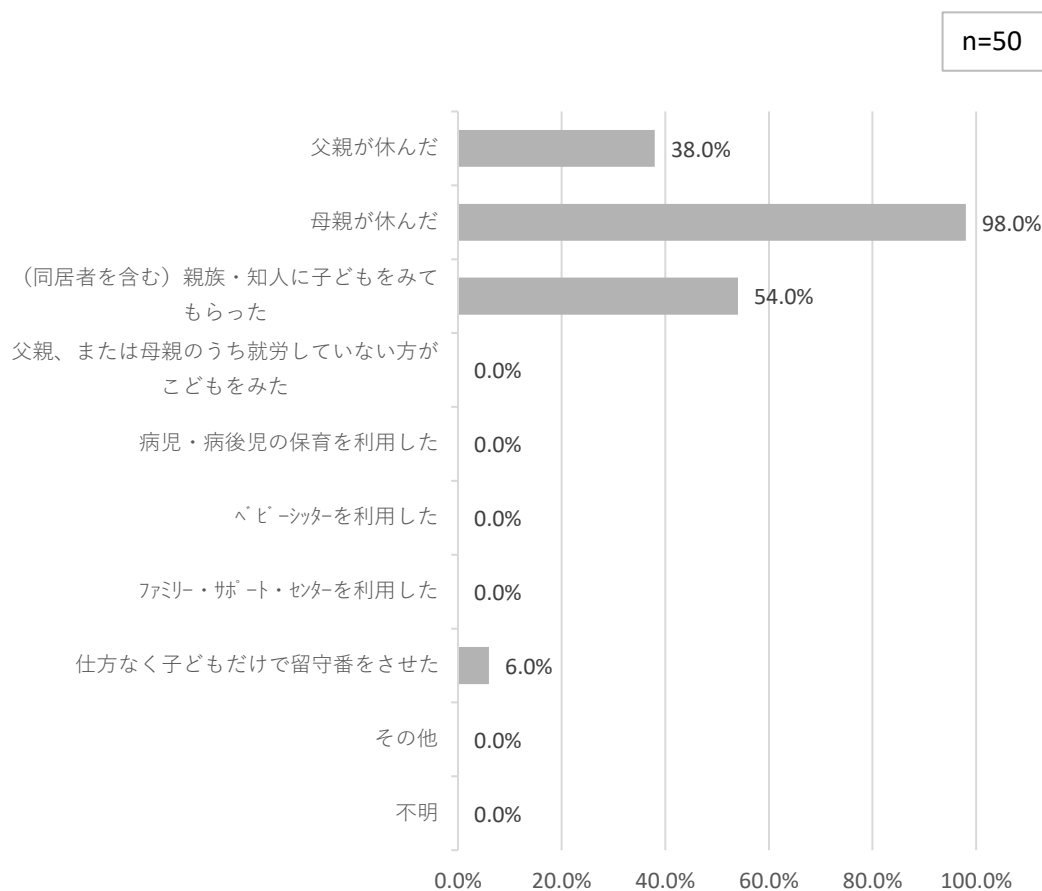


(13-1) 子どもが病気やケガで学校を休んだときの対処方法

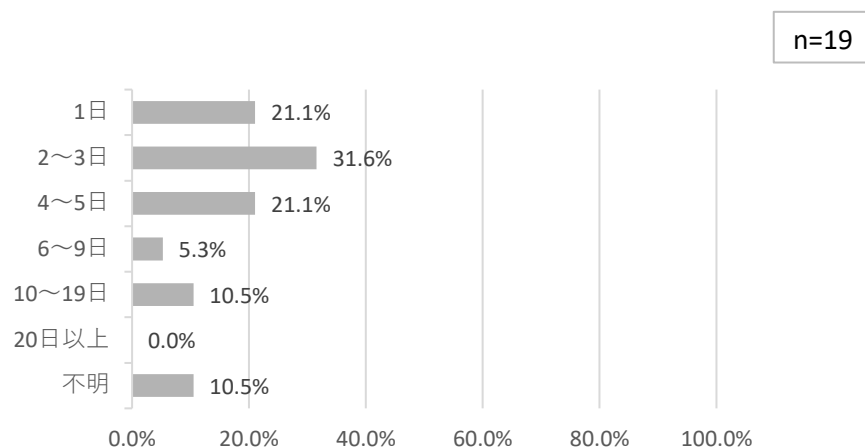
問 13-1 問 13 で「1. あった」を選択した方

お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この 1 年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数も□内にご記入ください。(あてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字。)

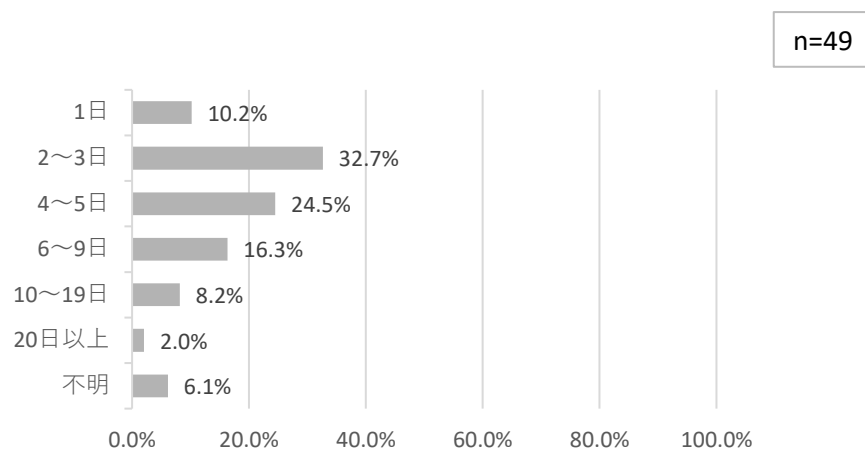
子どもが病気やケガで学校を休んだときの対処方法については、「母親が休んだ」が 98.0%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 54.0%、「父親が休んだ」が 38.0%となっています



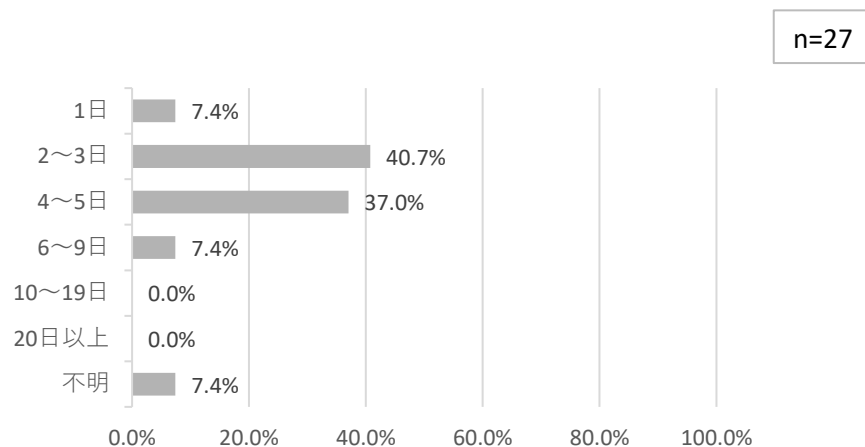
父親が休んだ日数については、「2日～3日」が31.6%と最も高く、次いで「1日」、「4日～5日」が21.1%で同率となっています。



母親が休んだ日数については、「2日～3日」が32.7%と最も高く、次いで「4日～5日」が24.5%、「6日～9日」が16.3%となっています。



(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数については、「2日～3日」が40.7%と最も高く、次いで「4日～5日」が37.0%となっています。



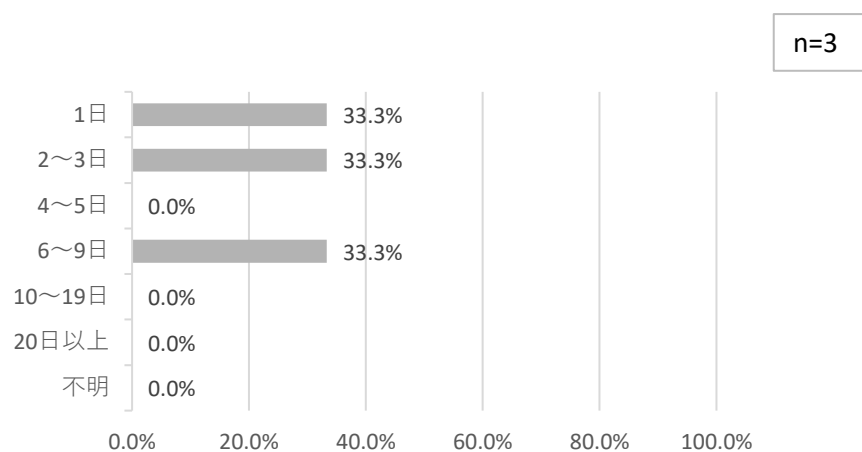
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数については、該当者がいませんでした。

病児・病後児の保育を利用した日数については、該当者がいませんでした。

ベビーシッターを利用した日数については、該当者がいませんでした。

ファミリー・サポート・センターを利用した日数については、該当者がいませんでした。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数については、該当者3名のうち、それぞれ1名ずつ「1日」「2日～3日」「6～9日」と回答しています。

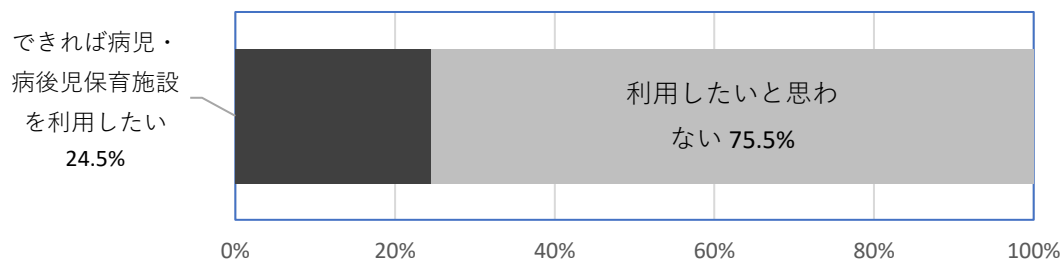
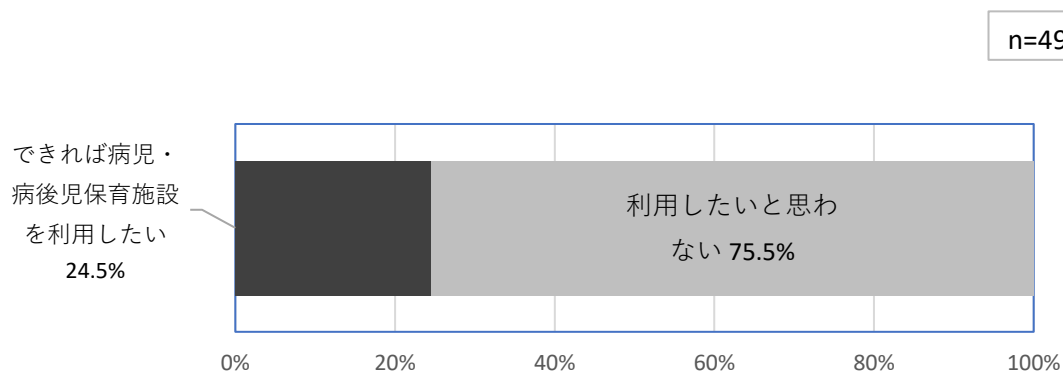


その他を利用した日数については、該当者がいませんでした。

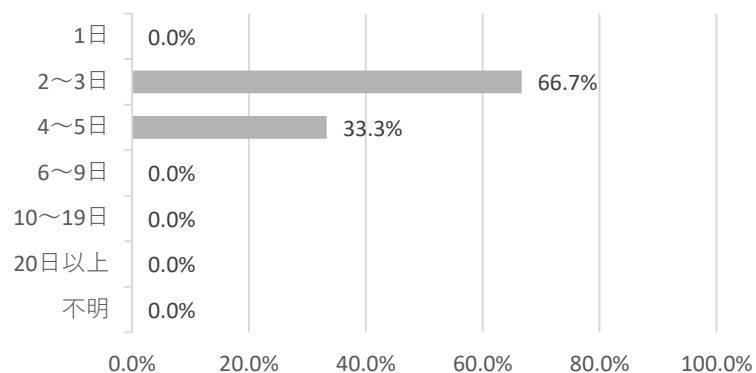
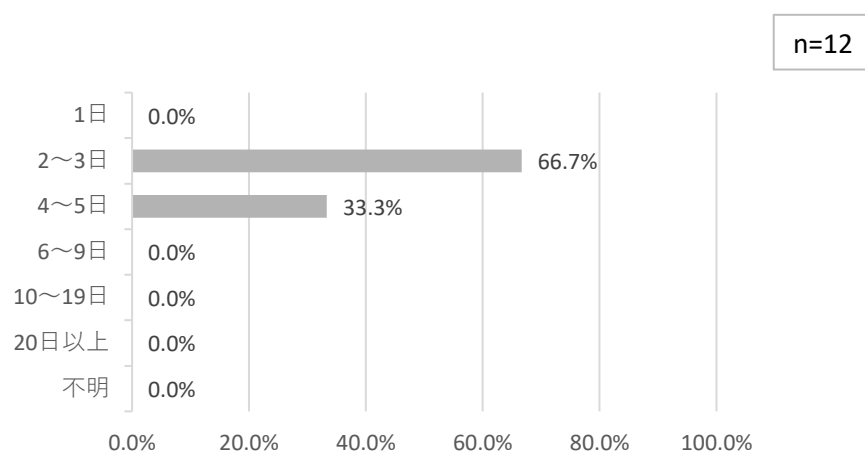
(13-2) 病児のための保育施設等の利用意向

問 13-2 問 13-1 で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」を選択した方
 その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数に
 ついても口内にご記入ください。(○は1つ。また数字は一桁に一字。)

病児のための保育施設等の利用意向については、「できれば病児保育施設等を利用したい」が
 24.5%、「利用したいとは思わない」が 75.5%となっています。



病児保育施設等の利用を希望する人の利用したい日数については、該当者 12 名のうち、8 名が
 「2 日～3 日」と回答し、4 名が「4 日～5 日」と回答しています。



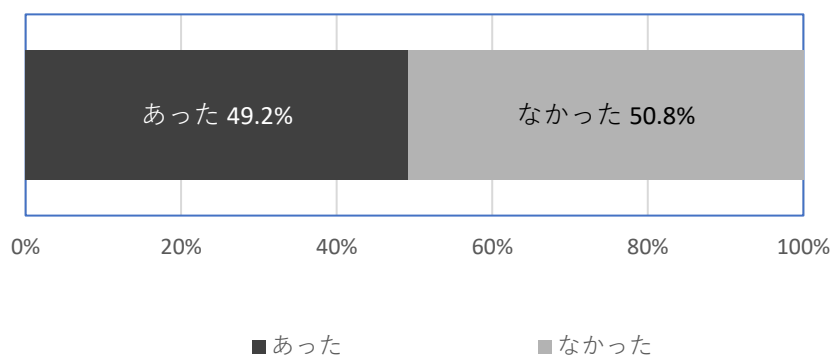
5. 子どもの一時預かり等の利用について

(14) 家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無

問 14 この１年間で、保護者の私用やリフレッシュ目的（買い物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）や、冠婚葬祭や保護者の病気などのため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字。）

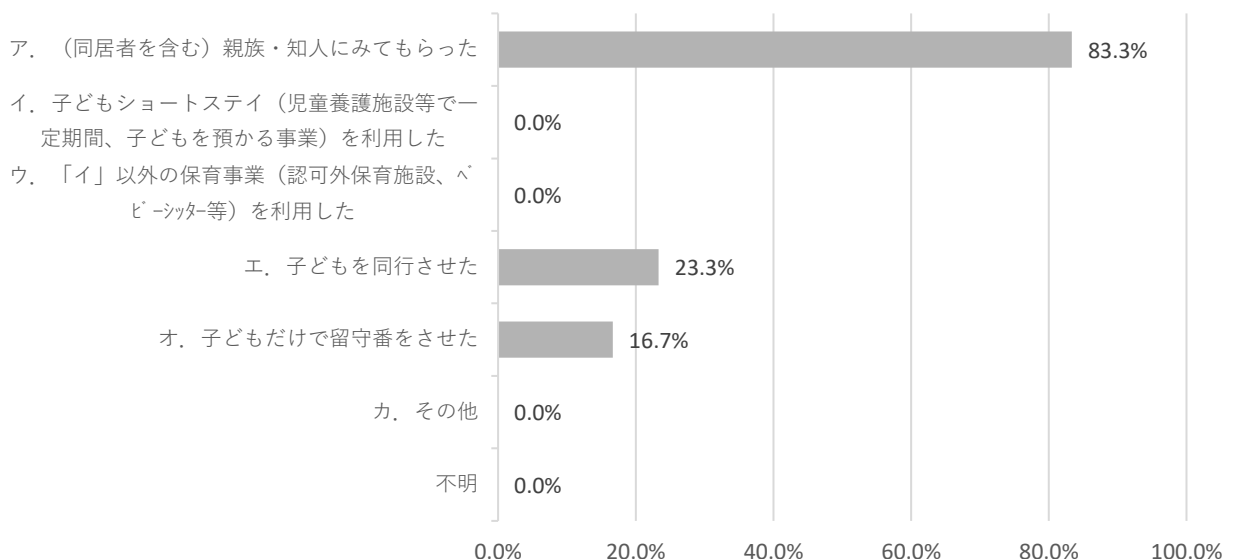
この１年間で、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことがあるかについては、「あった」が49.2%、「なかった」が50.8%となっています。

n=61

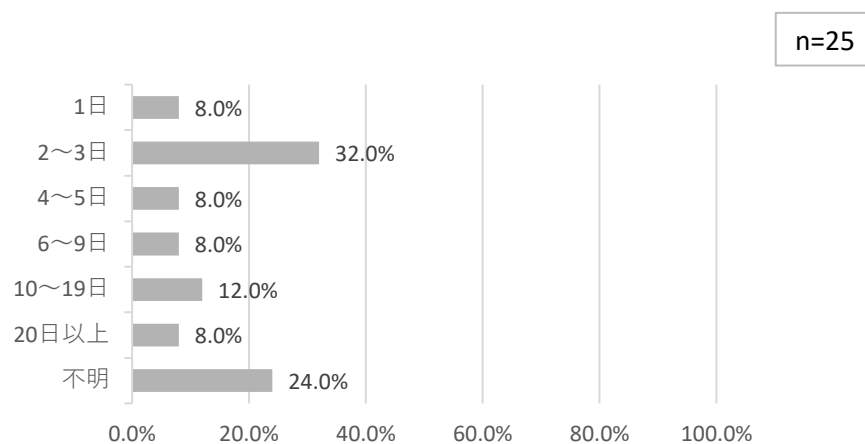


この１年間で、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことが「あった」場合の、その内容については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が83.3%と最も高く、次いで、「子どもを同行させた」が23.3%、「子どもだけで留守番をさせた」が16.7%となっています。

n=30



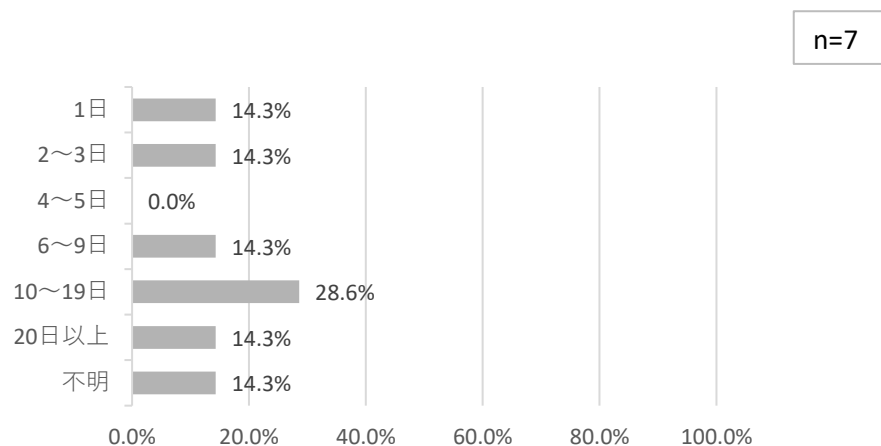
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった日数については、「2日～3日」が32.0%と最も高く、、次いで「10日～19日」が12.0%、「1日」「4日～5日」「6～9日」「20日以上」が8.0%と同率となっています。



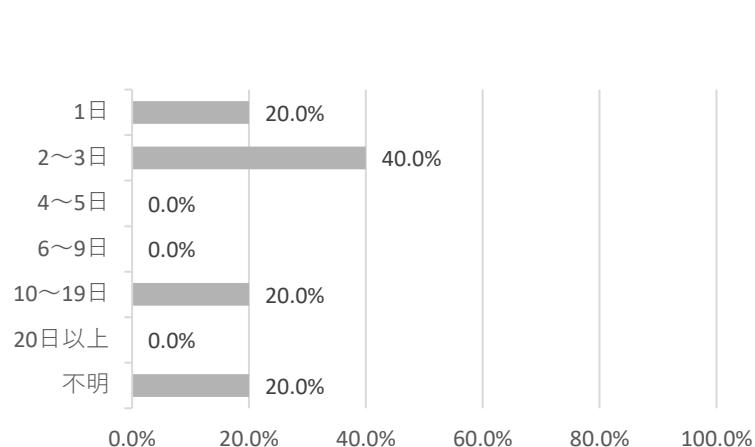
こどもショートステイを利用した日数については、回答者がいませんでした。

こどもショートステイ以外の保育事業を利用した日数については、回答者がいませんでした。

子どもを同行させた日数については、該当者7名のうち2名が「10日～19日」と回答し、他4名が1名ずつ「1日」「2～3日」「6～9日」「20日以上」と回答しています。



子どもだけで留守番をさせた日数については、該当者5名のうち、2名が「2日～3日」と回答し、他2名が1名ずつ「1日」、「10日～19日」と回答しています。



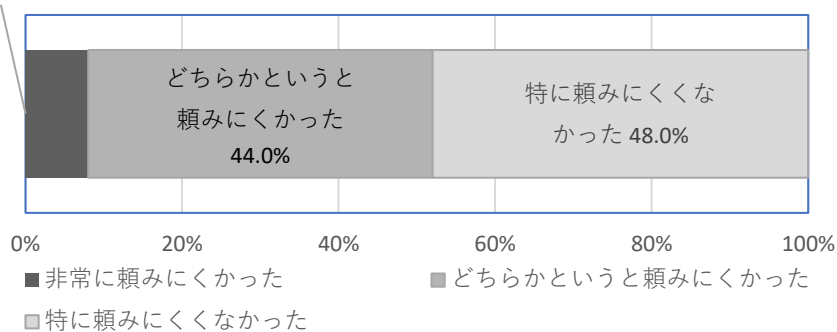
その他の日数については、該当者がいませんでした。

(14-1) 親族・知人にみてもらう際の頼みやすさ（一時預かり）

問 14-1 問 14 で「ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」を選択した方
その場合の頼みやすさはいかがでしたか。（○は1つ）

子どもを「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」場合の頼みやすさについては、「特に頼みにくくはなかった」が 48.0%と最も高く、次いで「どちらかというと頼みにくかった」が 44.0%、「非常に頼みにくかった」が 8.0%となっています。

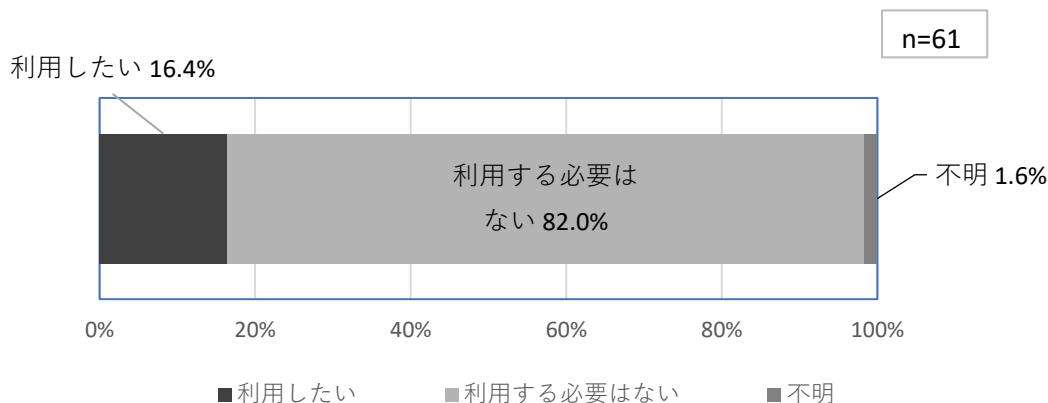
非常に頼みにく
かった 8.0%



(15) 泊りがけで家族以外の誰かに預けたこと

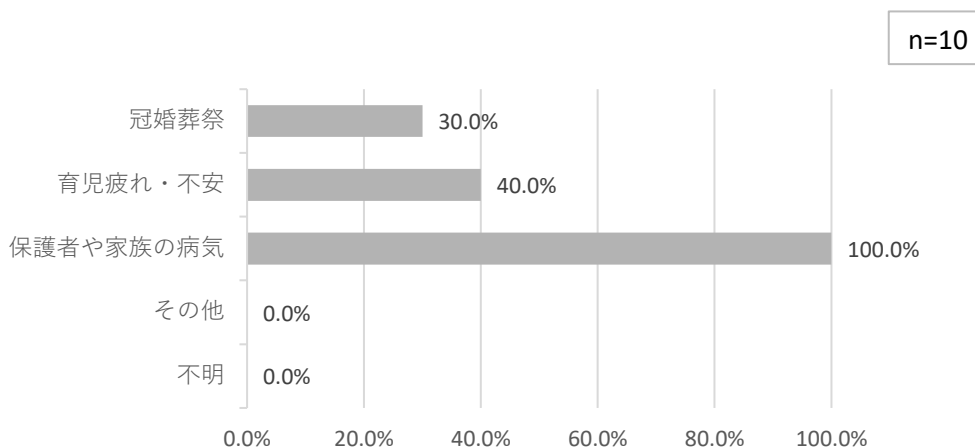
問 15 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、お子さんを泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。「短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」の利用希望の有無について選択し、必要な泊数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。（番号と記号のあてはまるものすべてに○。また数字は一桁に一字。）。

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外に預ける必要があるか。「短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」の利用希望の有無について、「利用したい」が 16.4%、「利用する必要はない」が 82.0%となっています。

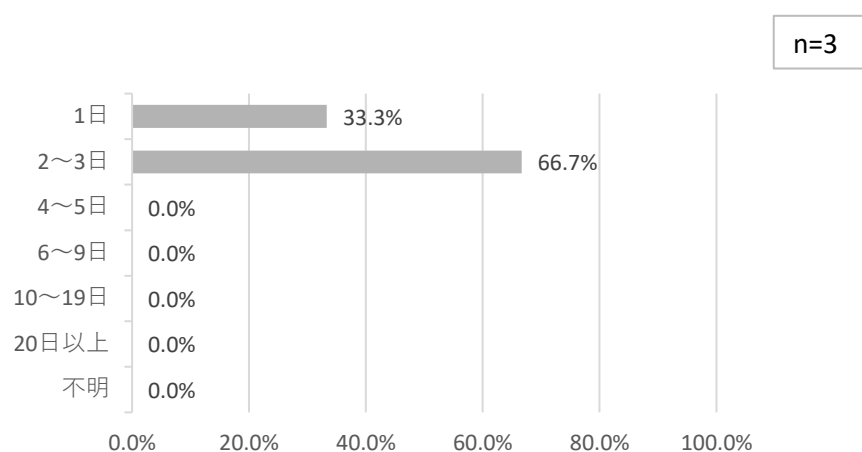


【利用したい内容】

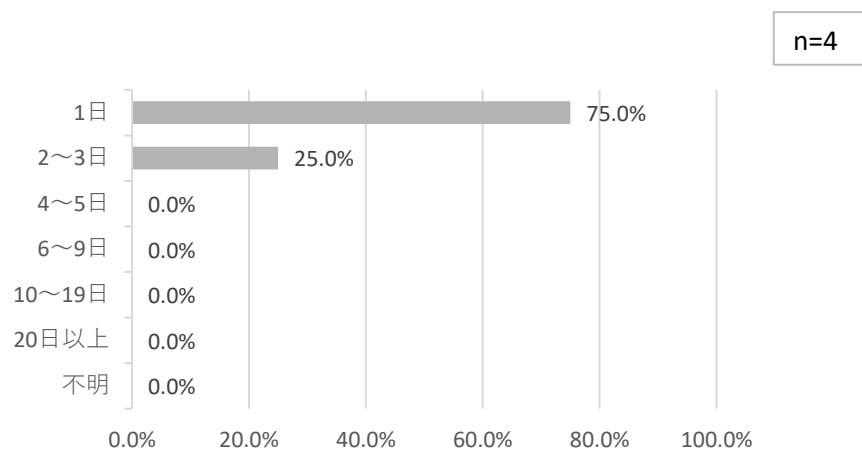
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）の目的で「短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」を「利用したい」と思う理由については、「保護者や家族の病気」が 100.0%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 40.0%、「冠婚葬祭」が 30.0%となっています。



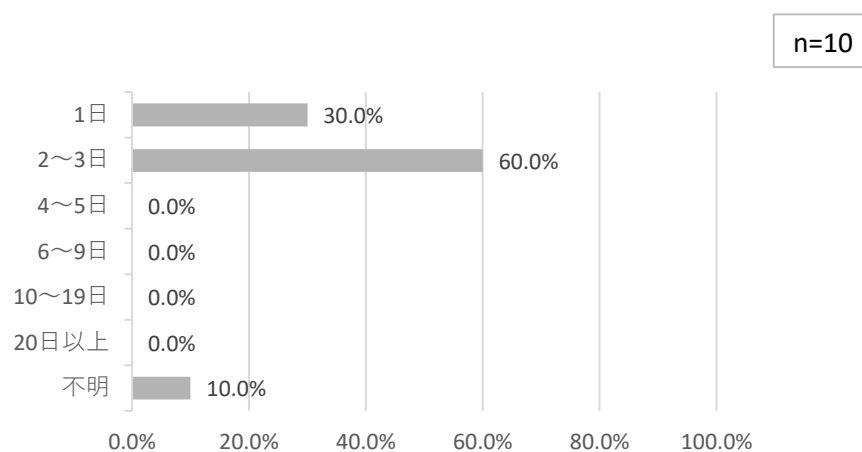
冠婚葬祭の日数については、該当者3名のうち、2名が「2～3日」、1名が「1日」と回答しています。



保護者や家族の育児疲れ・不安の日数については、該当者4名のうち、3名が「1日」、1名が「2～3日」と回答しています。



保護者や家族の病気の日数については、該当者10名のうち、6名が「2～3日」、3名が「1日」と回答しています。

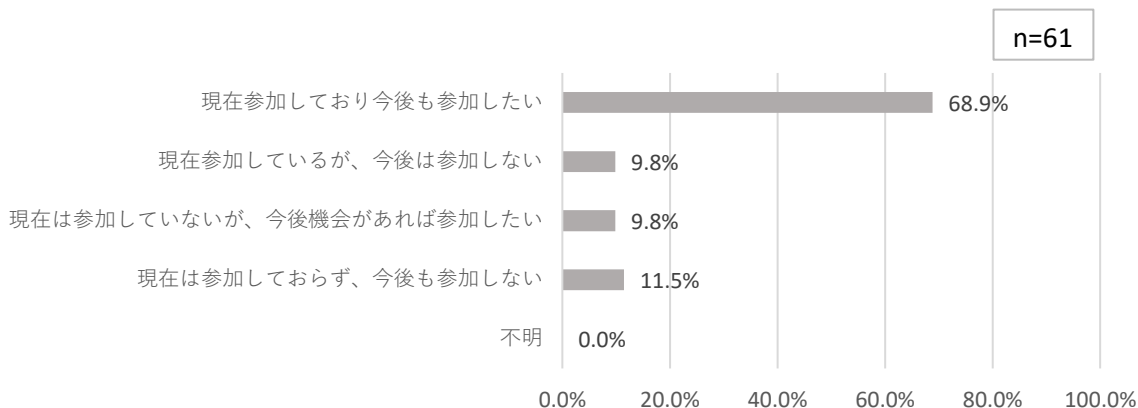


6. 地域とのかかわりについて

(16) 子ども会や自主的なグループ活動への参加の有無

問 16 あなたは、子ども会や自主的なグループ活動に参加していますか。(○は1つ)

子ども会や自主的なグループ活動への参加有無については、「現在参加しており、今後も参加したい」が68.9%と最も高く、次いで「現在は参加しておらず、今後も参加しない」が11.5%となっています。

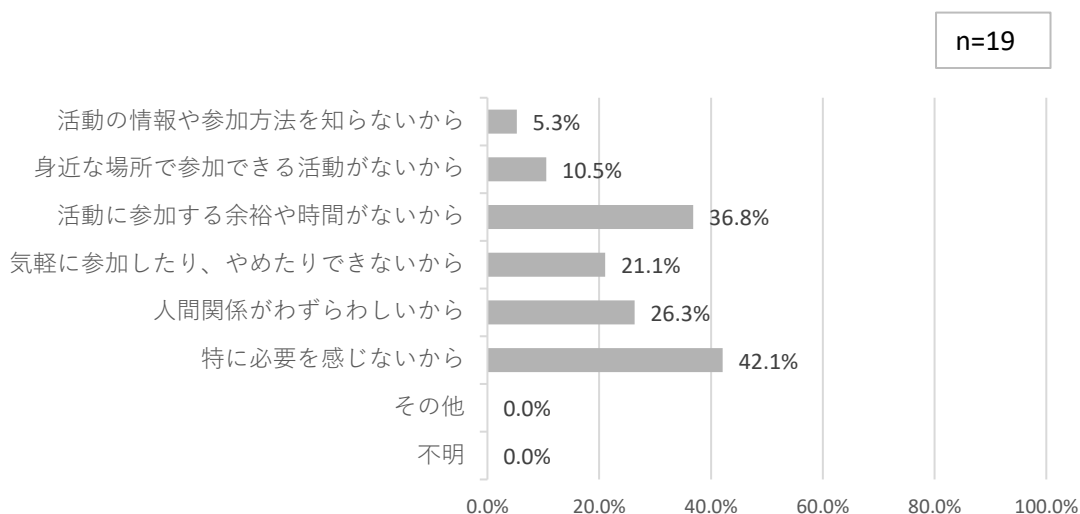


(16-1) 参加していない理由、今後参加しない理由

問 16-1 問 16 で「2～4」を選択した方

参加していない理由、今後参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

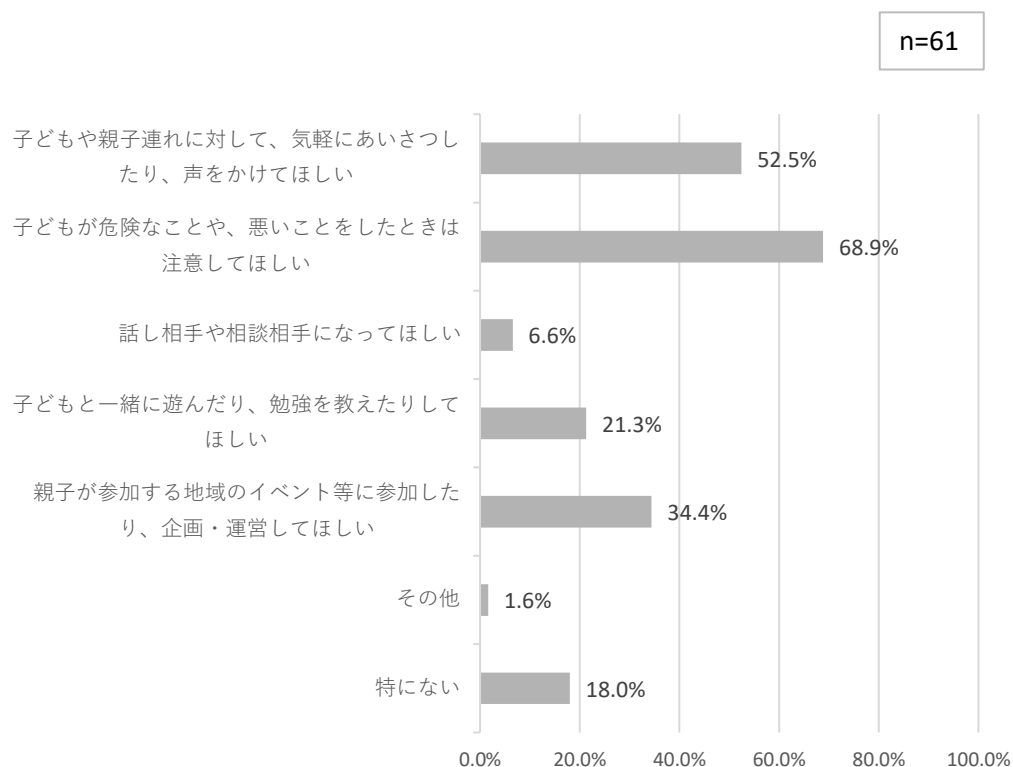
子ども会や自主的なグループ活動に、現在参加していない理由、今後参加しない理由については、「特に必要を感じないから」が42.1%と最も高く、次いで「活動に参加する余裕や時間がないから」が36.8%、「人間関係がわずらわしいから」が26.3%となっています。



(17) 子育てに関して、地域の人やボランティアに望むこと

問 17 子育てに関して、地域の人やボランティアにどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関して地域の人やボランティアに望むことについては、「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意してほしい」が 68.9%と最も高く、次いで「子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつしたり、声をかけてほしい」が 52.5%、「親子が参加する地域のイベント等に参加したり、企画・運営してほしい」が 34.4%となっています。



●その他

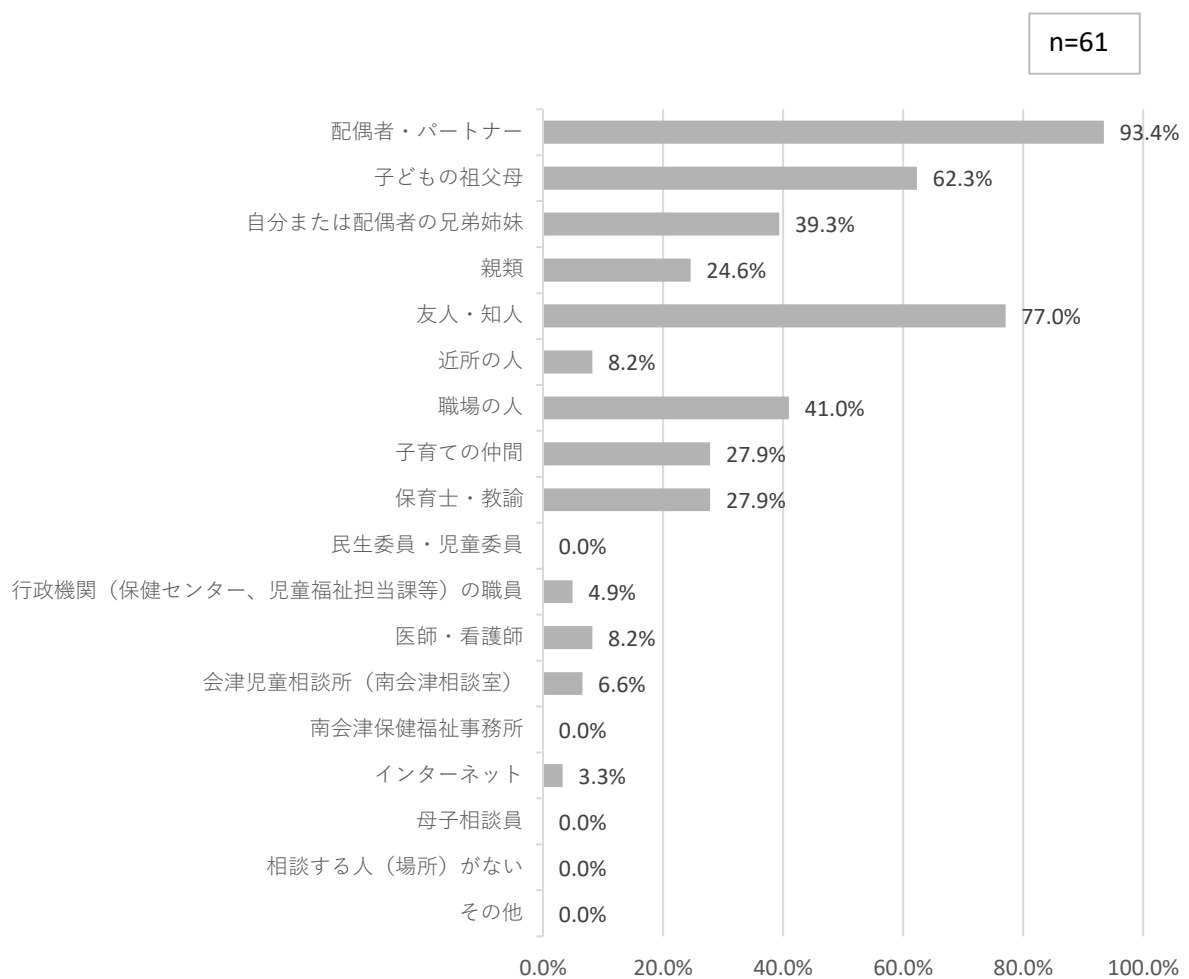
父子母子家庭や手助けが必要な家庭の見守り、援助

7. 子育て全般について

(18) 子育てに関して、気軽に相談できる人

問18 あなたは、子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人がいますか。（あてはまるものすべてに○）

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人については、「配偶者・パートナー」が93.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が77.0%、「子どもの祖父母」が62.3%となっています。

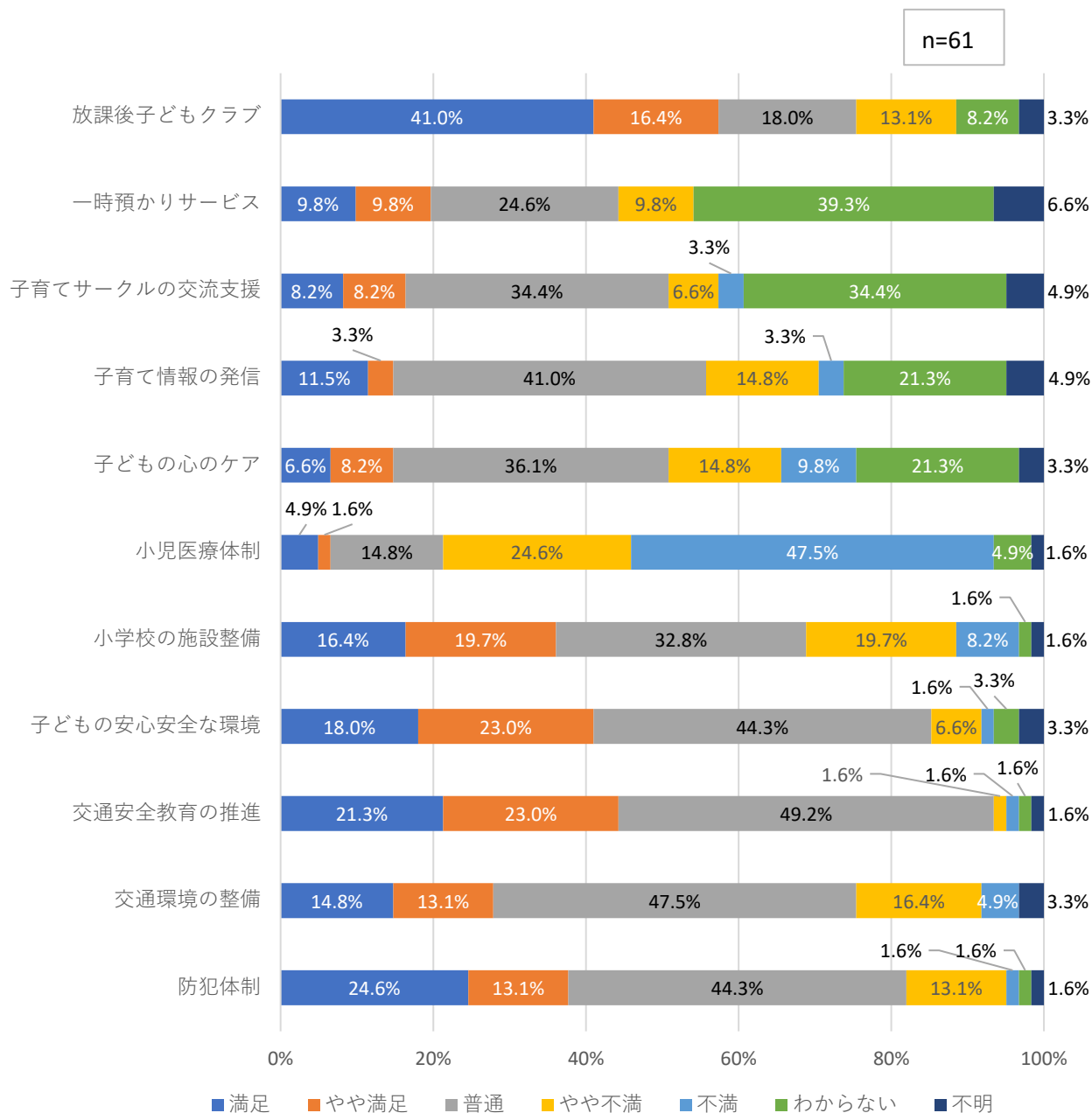


(19) 只見町の子育て環境についての満足度

問 19 あなたは、只見町の子育て環境についてどのように思いますか。(それぞれあてはまる番号に○)

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「放課後子どもクラブ」が 57.4%と最も高く、次いで「交通安全教室推進」が 44.3%となっています。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた不満足度は、「小児医療体制」が 72.1%と最も高く、次いで「小学校の施設整備」が 27.9%となっています。

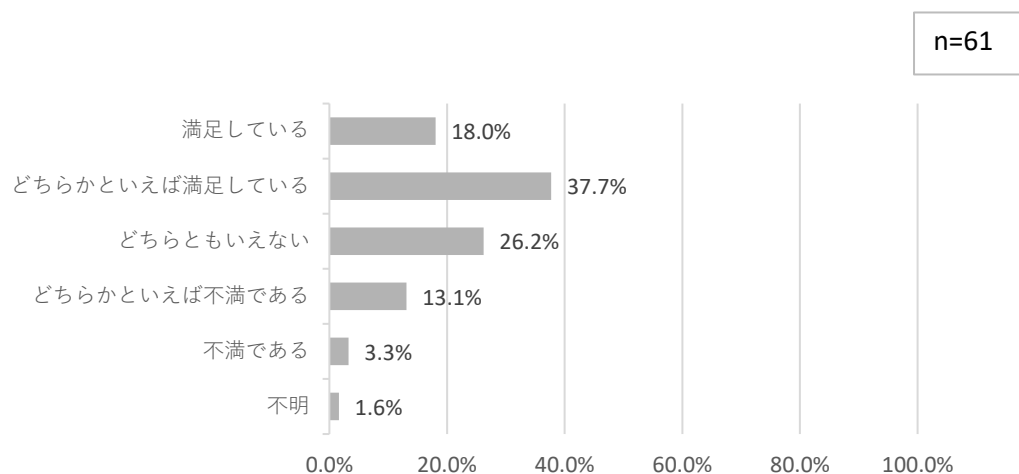


8. 学校教育について

(20) 子どもが通う小学校の教育全体の満足度

問 20 お子さんが通う小学校の教育について、全体としては満足していますか。(○は1つ)

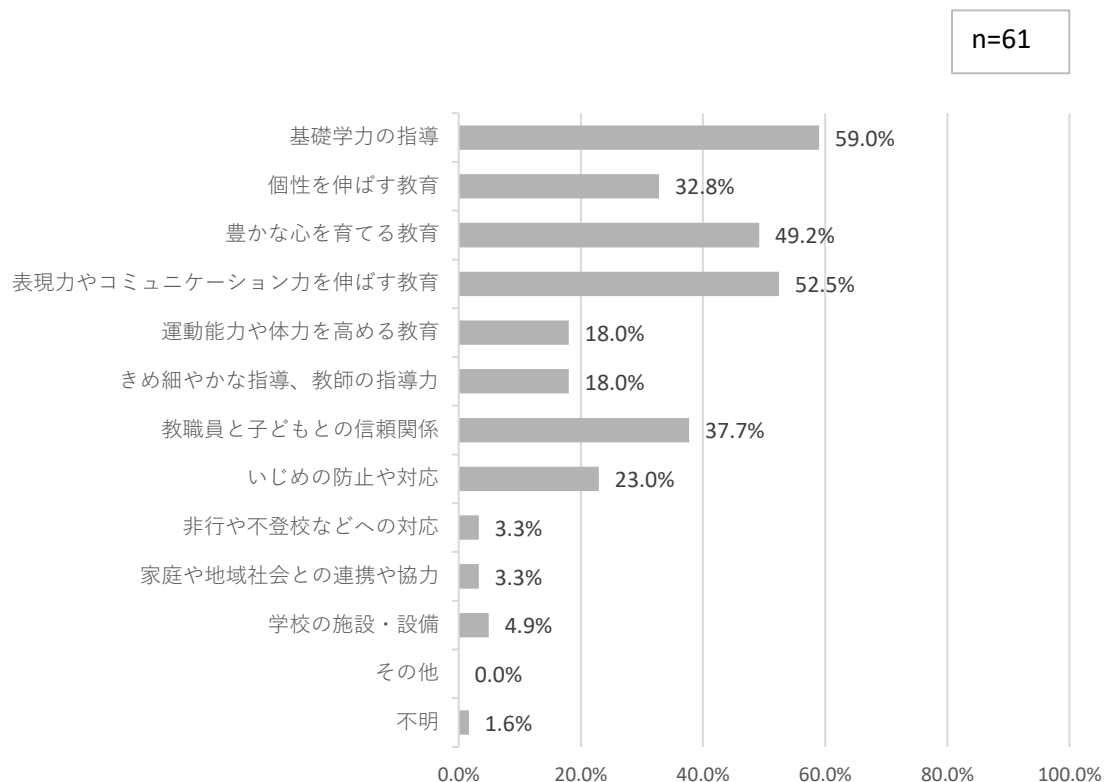
子どもが通う小学校の教育全体の満足度としては、「どちらかといえば満足している」が37.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.2%、「満足している」が18.0%となっています。



(21) 子どもが通う小学校に特に期待すること

問 21 お子さんが通う小学校に特に期待することは、なんですか。(〇は3つまで)

子どもが通う小学校に特に期待することについては、「基礎学力の指導」が59.0%と最も高く、次いで「表現力やコミュニケーション力を伸ばす教育」が52.5%、「豊かな心を育てる教育」が49.2%となっています。

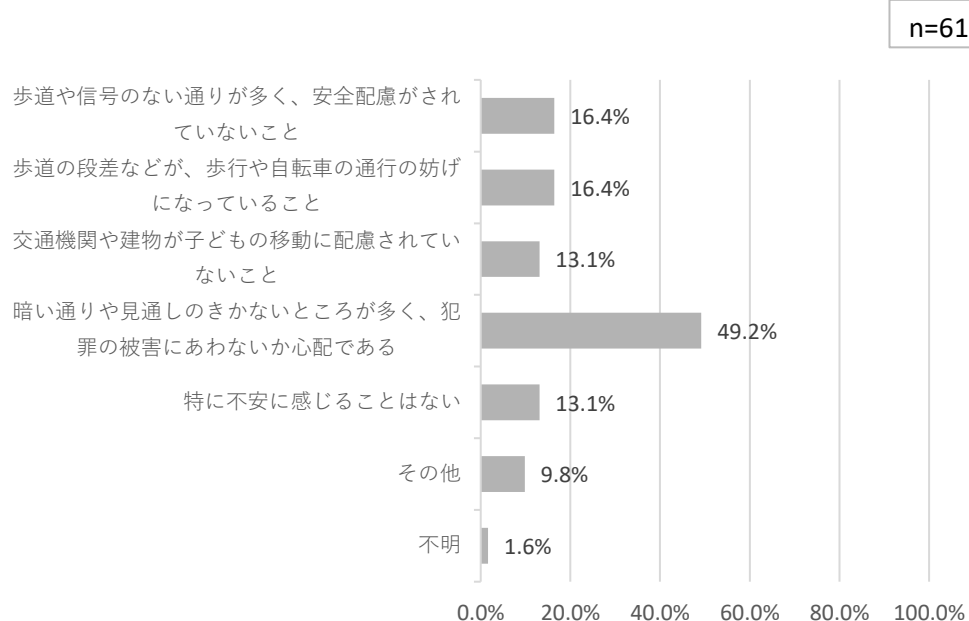


9. 子どもの安全安心について

(22) 子どもが外出する際、不安に感じること

問 22 子どもが外出する際、不安に感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもが外出する際、不安に感じることについては、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあわないか心配であること」が 49.2%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全に配慮がされていないこと」「歩道の段差などが、歩行や自転車の通行の妨げになっていること」が 16.4%と同率となっています。



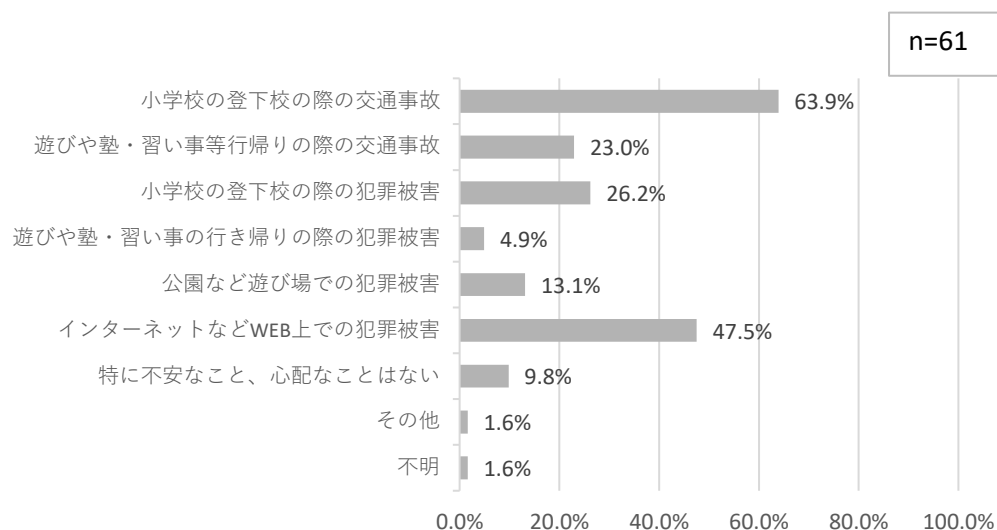
●その他

横断歩道で待っているのに車が止まらないことが多い / 高齢者ドライバーによる地区内のスピードの出しすぎ、子どもへの配慮がない / 徒歩通学のため常に不安はある / ダンプカーが多く道も狭いため自転車での子どもたちの通行が怖い / 屋根からの落雪 / 人通りが少ないこと / 子どもの不注意で事故に遭わないか

(23) 子どもの日々の暮らしの中で、事故や犯罪に関して特に不安や心配に思うこと

問 23 お子さんの日々の暮らしの中で、事故や犯罪に関して特に不安や心配に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの日々の暮らしの中で、事故や犯罪に関して特に不安や心配に思うことについては、「小学校の登下校の際の交通事故」が 63.9%と最も高く、次いで「インターネットなどWEB上での犯罪被害」が 47.5%、「小学校の登下校の際の犯罪被害」が 26.2%となっています。



●その他

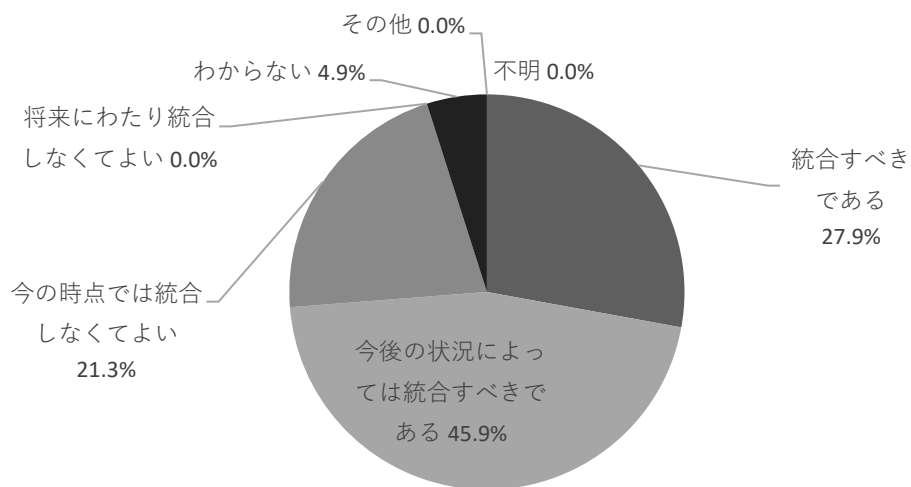
屋根からの落雪

10. 小学校の在り方について

(24) 小学校の統合

問 24 現在、町内には三つの小学校がありますが、小学校の統合についてどう思いますか。
(○は1つ)

小学校の在り方については、「今後の状況によっては統合すべき」が45.9%、と最も高く、次いで「統合すべきである」が27.9%、「今の時点では統合しなくてよい」が21.3%、「将来にわたり統合しなくてよい」が0.0%となっています。

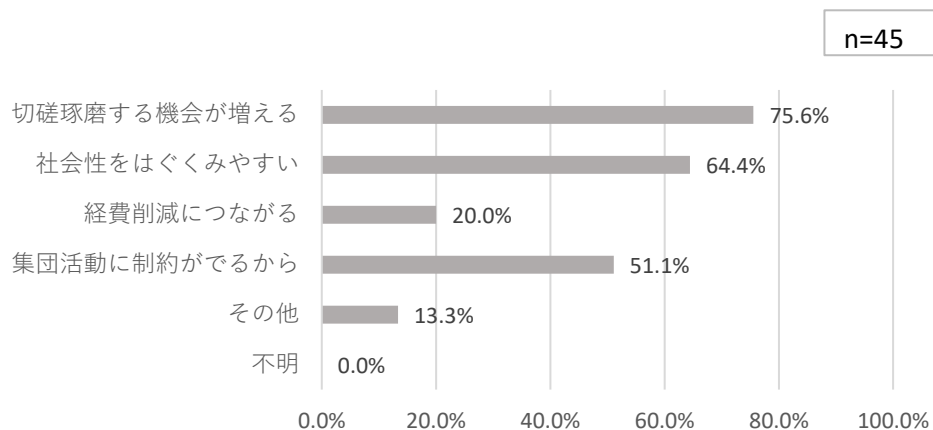


(24-1) 統合すべき理由

問 24-1 問 24 で「1」「3」を選択した方

統合すべきと考える理由はなんですか。(○は1つ)

統合すべきと考える理由については、「切磋琢磨する機会が増える」が 75.6%、「社会性をはぐくみやすい」が 64.4%、ついで「集団行動に制約がでるため」が 51.1%となっています。



●その他

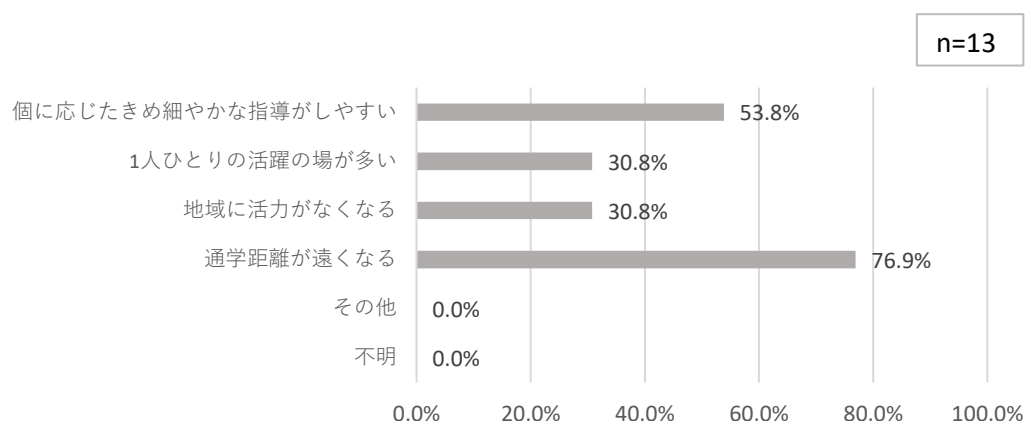
児童数が増えることでやれることが増え、保護者の役員などの負担は減る / 複式による学力低下や、教職員不足による活動の制限等が少しでも減ってほしい / 一定の人数で学びあいが成立する / 学力が低下してしまう / 複式学級となると先生方の負担が大きくなりしっかりとした教育につながらないと思うため / 単式学級の維持

(24-2) 統合しなくてよい理由

問 24-2 問 24 で「2」「4」を選択した方

統合しなくてよいと考える理由はなんですか。(○は1つ)

統合しなくてよいと考える理由については、「通学距離が遠くなる」が 76.9%、次いで「個に応じたきめ細やかな指導がしやすい」が 53.8%、「一人ひとりの活躍の場が多い」、「地域に活力がなくなる」が同率で 30.8%となっています。



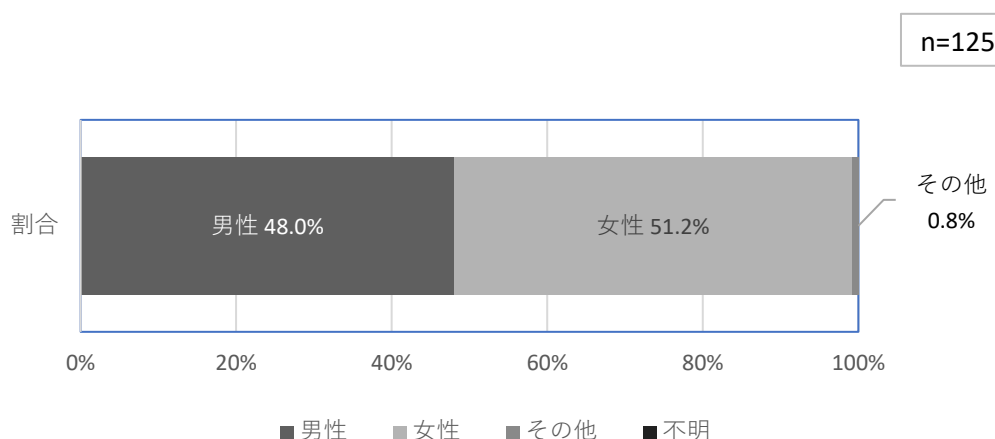
中高生年齢対象の調査結果

1. ご家族の状況について

(1) 回答者自身

問1 あなたの性別についてお答えください（○は1つ）

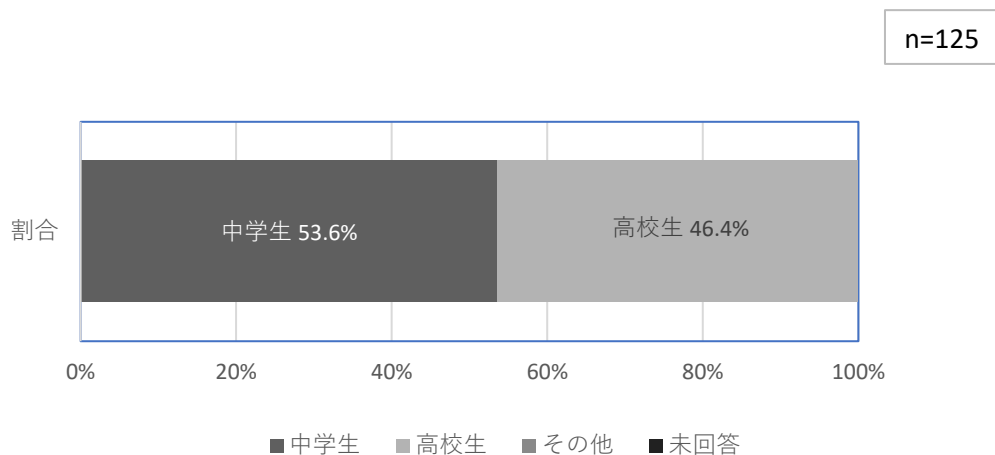
この調査に回答した人は、「男性」が48.0%、「女性」が51.2%、「その他」が0.8%となっています。



(2) 回答者の属性

問2 あなた次のうちどれにあてはまりますか（○は1つ）

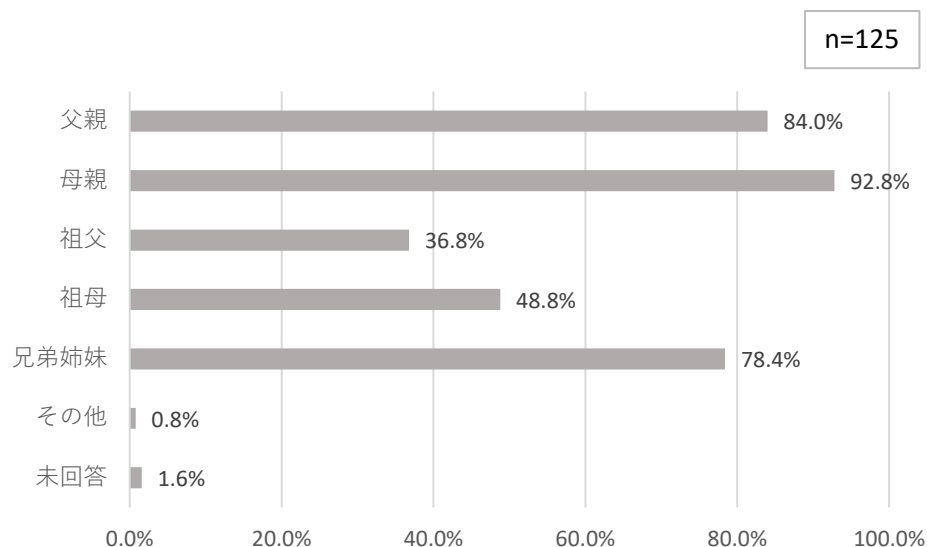
この調査に回答した人は、「中学生」が53.6%、「高校生」が46.4%となっており、「その他」については回答者がいませんでした。



(3) 同居する家族の状況

問3 あなたと一緒に暮らしている家族全てに○をしてください

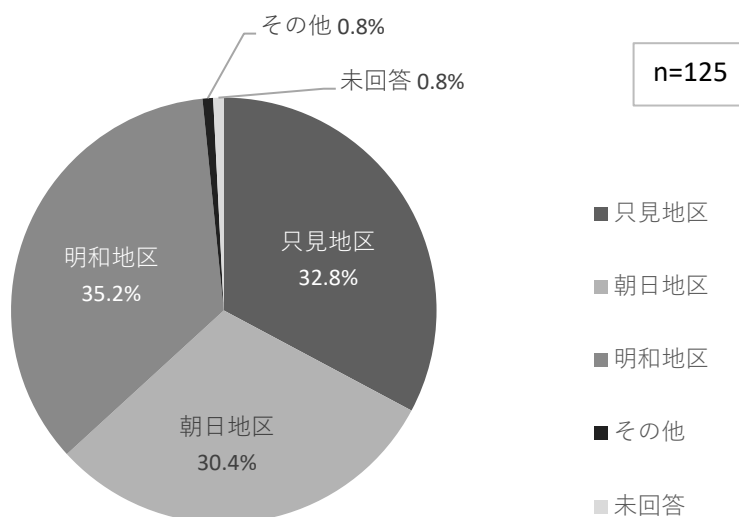
回答者が同居する家族は、「父親」が84.0%、「母親」が92.8%となっています。



(4) 居住地区

問4 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

回答者の居住地区は、「只見地区」が32.8%、「朝日地区」が30.4%、「明和地区」35.2%となっています。

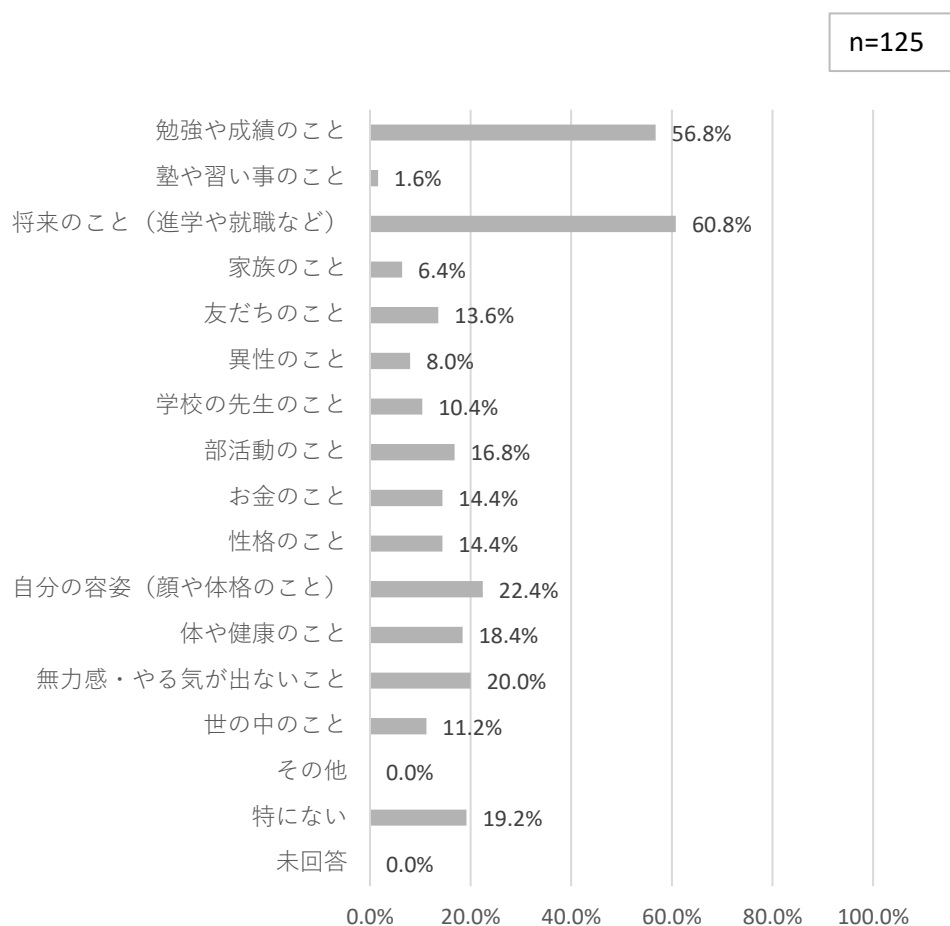


2. 日常生活全般について

(5) 悩んでいること

問5 あなたが今、悩んでいることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

悩んでいることについては、「将来のこと（進学や就職など）」が 60.8%、を最も高く、次いで「勉強や成績のこと」が 56.8%となっています。

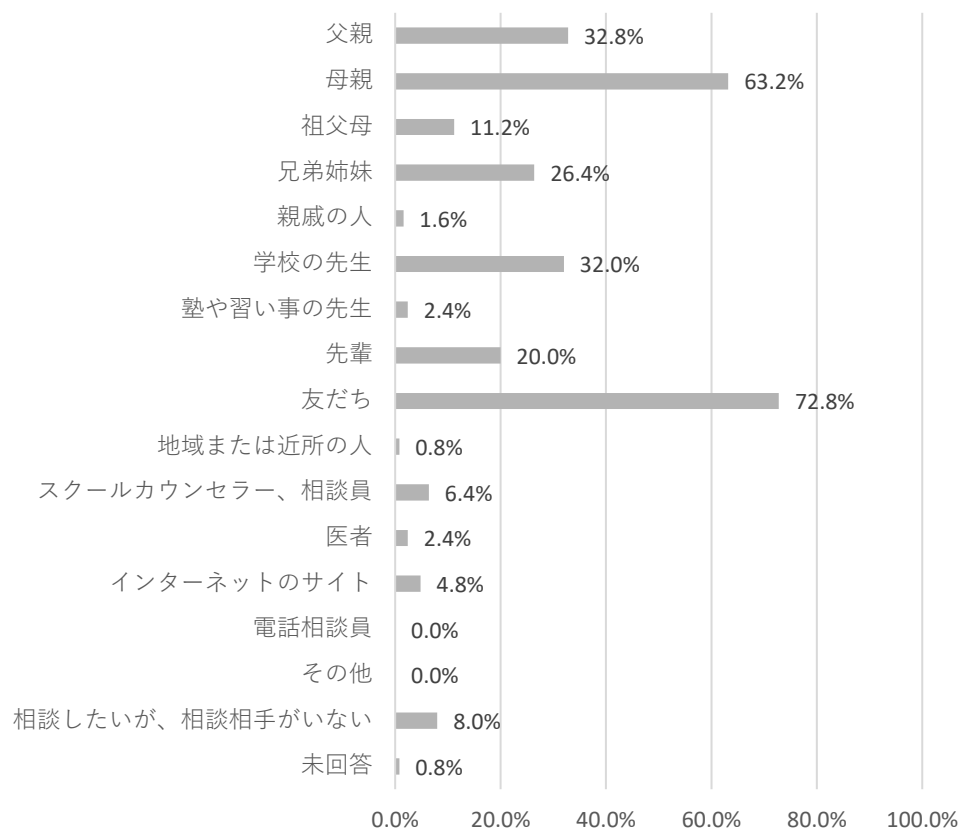


(6) 悩みを相談できる人や機関

問6 あなたは、悩みや心配ごとをだれに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

なやみを相談できる人や機関については、「友だち」が72.8%と最も高く、次いで、「母親」が63.2%となっており、「相談したいが、相談相手がない」は8.0%となっています。

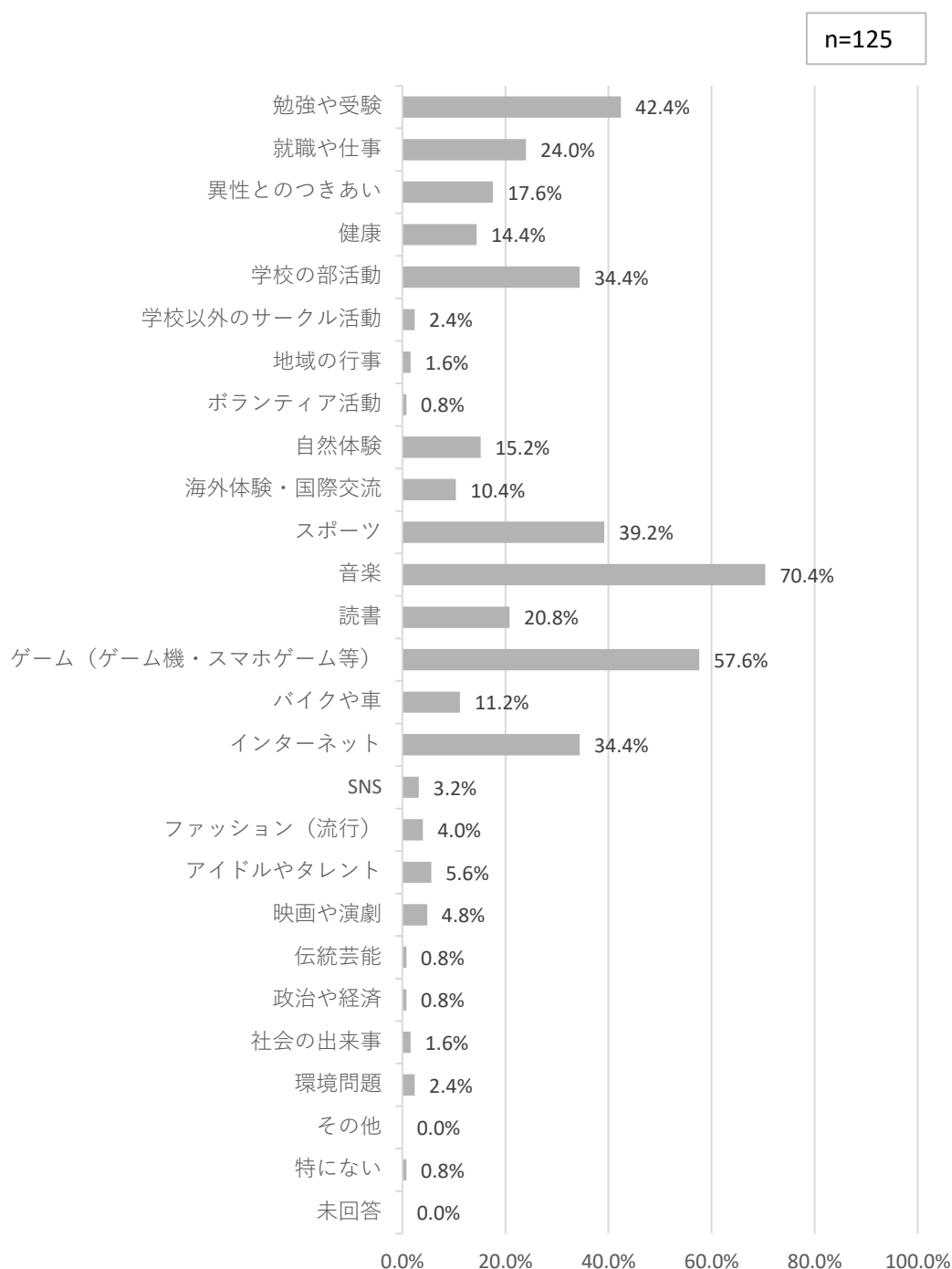
n=125



(7) 興味関心

問7 あなたは、今どのようなことに興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

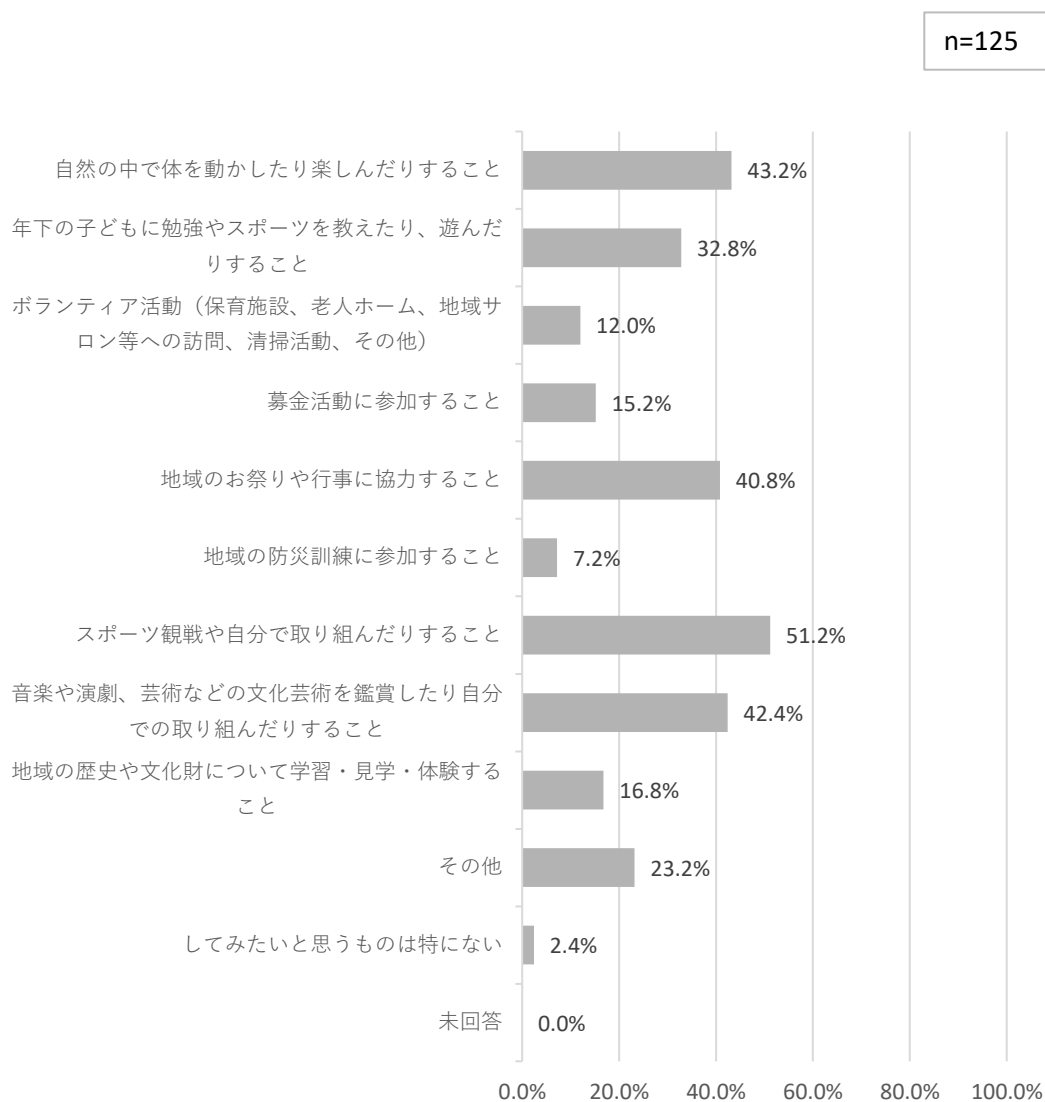
回答者が関心のあることは、「音楽」が70.4%と最も高く、次いで、「ゲーム（ゲーム機・スマホゲーム等）」が57.6%、「勉強や受験」が42.4%となっています。



(8) 体験活動の希望

問 8 あなたは学校の授業や行事・部活動以外でどのような体験活動をしてみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

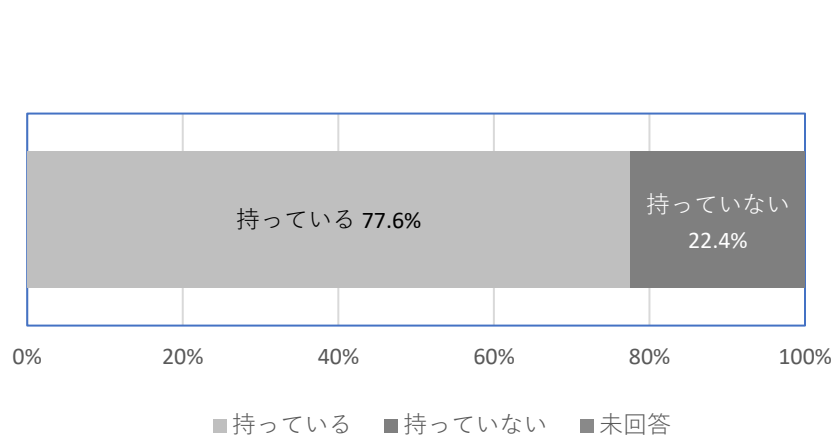
回答者が関心のあることは、「スポーツ観戦や自分で取り組んだりすること」が51.2%と最も高く、次いで、「自然の中で体を動かしたり楽しんだりすること」が43.2%、「音楽や演劇、芸術などの文化芸術を鑑賞したり自分で取り組んだりすること」が42.4%となっています。



(9) 携帯電話の所有の有無

問9 あなたは自分の携帯電話（スマートフォン）を持っていますか。（○は1つ）

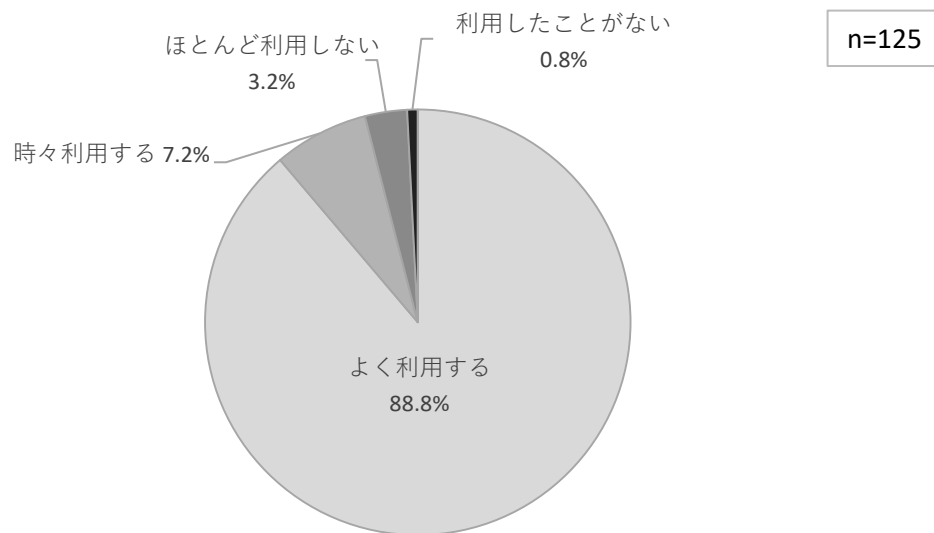
携帯電話の所有の有無については、「持っている」が77.6%、「持っていない」が22.4%となっています。



(10) インターネットの利用

問 10 あなたは携帯電話（スマートフォン）やパソコンでインターネットを利用していますか。（○は1つ）

インターネットの利用については、「よく利用する」と「時々利用する」を合わせると 96.0%と大半を占め、「ほとんど利用しない」と「利用したことがない」は 4.0%となっています。

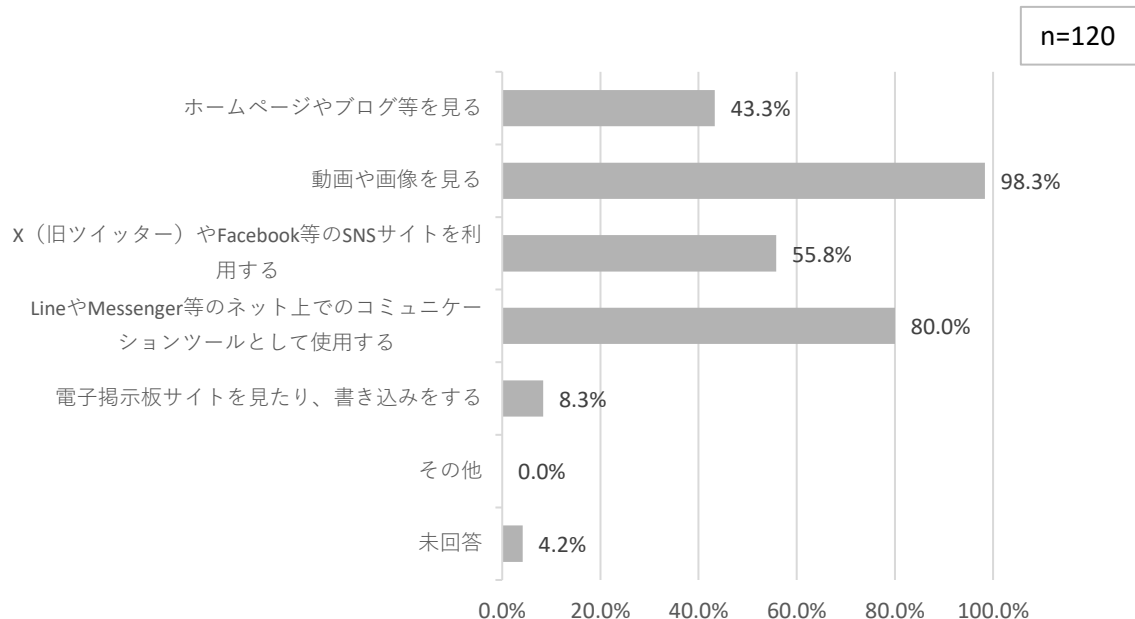


(10-1) インターネットの使用目的

問 10-1 問 10 で「1」「2」を選択した方

あなたが携帯電話（スマートフォン）やパソコンでインターネットを使う目的は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

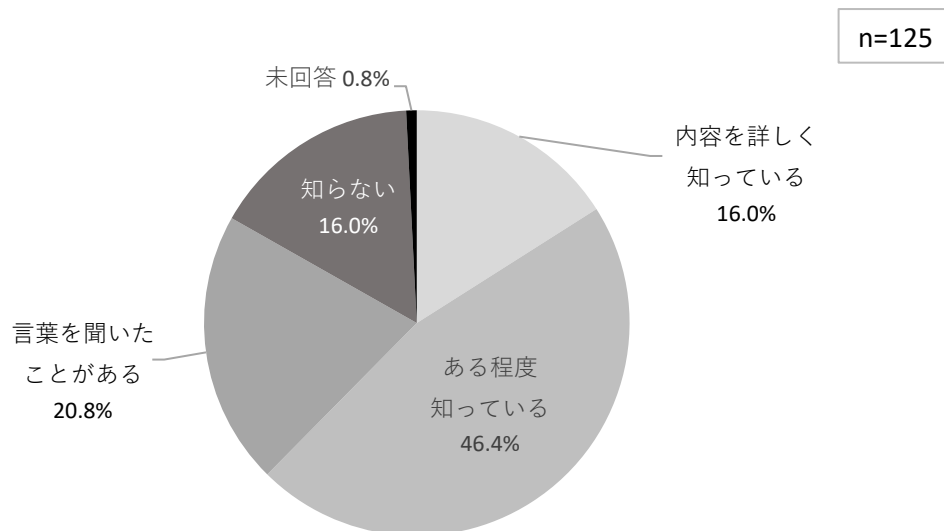
インターネットの利用目的は、「動画や画像を見る」が 98.3%と大半を占め、「Line や Messenger 等のネット上でのコミュニケーションツールとして使用する」が 80.0%をととなっています。



(11) ヤングケアラーの認知度

問 11 あなたは「ヤングケアラー」について知っていますか。(○はひとつ)

ヤングケアラーについては、「ある程度知っている」が46.4%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある」が20.8%、「内容を詳しく知っている」は16.0%、「知らない」は16.0%となっています。

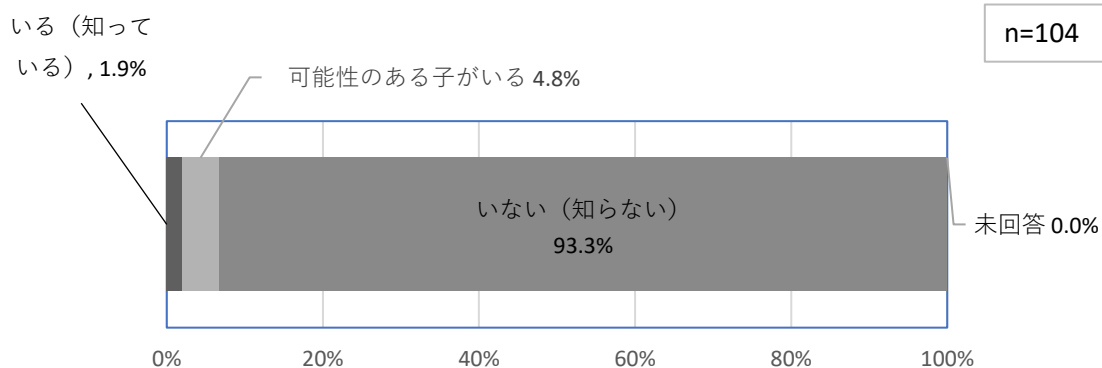


(11-1) ヤングケアラーの有無

問 11-1 問 11 で「1～3」を選択した方

あなたの周りに「ヤングケアラー」(と思われる子)はいますか。(○はひとつ)

身近にヤングケアラーと思われる子がいるかについては、「知らない」が93.3%と大半を占め、次いで「可能性がある子がいる」が4.8%、「いる(知っている)」は1.9%となっています

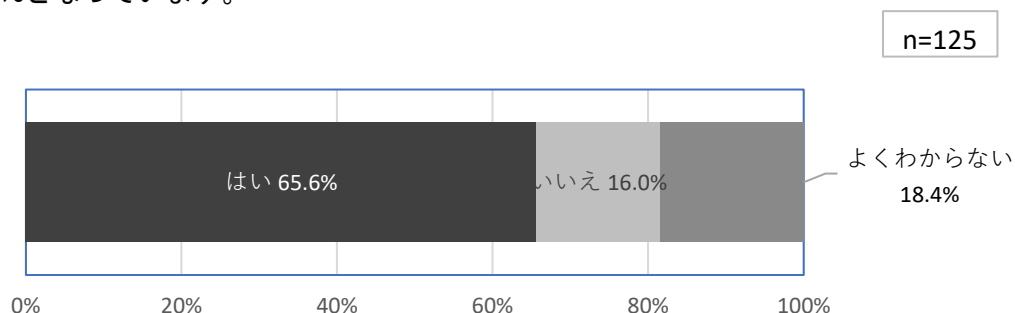


3. 将来のことについて

(12) 将来の夢

問 12 あなたは将来の夢を持っていますか。(○はひとつ)

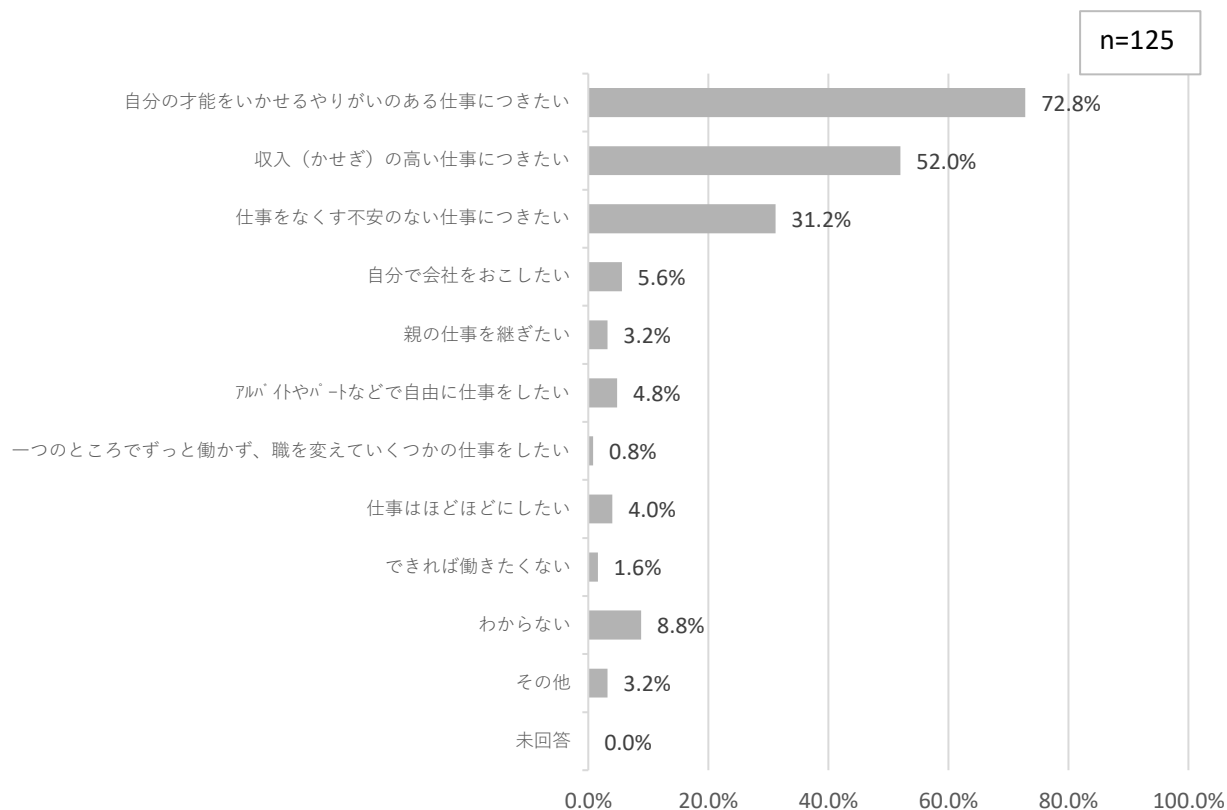
将来の夢を持っているかについては、「はい」が65.6%、「いいえ」が16.0%、「よくわからない」が18.4%となっています。



(13) 仕事についての希望

問 13 仕事について将来どのような希望を持っていますか。

将来の夢を持っているかについては、「自分の才能をいかせるやりがいのある仕事につきたい」が72.8%と最も高く、次いで「収入（かせぎ）の高い仕事につきたい」が52.0%となっています。



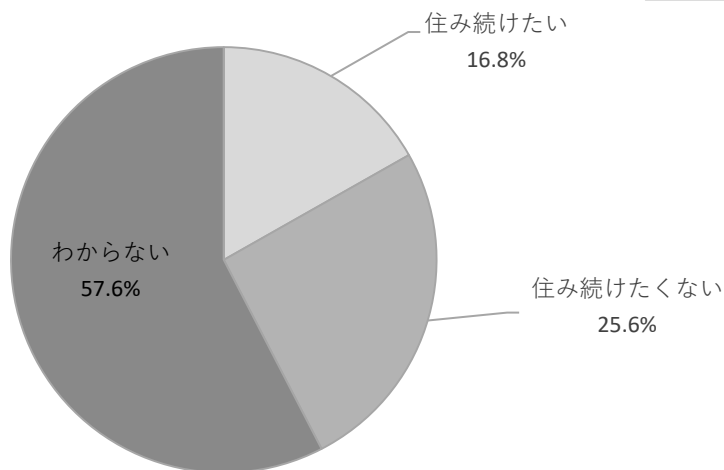
●その他

子供に関わる仕事がしたい / 只見町で出来る仕事をしたい / 人のためになること / 一つの仕事を経験して、ある程度稼いでから次の仕事(本来やりたい仕事)をしたい

(14) 只見町に住み続けたいか

問 14 あなたは、大人になっても只見町に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

只見町に住み続けたいかについては、「住み続けたい」が16.8%、「住み続けたくない」が25.6%、「わからない」が57.6%となっています。

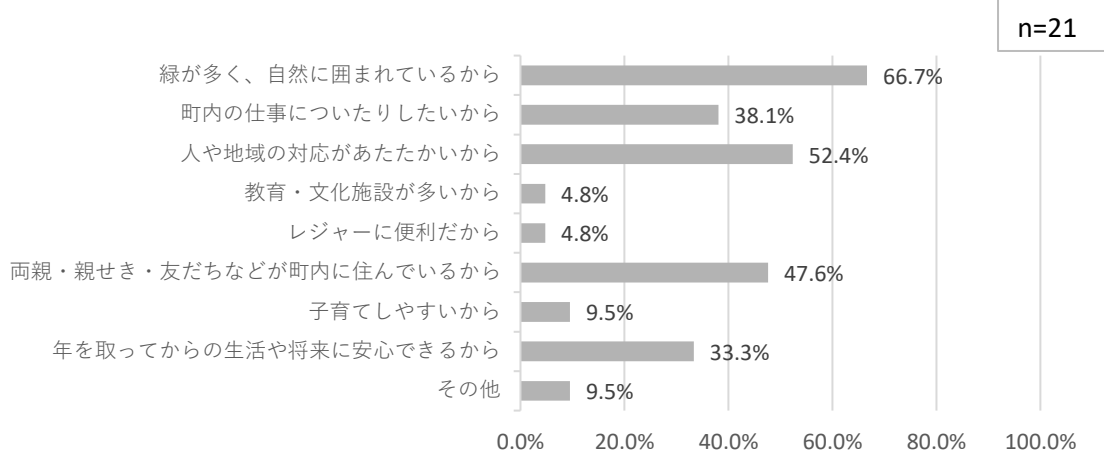


(14-1) 住み続けたい理由

問 14-1 問 14 で「1」を選択した方

住み続けたいと感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

只見町に住み続けたい理由は、「緑が多く、自然にかこまれているから」が66.7%、「人や地域の対応があたたかいから」が52.4%、「両親・親せき・友達などが町内に住んでいるから」が47.6%となっています。



●その他

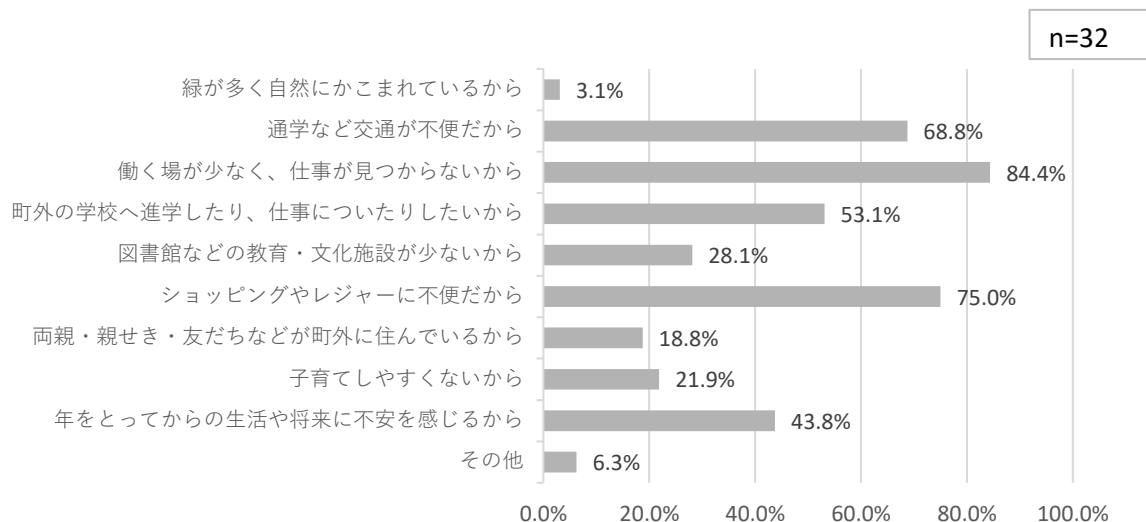
少子高齢化が進んでいるので、困っている高齢者を助けたいと思ったから / 自分の生まれ育った場所を自分の仕事で活気づけたいから一度は外へ出てまた戻ってきたい

(14-2) 住み続けたくない理由

問 14-2 問 14 で「2」を選択した方

住み続けたくないと感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

只見町に住み続けたくない理由は、「働く場が少なく、仕事が見つからないから」が 84.4%、「ショッピングやレジャーに不便だから」が 75.0%、「通学など交通が不便だから」が 68.8%となっています。



●その他

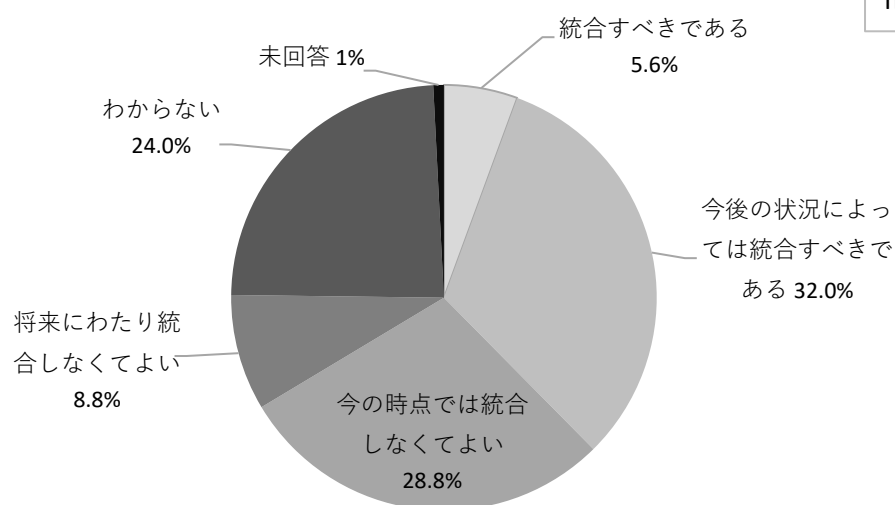
病院が少ない / 映画館や、ゲームセンターなどの娯楽施設が無い

4. 小学校の在り方について

(15) 小学校の統合

問 15 現在、町内には三つの小学校がありますが、小学校の統合についてどのように思いますか。あなたの小学校生活なども参考に回答してください（○は1つ）

小学校の在り方については、「今後の状況によっては統合すべき」が32.0%、と最も高く、次いで「今の時点では統合しなくてよい」28.8%、「将来にわたり統合しなくてよい」が8.8%、「統合すべき」が5.6%となっています。

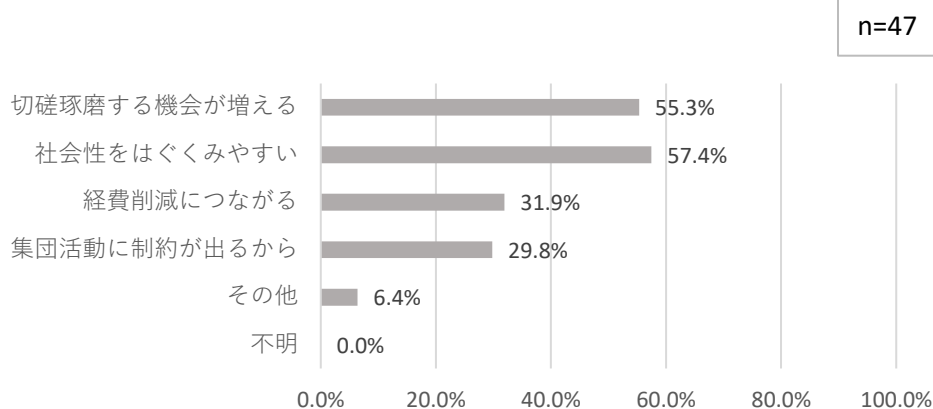


(15-1) 統合すべき理由

問 15-1 問 15 で「1」「3」を選択した方

統合すべきと考える理由はなんですか。(○は1つ)

統合すべきと考える理由については、「社会性をはぐくみやすい」が 57.4%と最も高く、次いで「切磋琢磨する機会が増える」が 55.3%、「経費削減につながる」が 31.9%となっています。



●その他

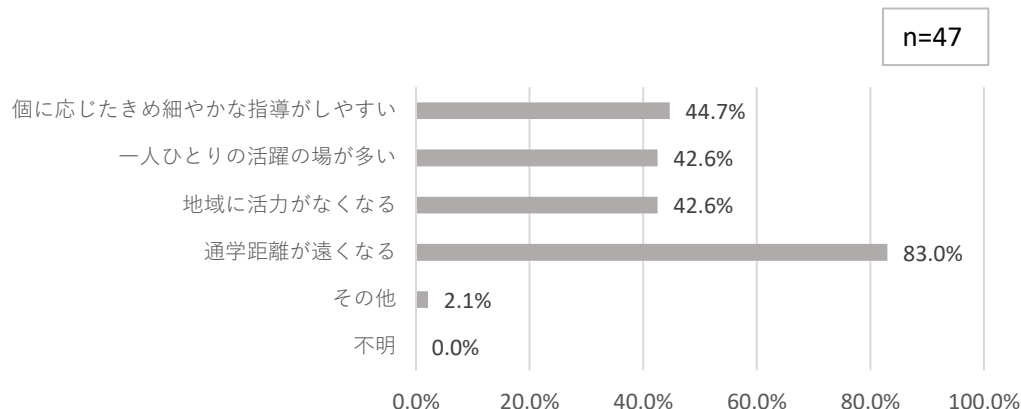
学校の学びの差を無くすことが出来るから / 複式学級になってしまったことで、学力低下に繋がっているから / 人が少ないから

(15-2) 統合しなくてよい理由

問 15-2 問 15 で「2」「4」を選択した方

統合しなくてよいと考える理由はなんですか。(○は1つ)

統合しなくてよいと考える理由については、「通学距離が遠くなる」が 83.0%、次いで「個に応じたきめ細やかな指導がしやすい」が 44.7%、「一人ひとりの活躍の場が多い」、「地域に活力がなくなる」が同率で 42.6%となっています。



●その他

各小学校の伝統的な行事ができなくなる可能性がある

**第3期 只見町子ども子育て支援事業計画策定のための
子育て支援ニーズ調査 結果報告書**

発行年月：令和6年3月

発 行：只見町

編 集：教育委員会

住 所：〒968-0421

福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2591 番地の 30

電 話：0241-82-5320

